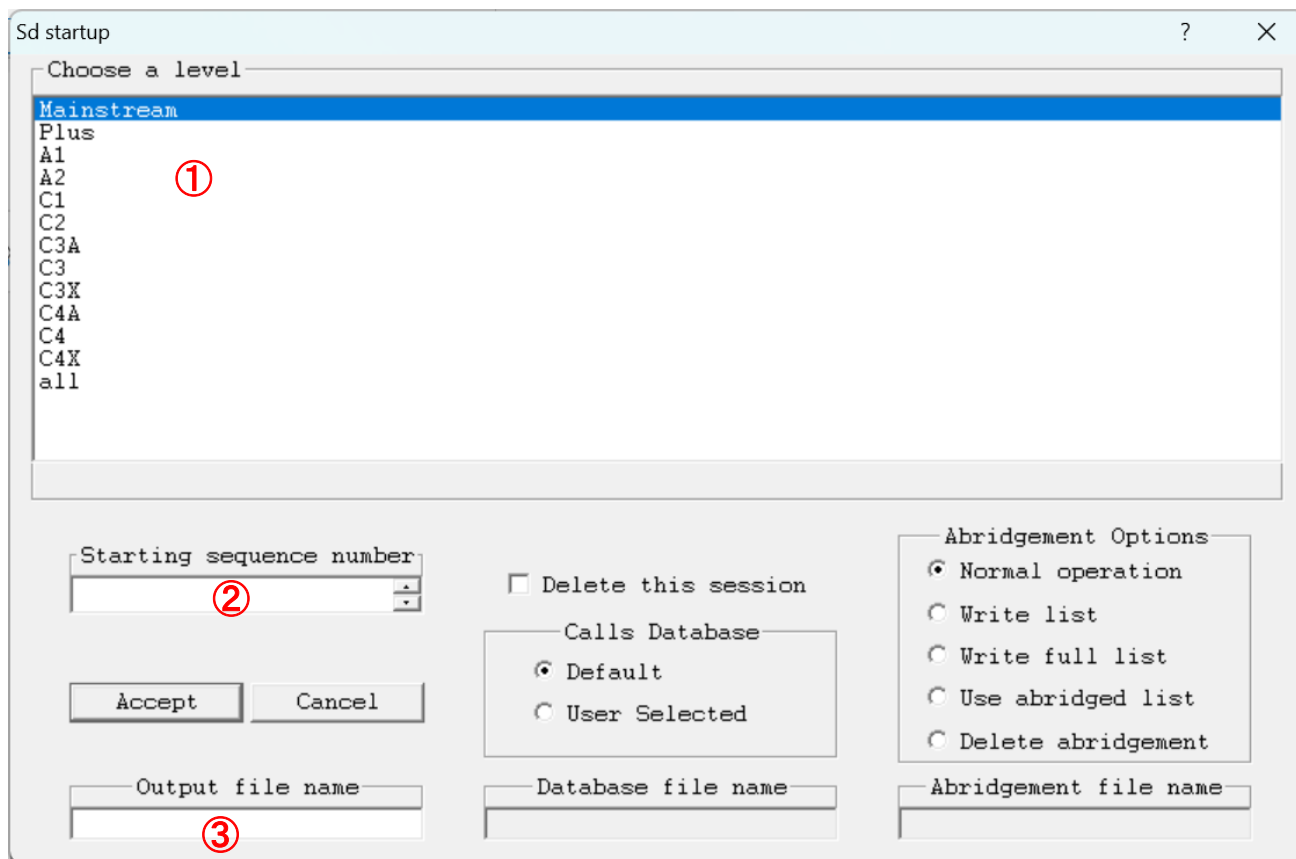


SDCouple と SDRReader の連携について

SDCouple を起動した際に最初に表示される画面です。



① この部分で作成するシークエンスのレベル (MS, Plus etc.) を選択します。

② 作成したシークエンスに連番を付ける際の開始番号をここに指定します。

連番を自動で入力しない場合は空欄にしておきます。

③ 作成したシークエンスを保管するファイル名を指定します。

空欄にした場合は「sequence_[選択したレベル].txt」というファイル名で保管されます。

(上記のファイル名は sd.ini の [Options] で new_style_filename が指定されている場合)

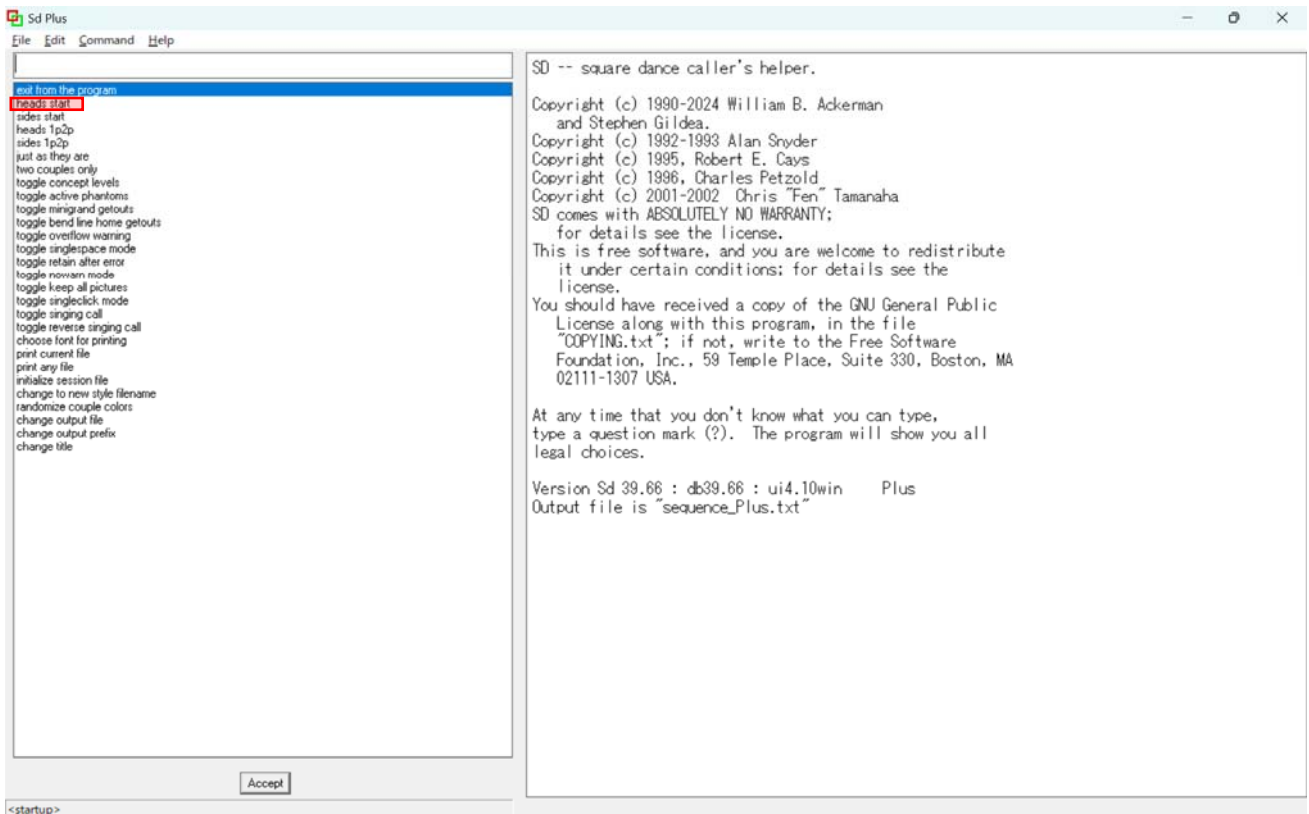
上記以外の覧はそのままで、「Accept」ボタンを押します。

この解説では、SD (SDCouple) の表現に準じて、コレオをシークエンスと GETOUT を resolve と表現することをご理解ください。

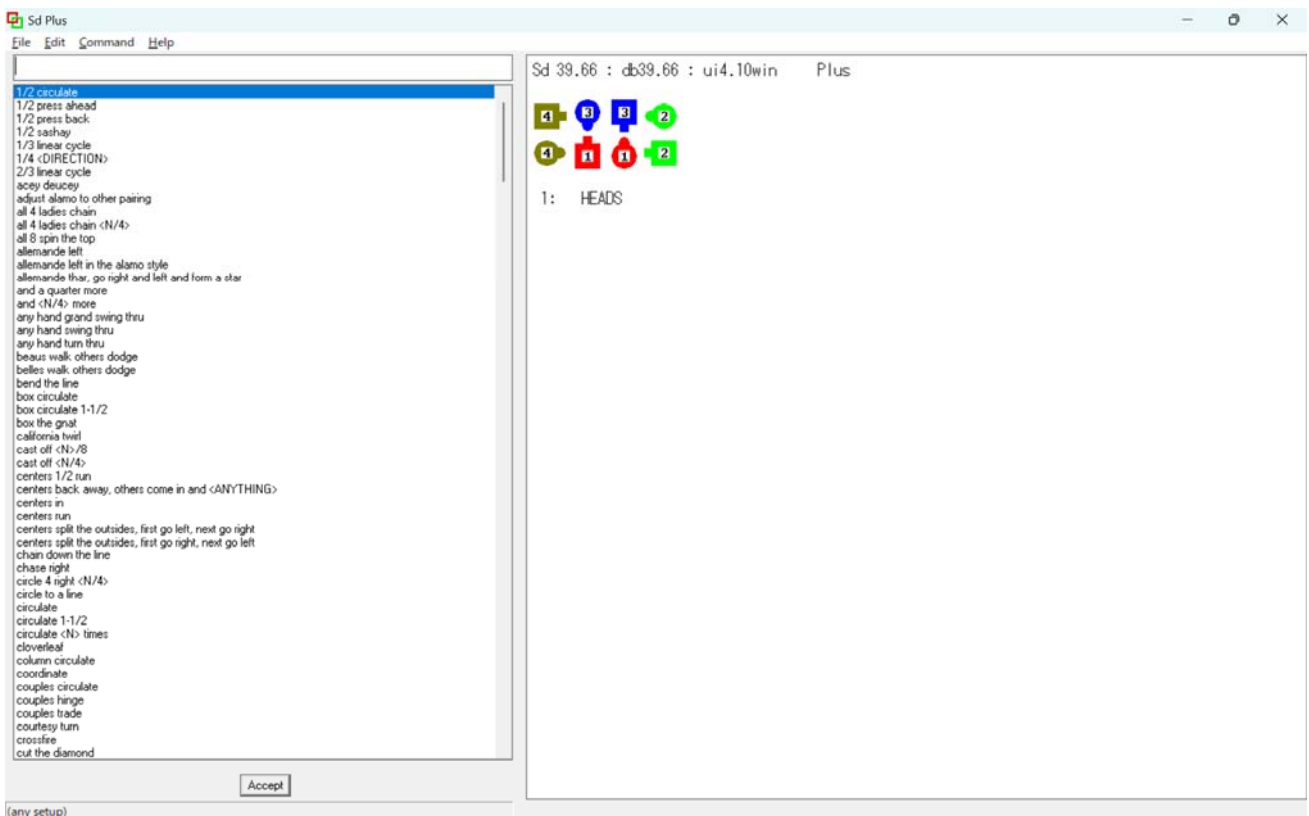
SD (SDCouple) の詳細な機能については「相模原スクエアダンスクラブ」の小方様が [SD couple 機能索引\(2021/10/05\)](https://ecapemos.web.fc2.com/SD_software/sd_couple.htm) https://ecapemos.web.fc2.com/SD_software/sd_couple.htm を公開していますので、そちらをご参照ください。

[SD 用ソフトの便利な機能 | さくらスクエアーズ](http://sakura-squares.club/post-category/tips) <http://sakura-squares.club/post-category/tips> も参考にしてください。

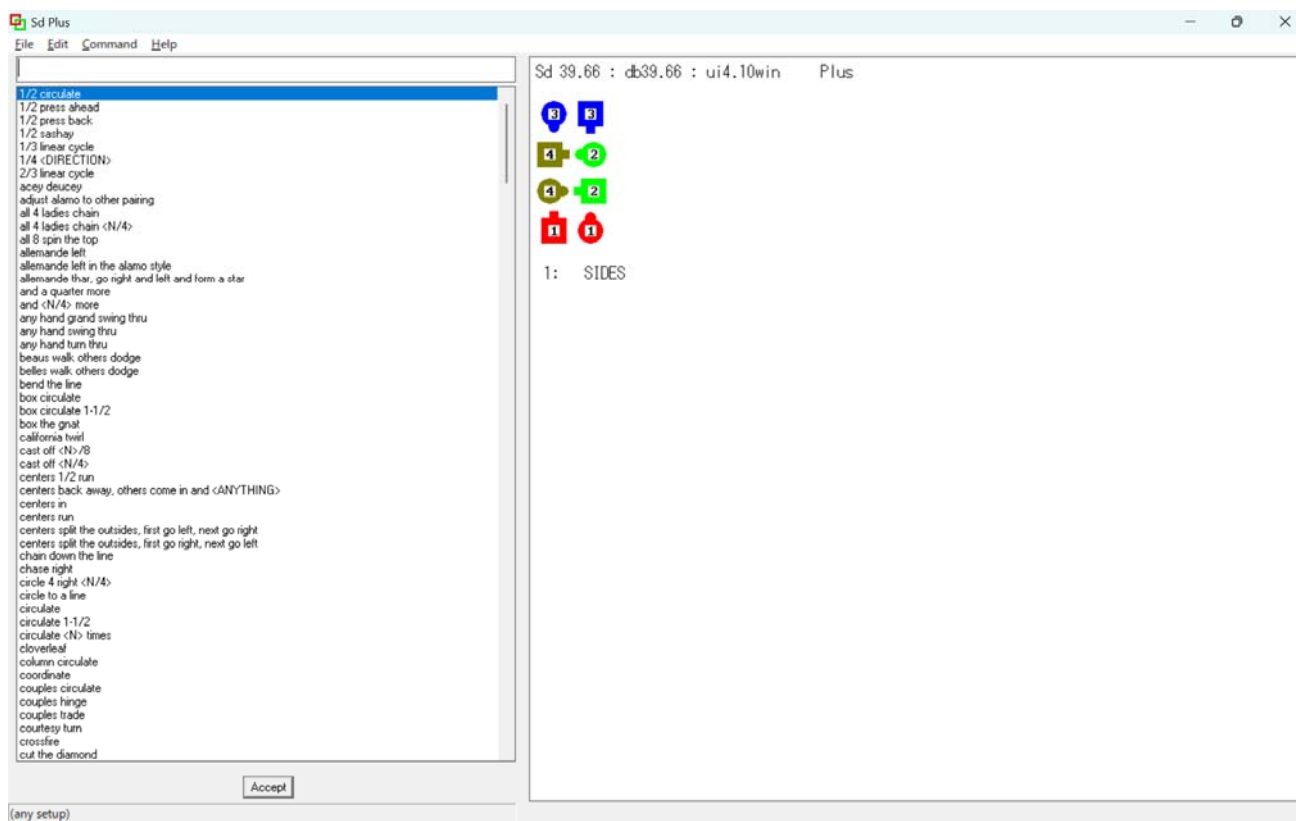
下の画面がシーケンス入力用の初期画面です。この画面では作成するシーケンスの初期体形と作成するシーケンスの種別や動作モード等を選択します。



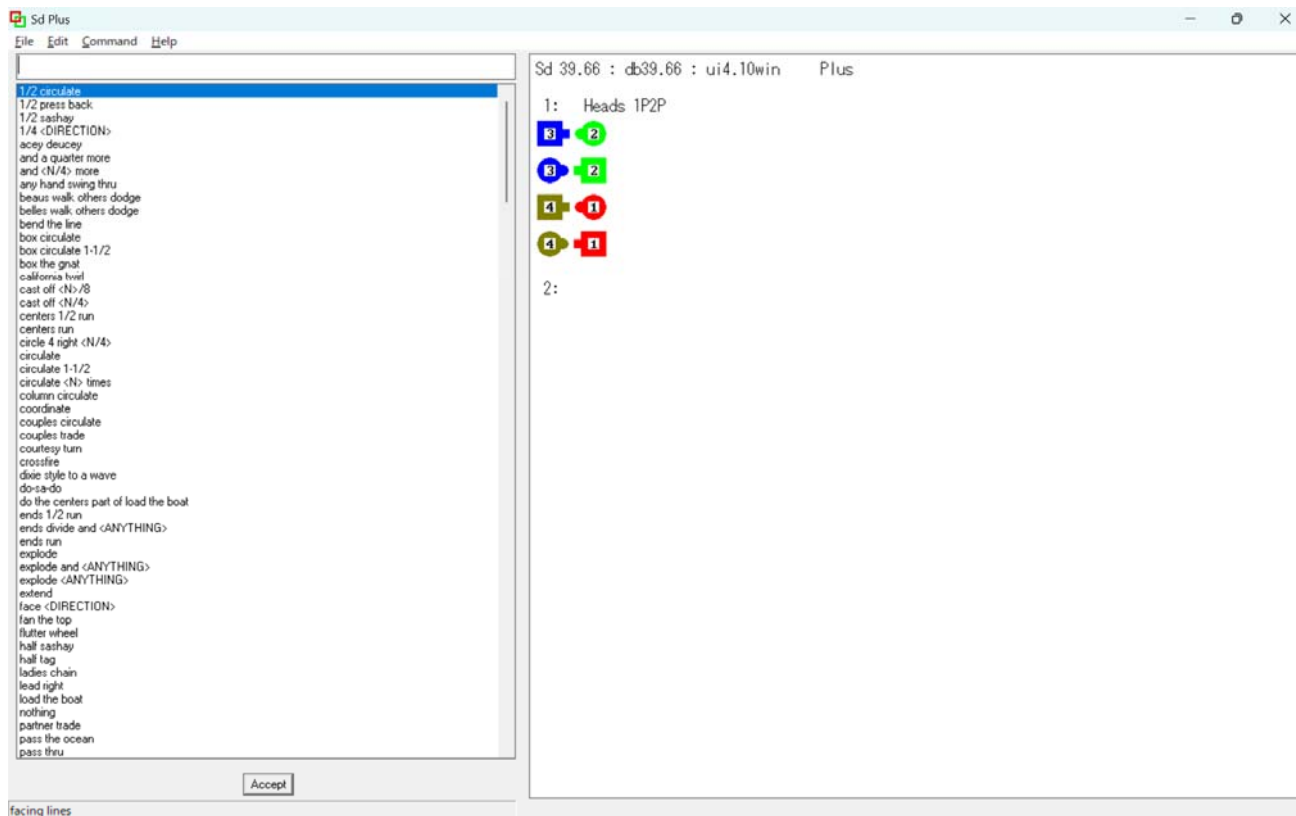
通常は heads start (F1) から開始します。



他には sides start (Sift + F1)



Heads 1p2p (F2)



Sides 1p2p (Shift + F2)

Sd Plus

File Edit Command Help

Sd 39.66 : db39.66 : ui4.10win Plus

1: Sides 1P2P

2:

facing lines

Accept

1/2 circulate
1/2 press back
1/2 sashay
1/4 <DIRECTION>
acey deucey
and a quarter more
and <N/4> more
any hand swing thru
beaus walk others dodge
belles walk others dodge
bend the line
box circulate
box circulate 1-1/2
box the gnat
california twirl
cast off <N>/8
cast off <N/4>
centers 1/2 run
centers run
circle 4 right <N/4>
circulate
circulate 1-1/2
circulate <N> times
column circulate
coordinate
couples circulate
couples trade
courtesy turn
crossfire
dixie style to a wave
do-a-do
do the centers part of load the boat
ends 1/2 run
ends divide and <ANYTHING>
ends run
explode
explode and <ANYTHING>
explode <ANYTHING>
extend
face <DIRECTION>
fan the top
flutter wheel
hall sashay
hall tag
ladies chain
lead right
load the boat
nothing
partner trade
pass the ocean
pass thru

just as they are (Ctl+F1)

Sd Plus

File Edit Command Help

Sd 39.66 : db39.66 : ui4.10win Plus

1: From squared set

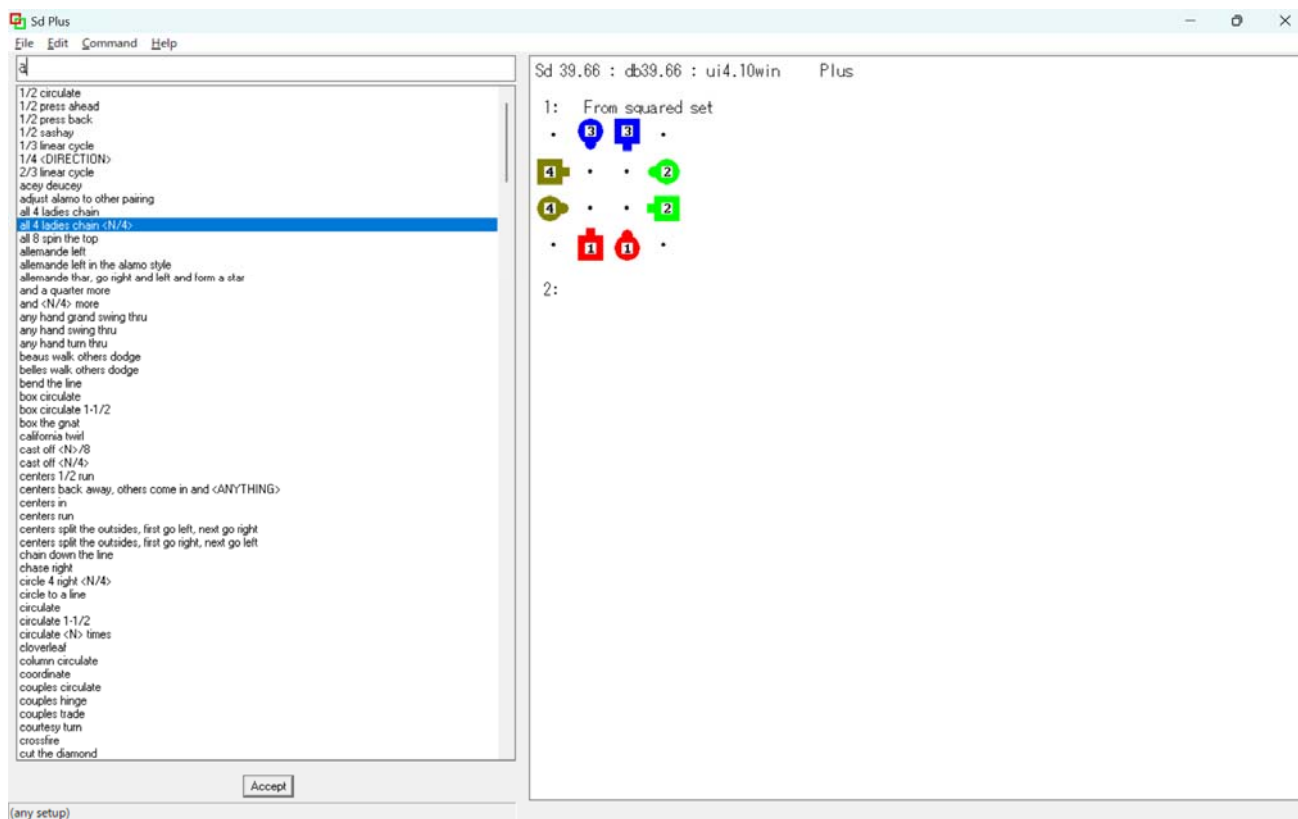
2:

(any setup)

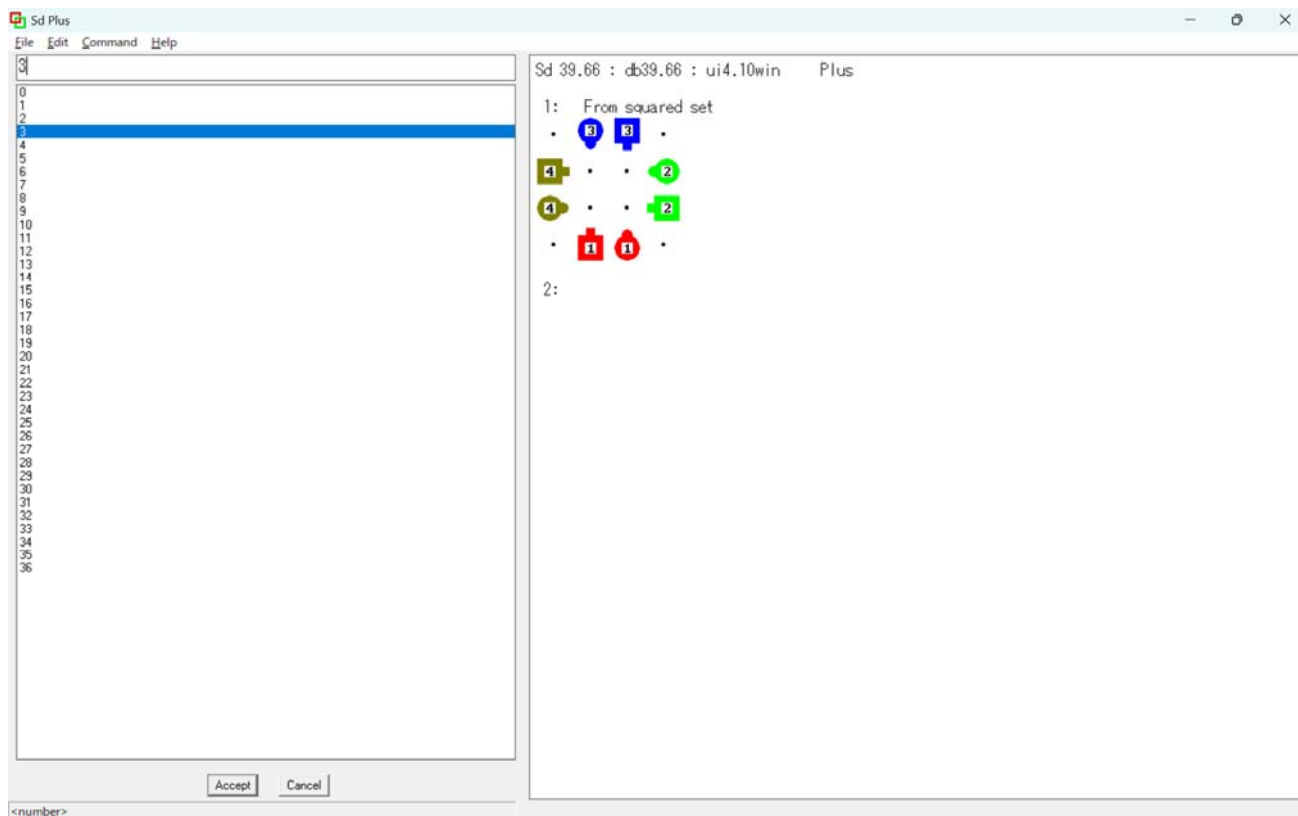
Accept

1/2 circulate
1/2 press ahead
1/2 press back
1/2 sashay
1/3 linear cycle
1/4 <DIRECTION>
2/3 linear cycle
acey deucey
adjust alamo to other pairing
all 4 ladies chain
all 4 ladies chain <N/4>
all 8 spin the top
allemande left
allemande left in the alamo style
allemande thar, go right and left and form a star
and a quarter more
and <N/4> more
any hand grand swing thru
any hand swing thru
any hand turn thru
beaus walk others dodge
belles walk others dodge
bend the line
box circulate
box circulate 1-1/2
box the gnat
california twirl
cast off <N>/8
cast off <N/4>
centers 1/2 run
centers back away, others come in and <ANYTHING>
centers in
centers run
centers split the outsides, first go left, next go right
centers split the outsides, first go right, next go left
chain down the line
chase right
circle 4 right <N/4>
circle to a line
circulate
circulate 1-1/2
circulate <N> times
cloverleaf
column circulate
coordinate
couples circulate
couples hinge
couples trade
courtesy turn
crossfire
cut the diamond

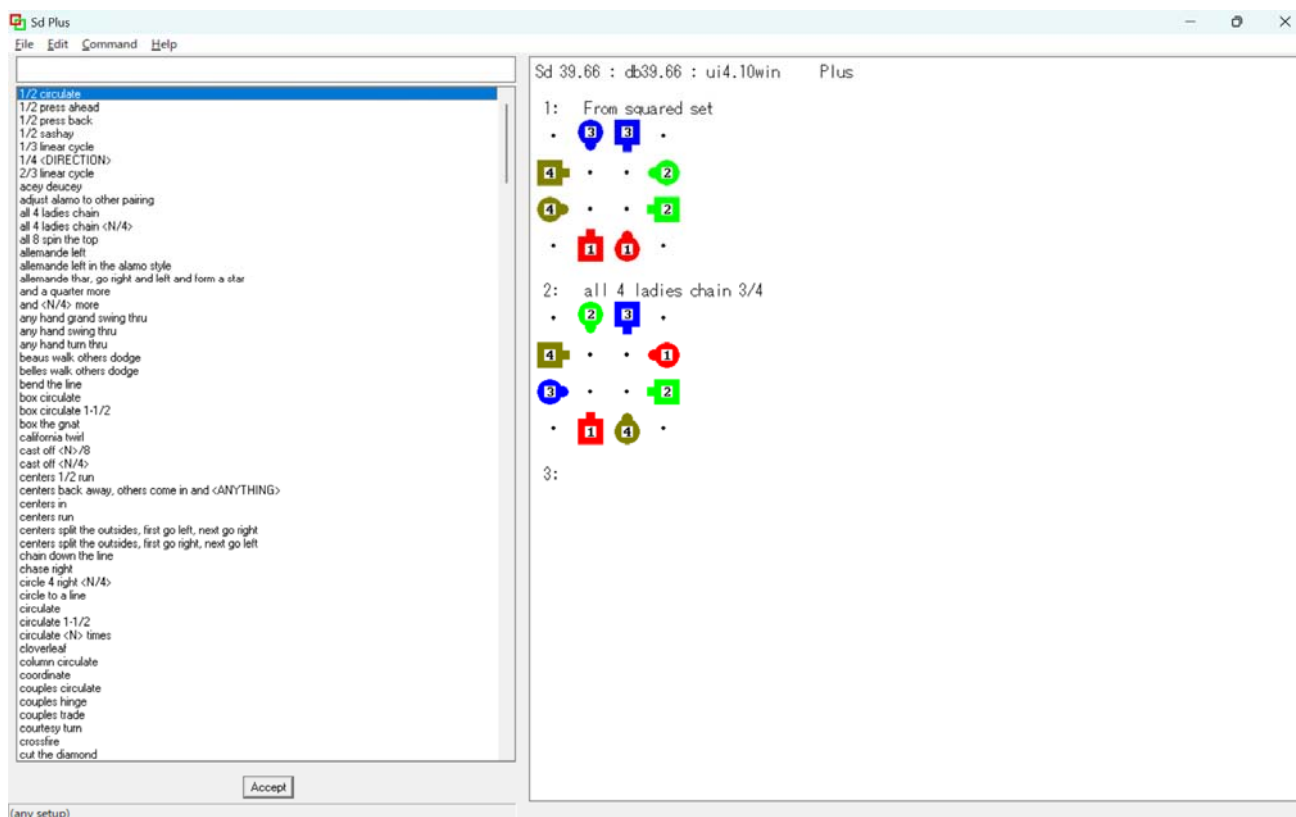
4-Ladies Chain 3/4 を入力する手順として、左上のコマンド入力欄に「a」と入力するとコールリストの「a」から始まる部分にハイライトが移動しますので、↑↓キーで「all 4 ladies chain <n/4>」を選択してマウスをクリックするか「Enter キー」を押します。



<n/4>の n の部分に入る数字を指定します（ここでは 3 を選択）。

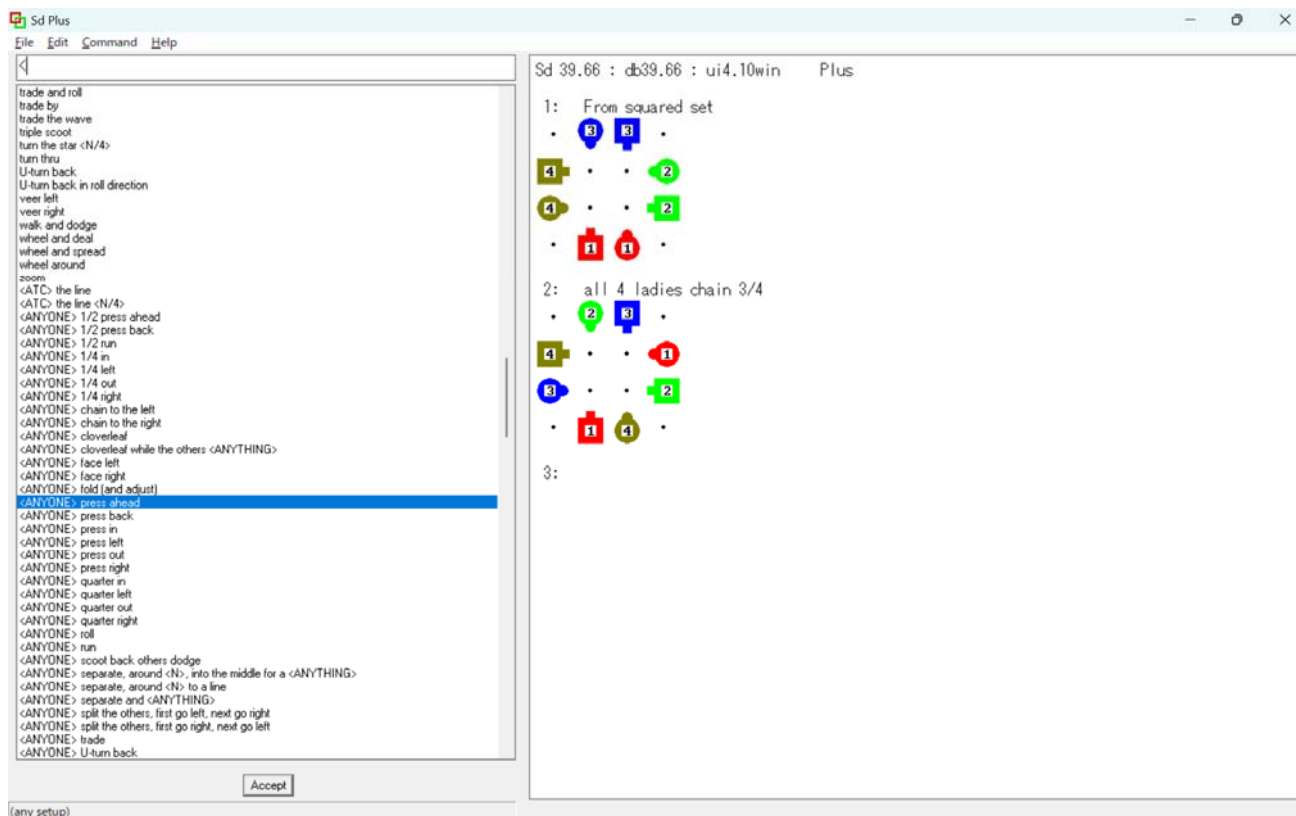


処理結果は以下の画面となります。最初から「all 4 ladies chain 3/4」と入力することも可能です。

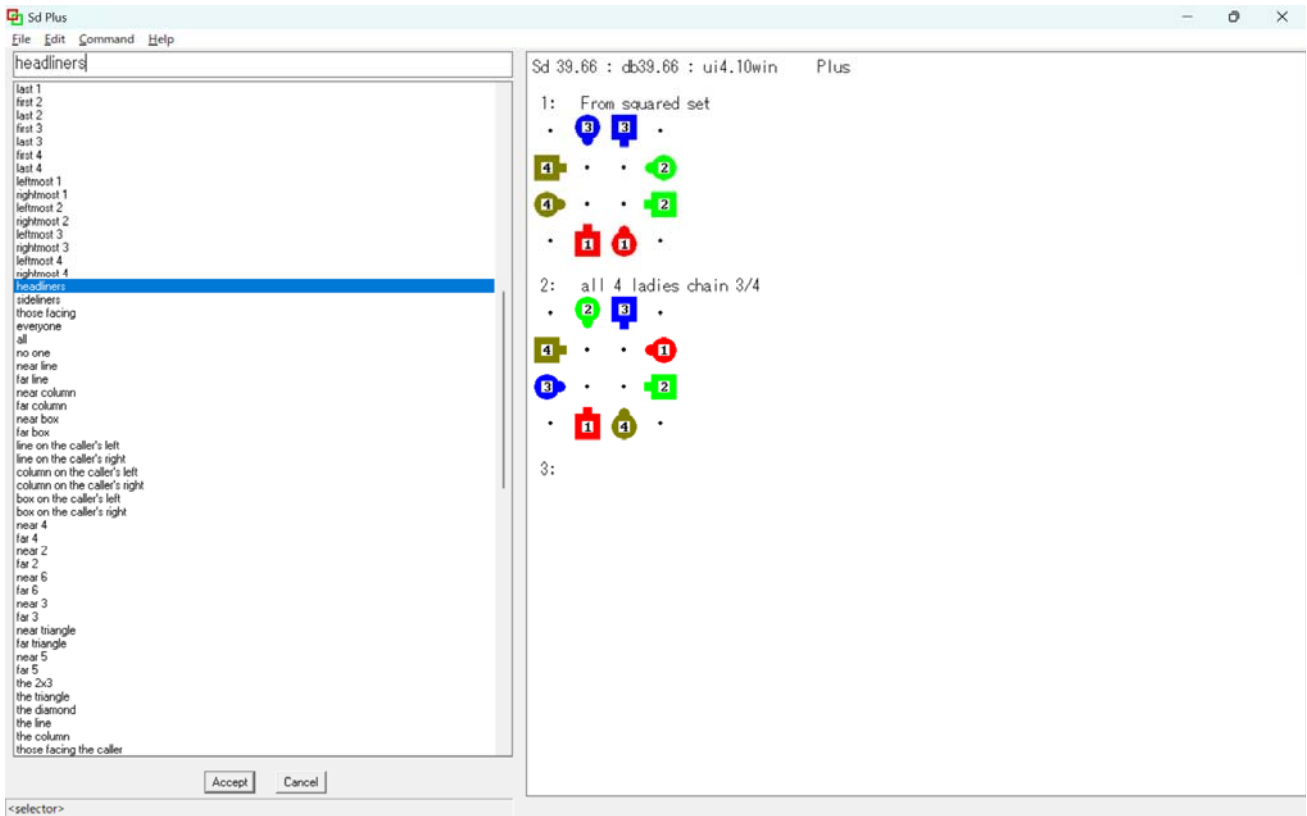


ここから新しい heads に square thru 4 をコールする手順を説明します。

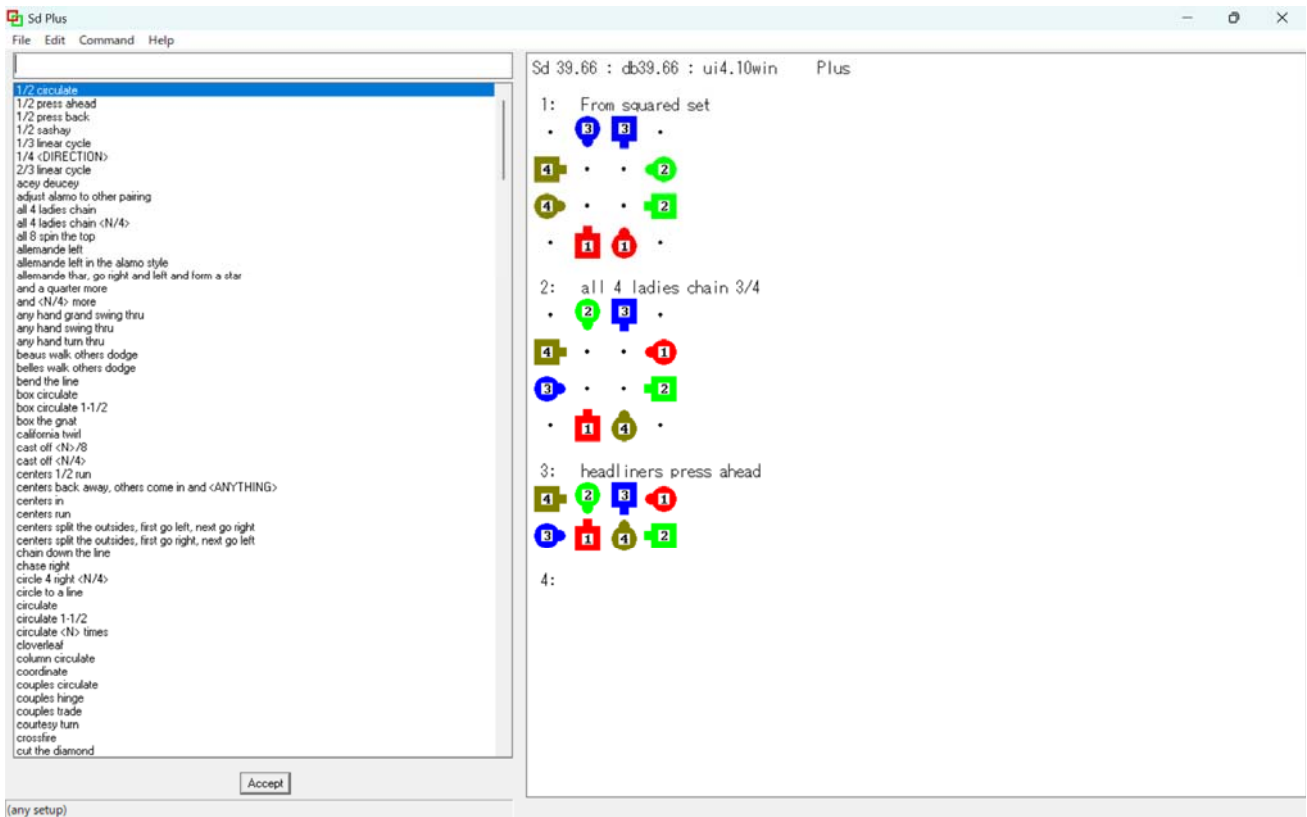
heads の場所と動作を指定するために<ANYONE> press ahead を選択します。



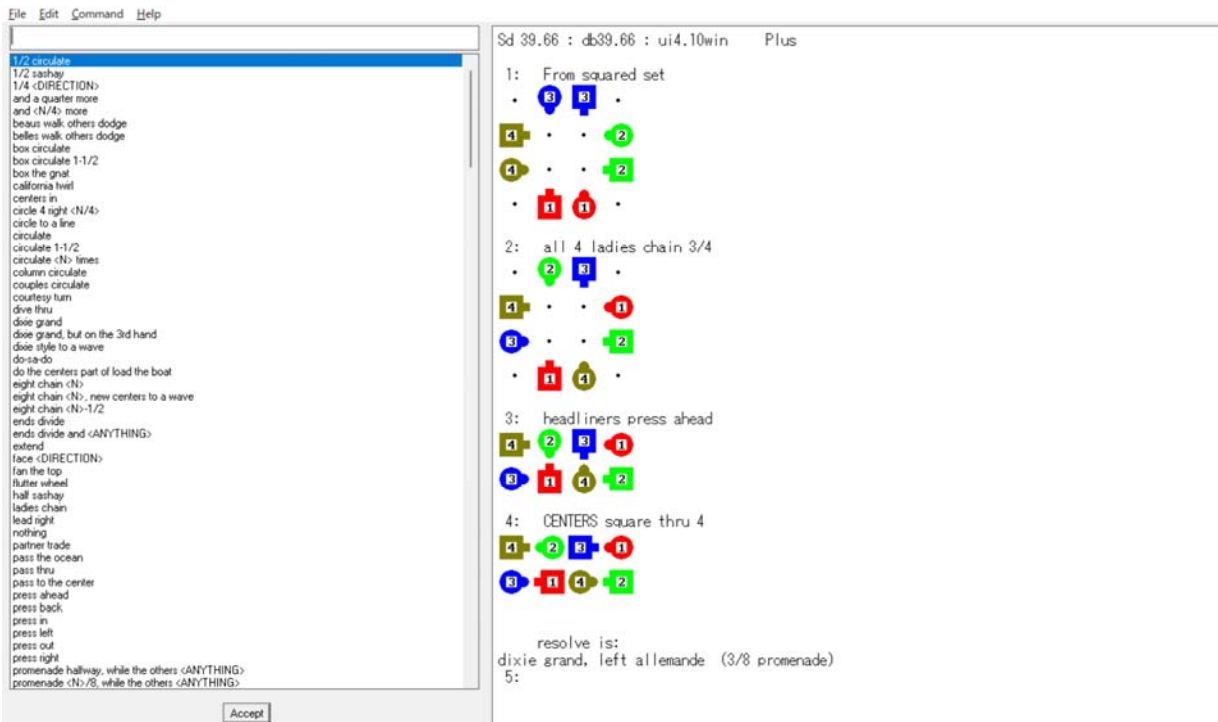
<ANYONE>の対象一覧から headliners または head corners を入力（選択）します。



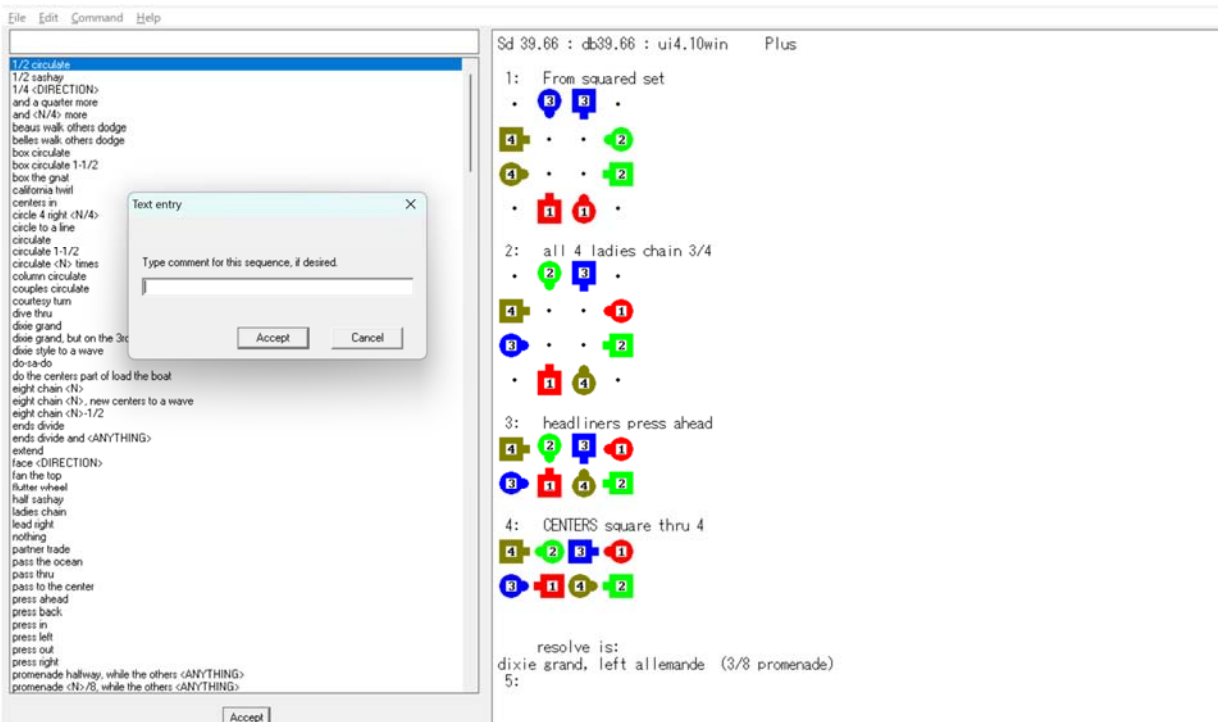
選択した結果は以下の画面になります。これで「centers」を指定すれば heads の位置のダンサーにコールを実行させることが可能となります。直接 headliners press ahead と入力することも可能です。



コールを入力する場合は、対象ダンサーを明確にする必要があります。この場合は「centers」を指定しないとどのダンサーがコールを実行するのか判断できず、無効となりますので、「centers square thru 4」と入力するか「centers」の入力後に「square thru <n>」を選択し、<n>に4を指定します。

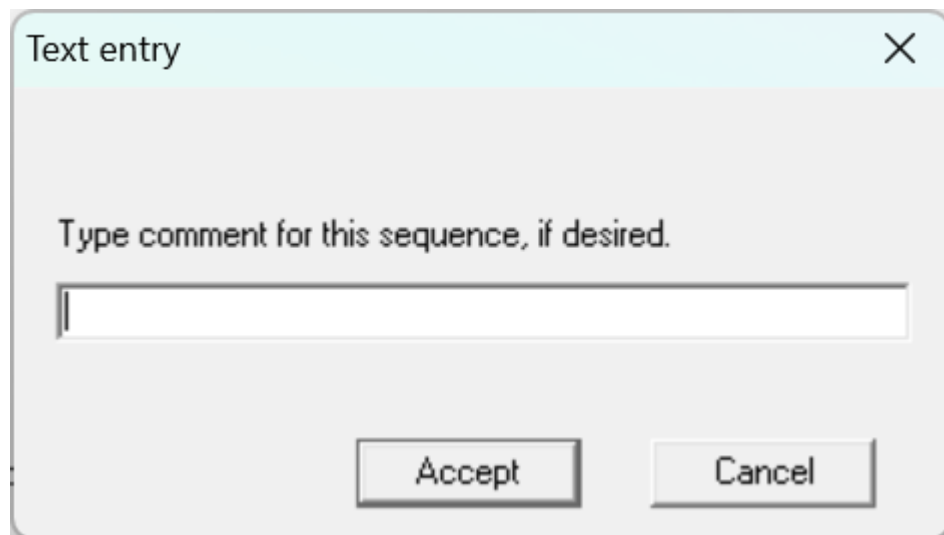


上の画面では「resolve is: dixie grand, left allemande (3/8 promenade)」と表示されています。これは「dixie grand, left allemande」で (3/8 promenade) でホームに戻る位置で resolve すると示してくれています。このシークエンスを保存するには「F10」を実行し、必要であれば「Text entry」にコメントを入れて「Accept」ボタンを押します。



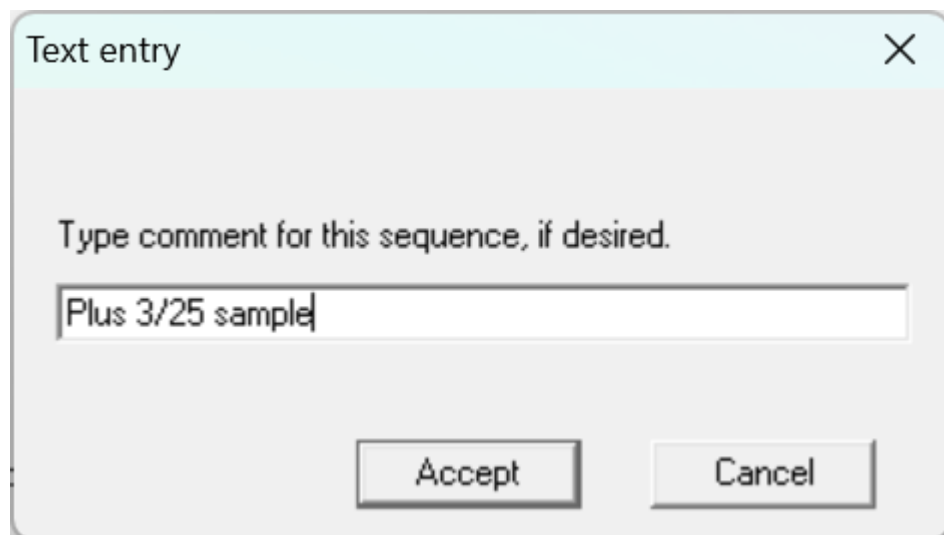
Text entry の画面は以下になります。「Type comment for this sequence, if desired.」翻訳すると「必要であれば、このシーケンスのコメントを入力する。」となります。

コメントを省略すると作成日、作成時刻がコメントとして採用されますが、後の分類や SDReader での使用を考慮するとシーケンスの内容がわかるようなコメントを入力しておくことをお勧めします。



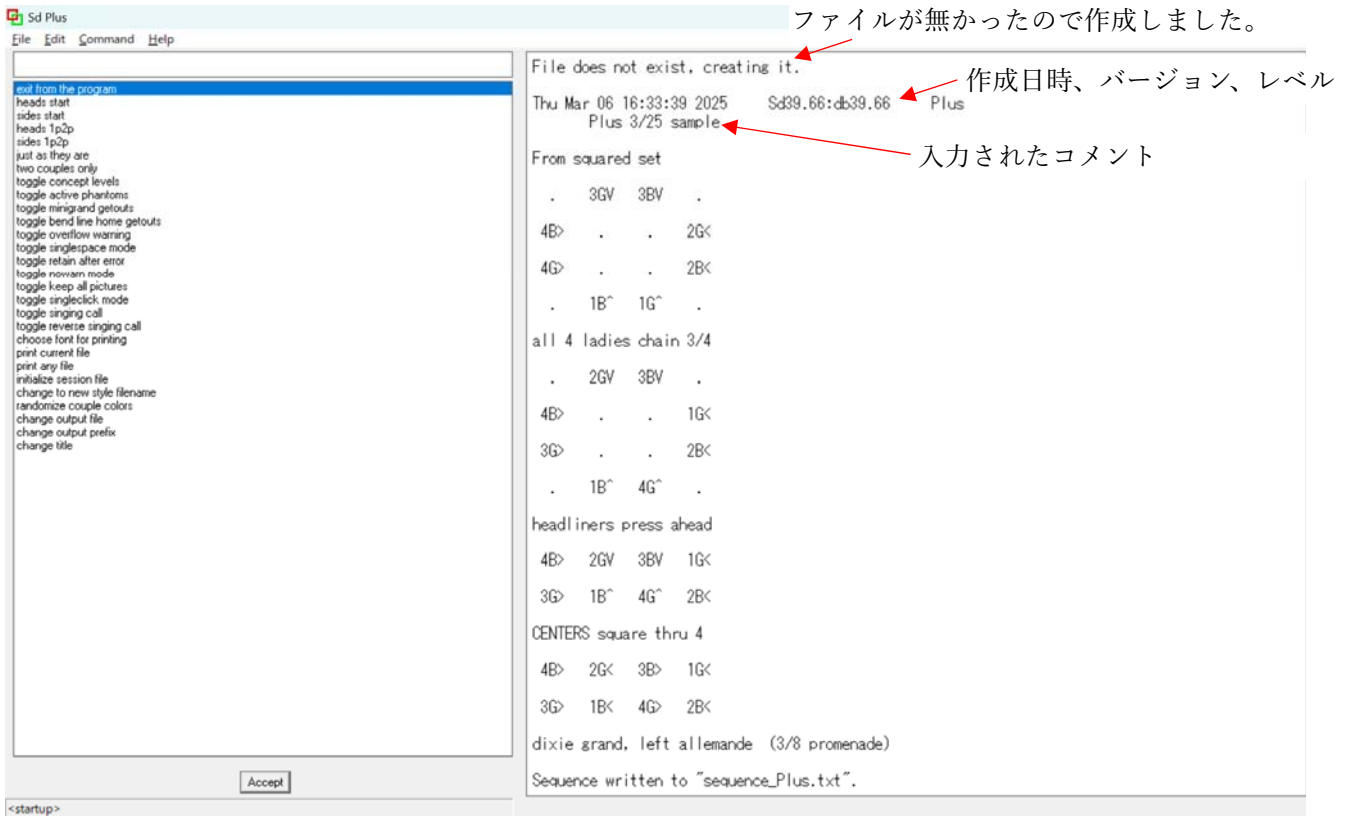
The image shows a 'Text entry' dialog box with a light blue header and a close button (X) in the top right corner. The main area is light gray and contains the text 'Type comment for this sequence, if desired.' above a white text input field. At the bottom, there are two buttons: 'Accept' and 'Cancel'.

私の場合は、「レベル 日付 内容のメモ」を入力しています。

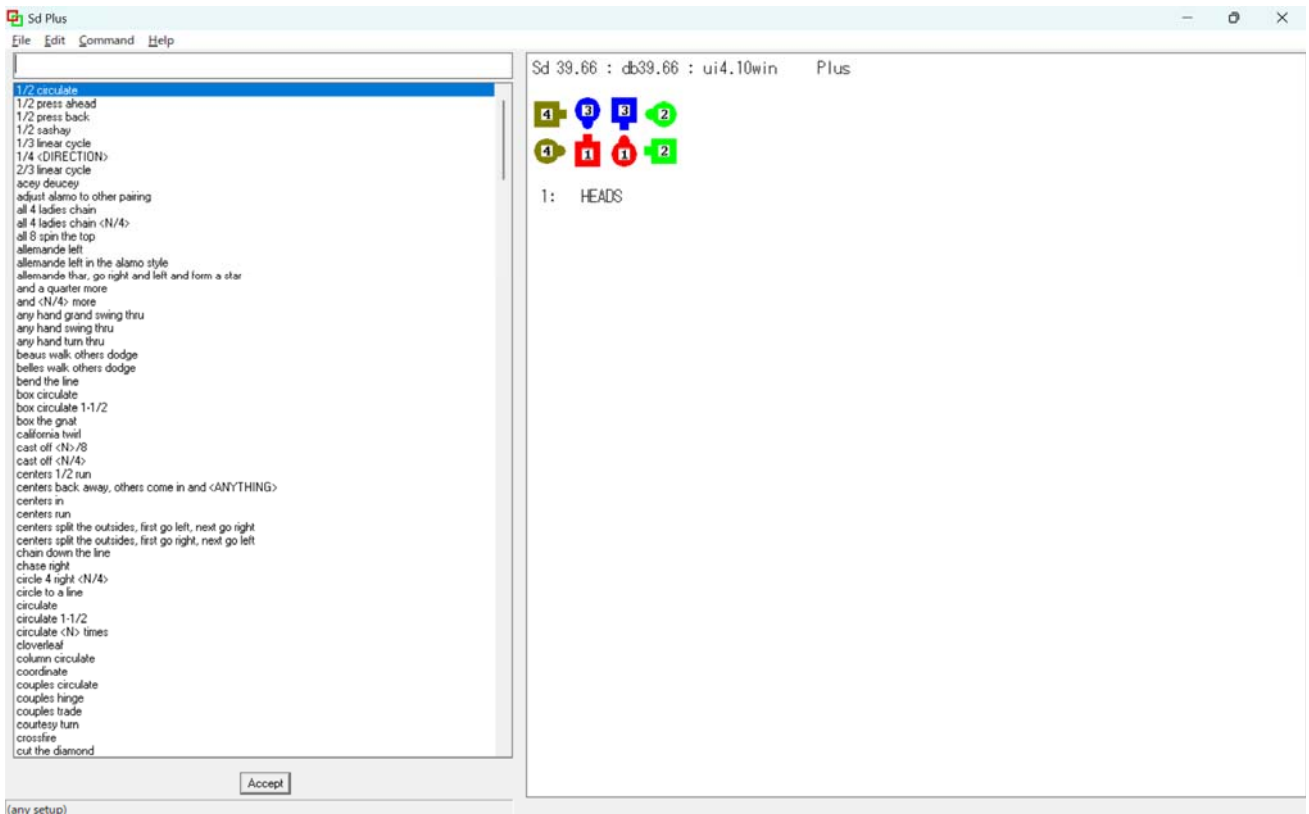


The image shows the same 'Text entry' dialog box as above, but the text input field now contains the text 'Plus 3/25 sample'. The rest of the dialog box, including the header, title, and buttons, is identical to the previous screenshot.

シークエンスが保存されると以下の画面となります。



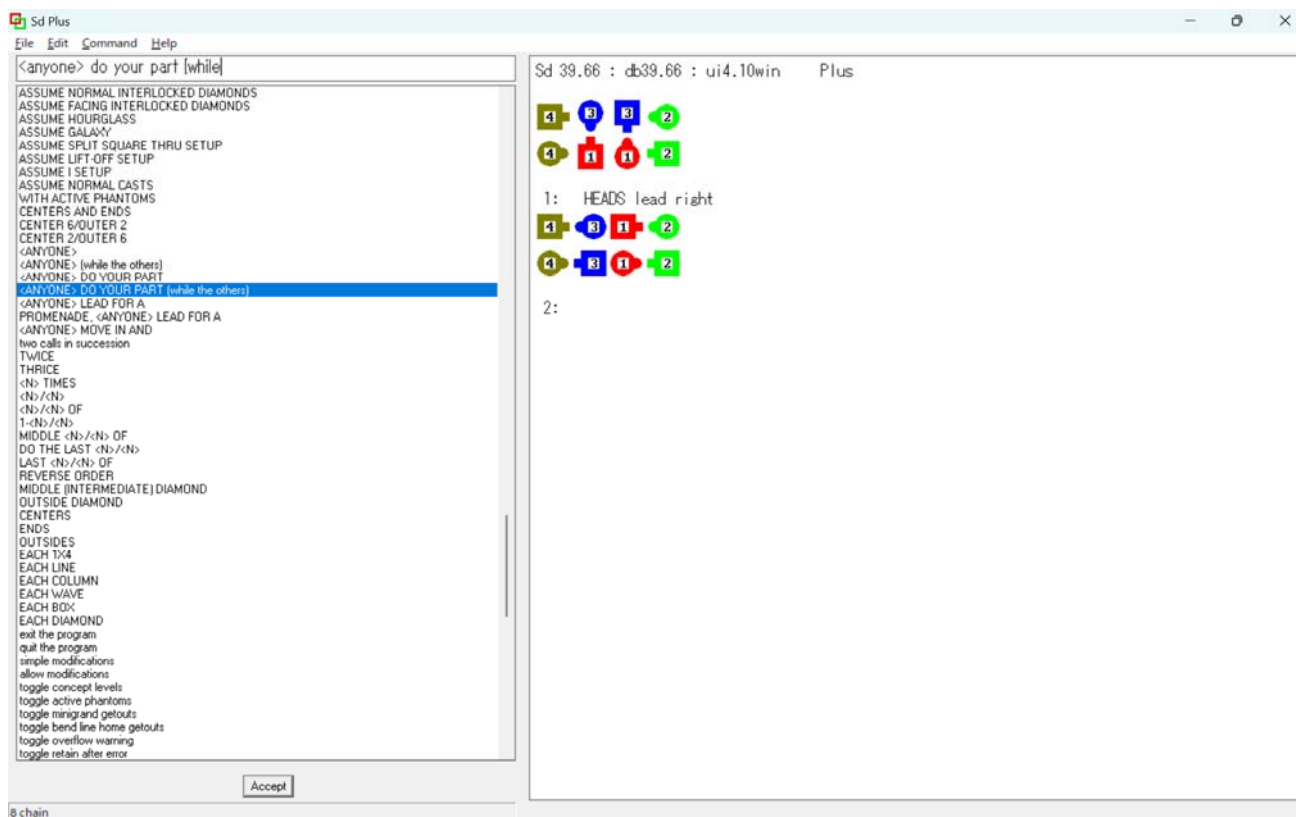
次のシークエンスを作成するには、スタート体形を指定します。(通常は F1 の heads start)
F1 を押すと画面上では heads が前進して HEADS が入力された状態となります。



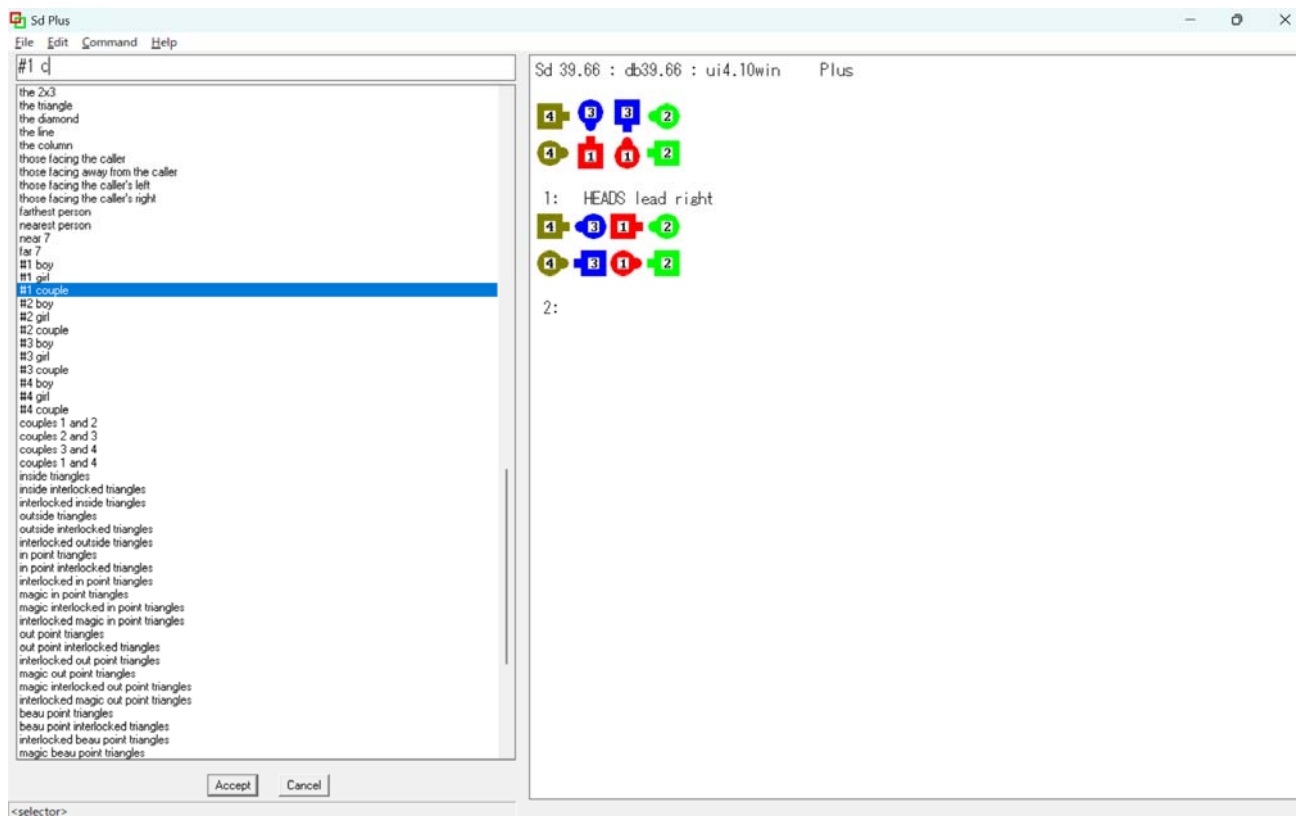
特殊なコールの入力例として、Square Thru Your Couple's No. を入力する例を示します。

下の画面の体形から入力しますが、何回かに分割して入力する必要があります。

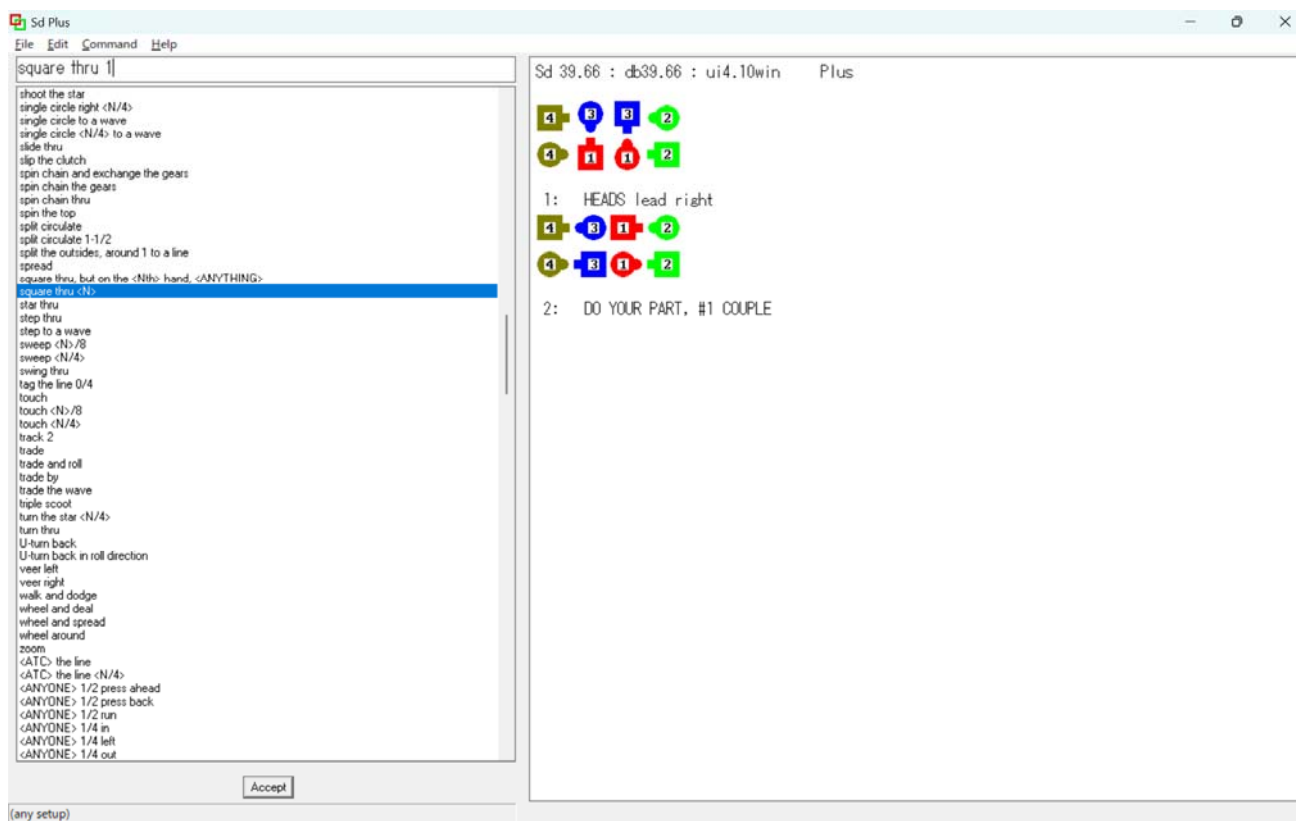
使用するコマンドは<ANYONE> DO YOUR PART [while the others]です。



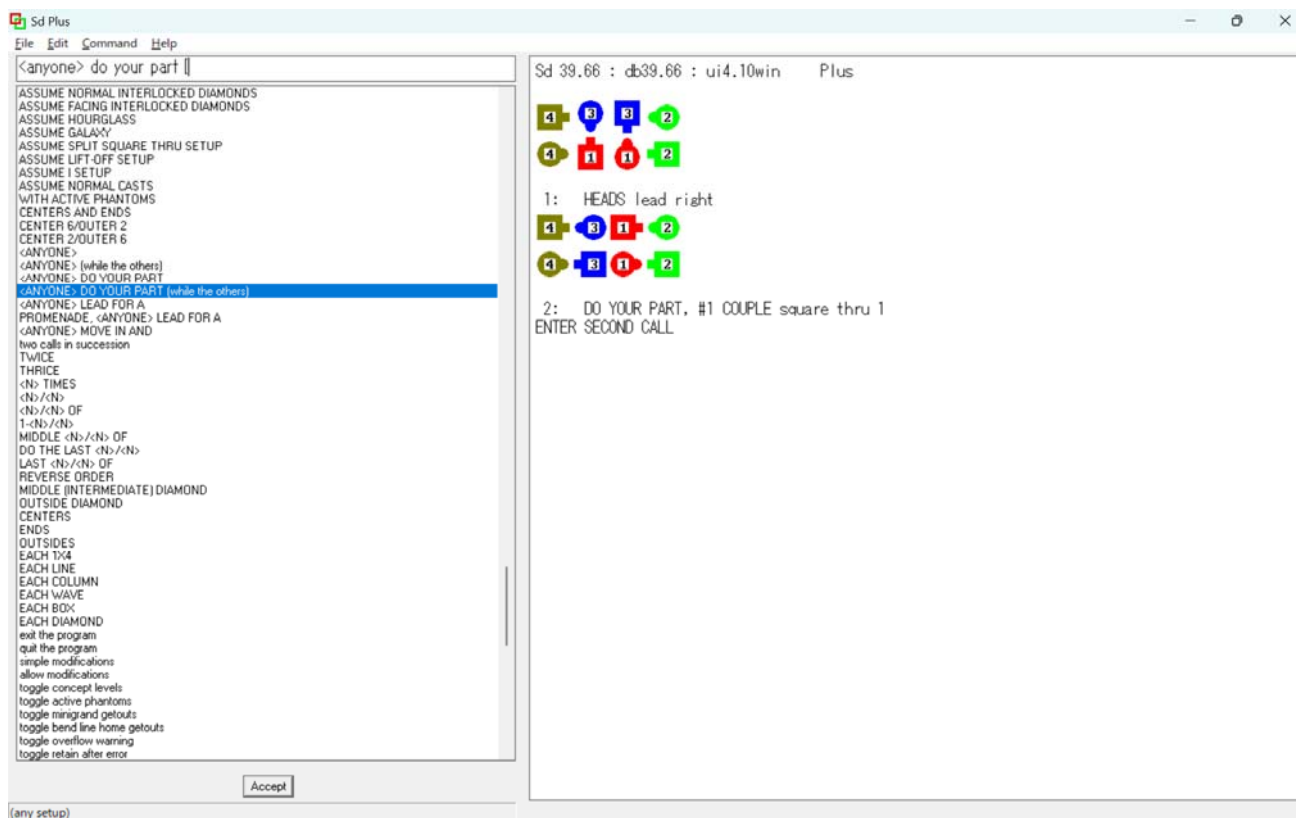
上記のコマンドを実行して、<ANYONE>の選択で1組 (#1 couple) を指定します。(couples ではない)



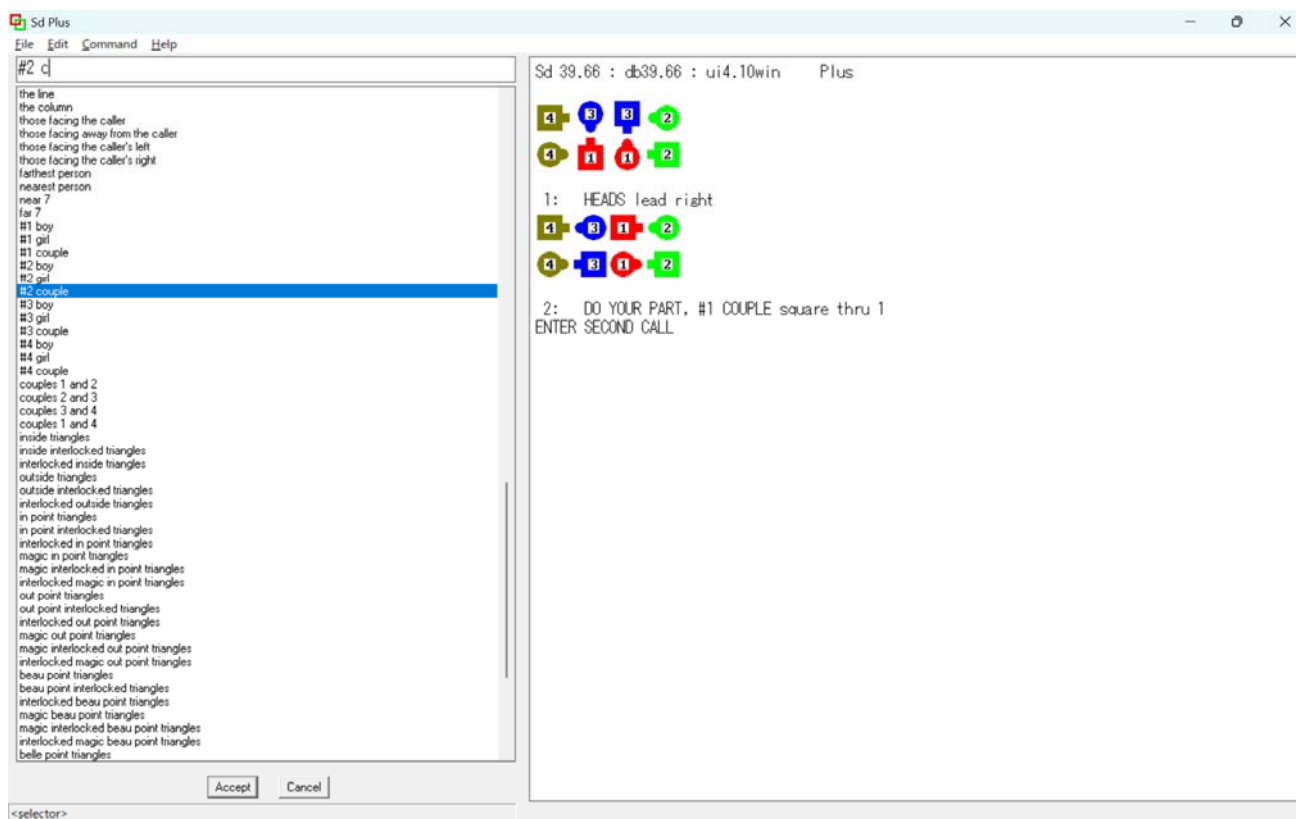
続いて#1 couple の動作を指定します。(ここでは square thru 1)



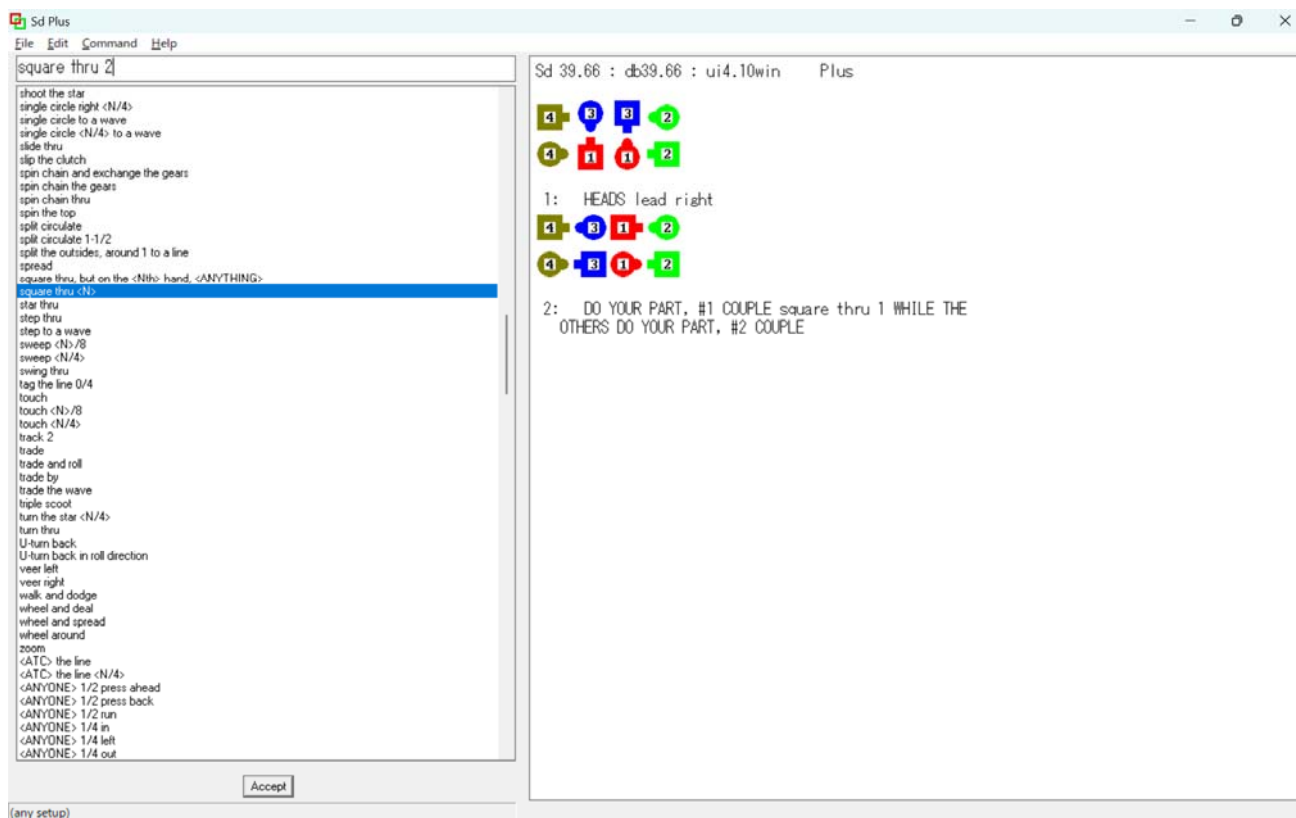
下の画面のように ENTER SECOND CALL と残りのダンサーに対する動作を入力するように問われますので、再度<ANYONE> DO YOUR PART [while the others]を入力します。



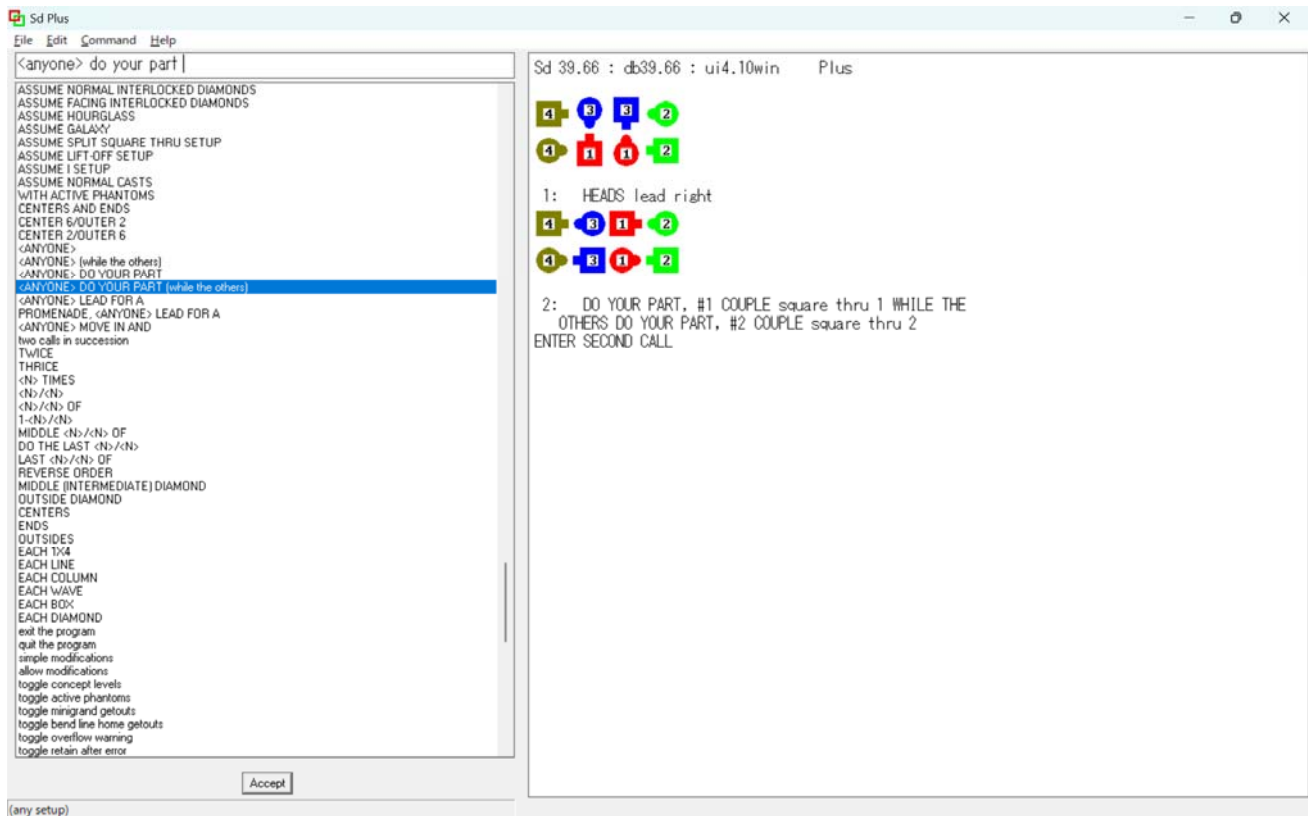
対象ダンサーとして2組 (#2 couple) を指定します。



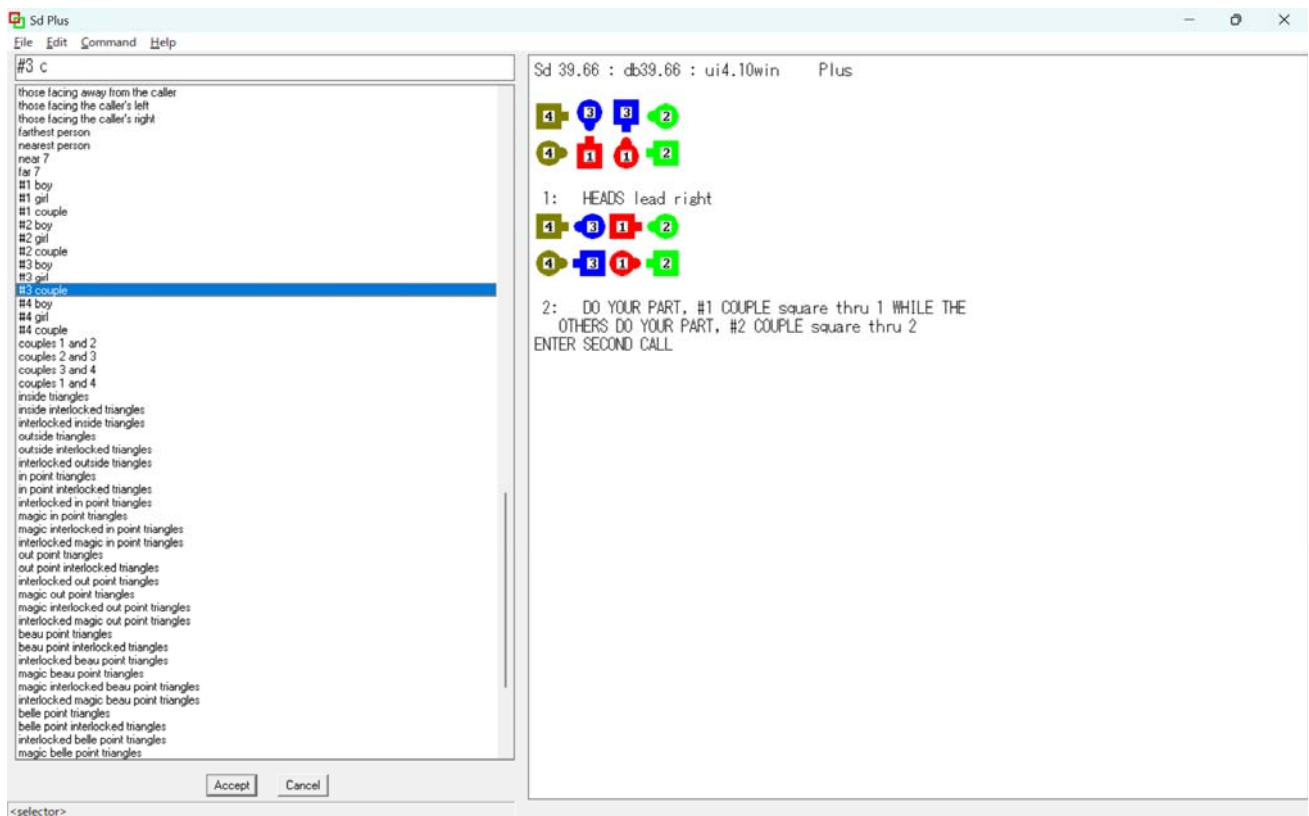
続いて#2 couple の動作を指定します。(ここでは square thru 2)



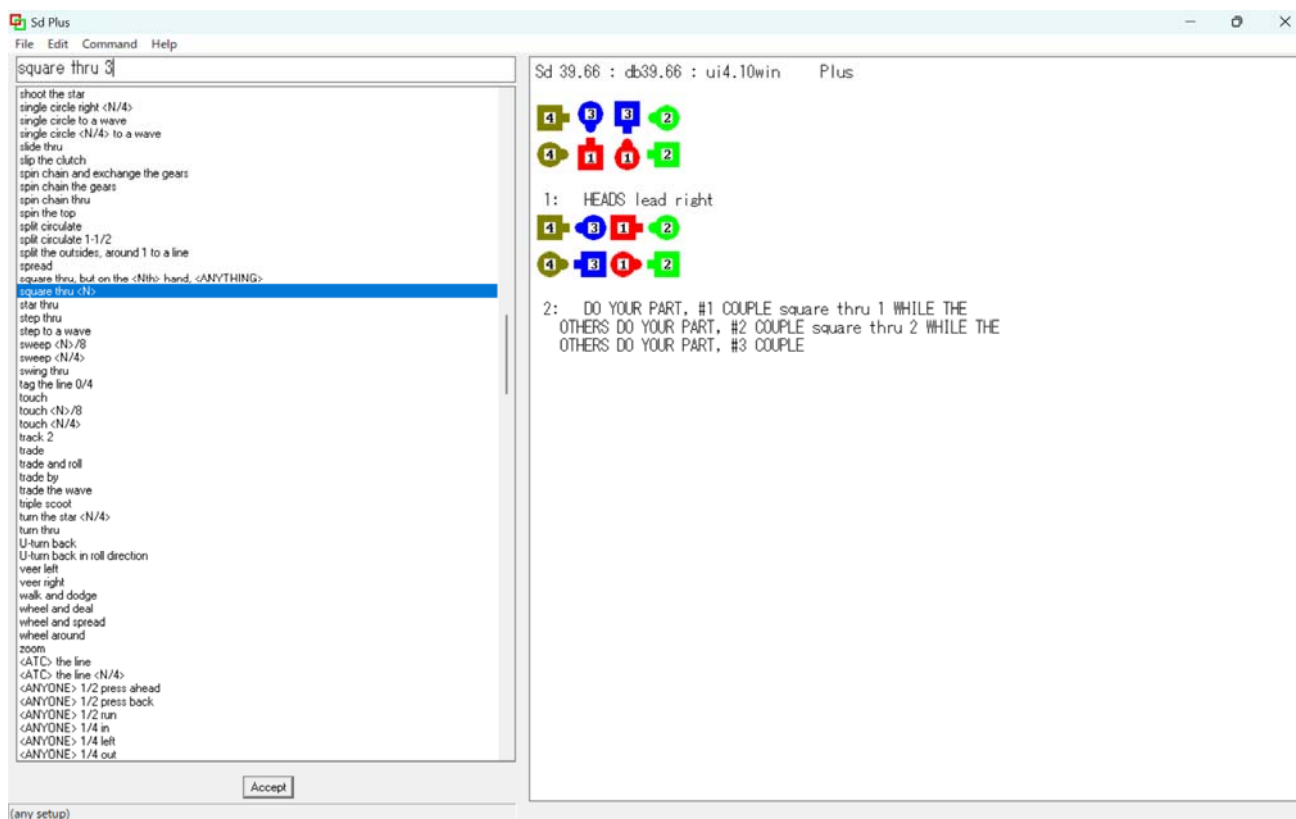
同様に ENTER SECOND CALL と残りのダンサーに対する動作を入力するように問われますので、再度 <ANYONE> DO YOUR PART [while the others] を入力します。



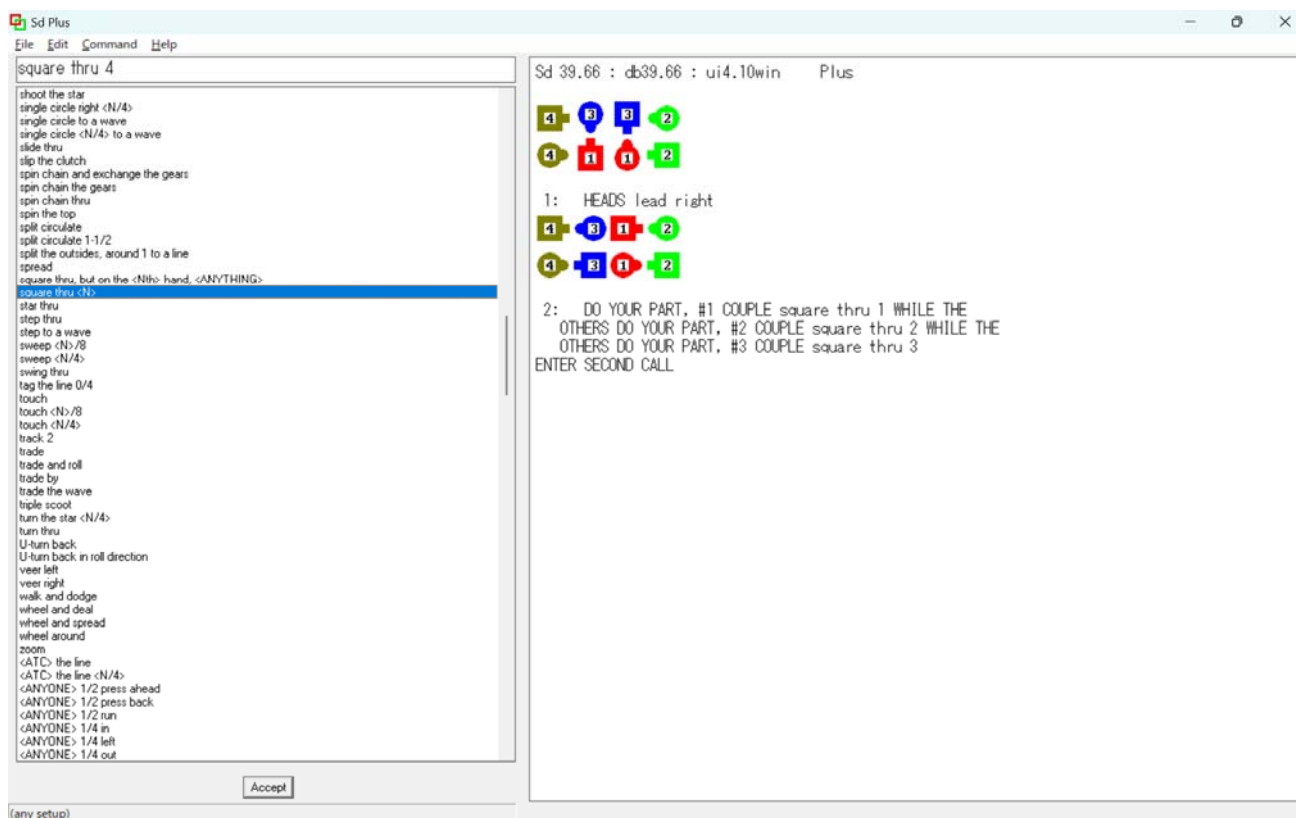
対象ダンサーとして 3 組 (#3 couple) を指定します。



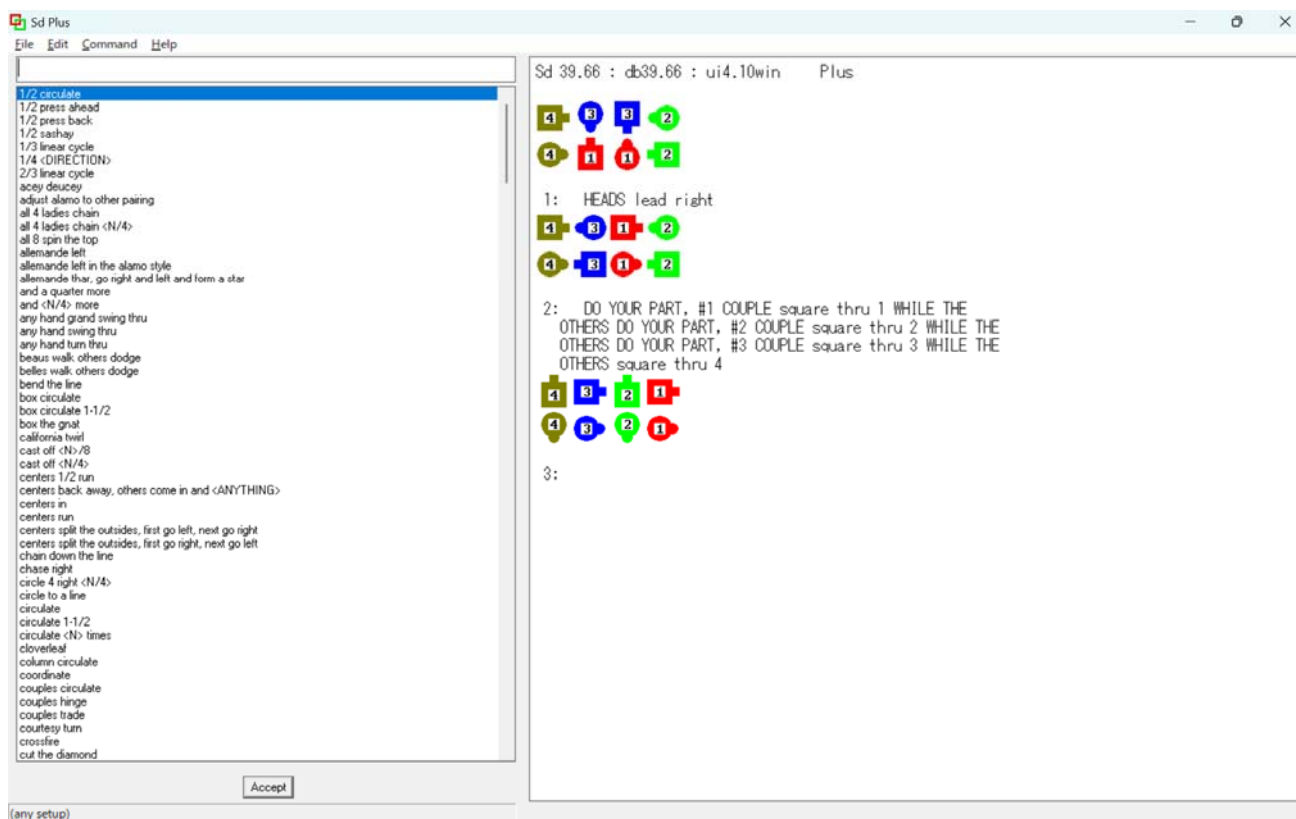
続いて#3 couple の動作を指定します。(ここでは square thru 3)



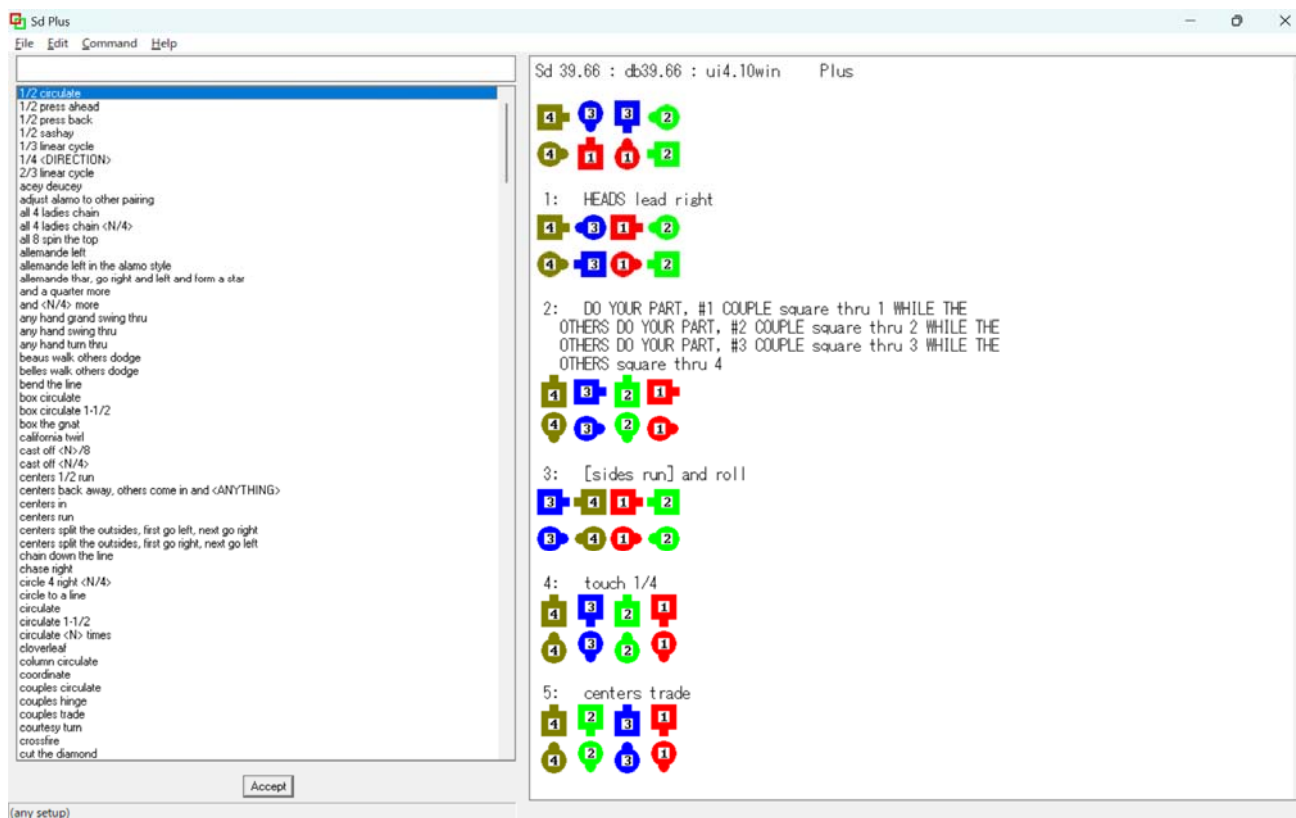
同様に ENTER SECOND CALL と残りのダンサーに対する動作を入力するように問われますが、残りは4組だけなので、ここでは square thru 4 と入力してコマンドを完了します。

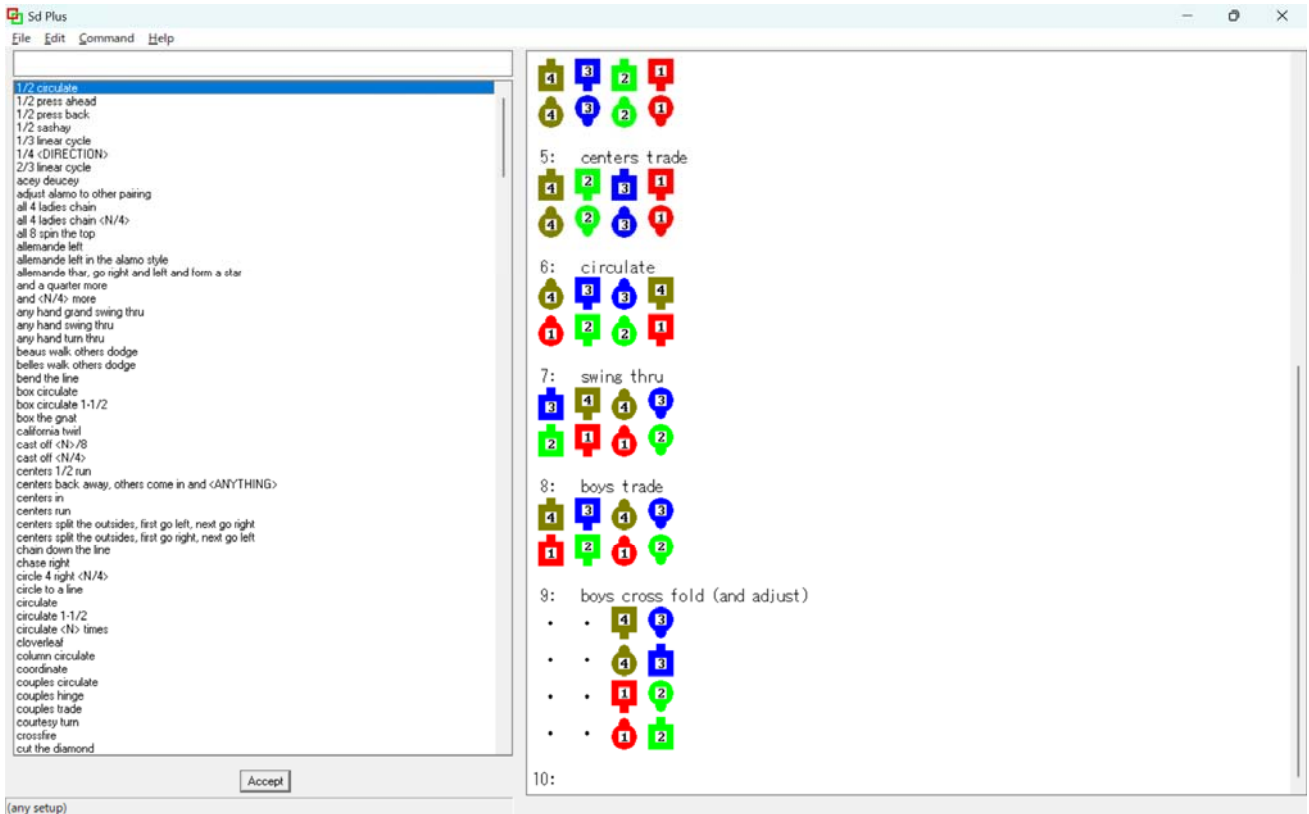


動作結果は以下の画面となります。

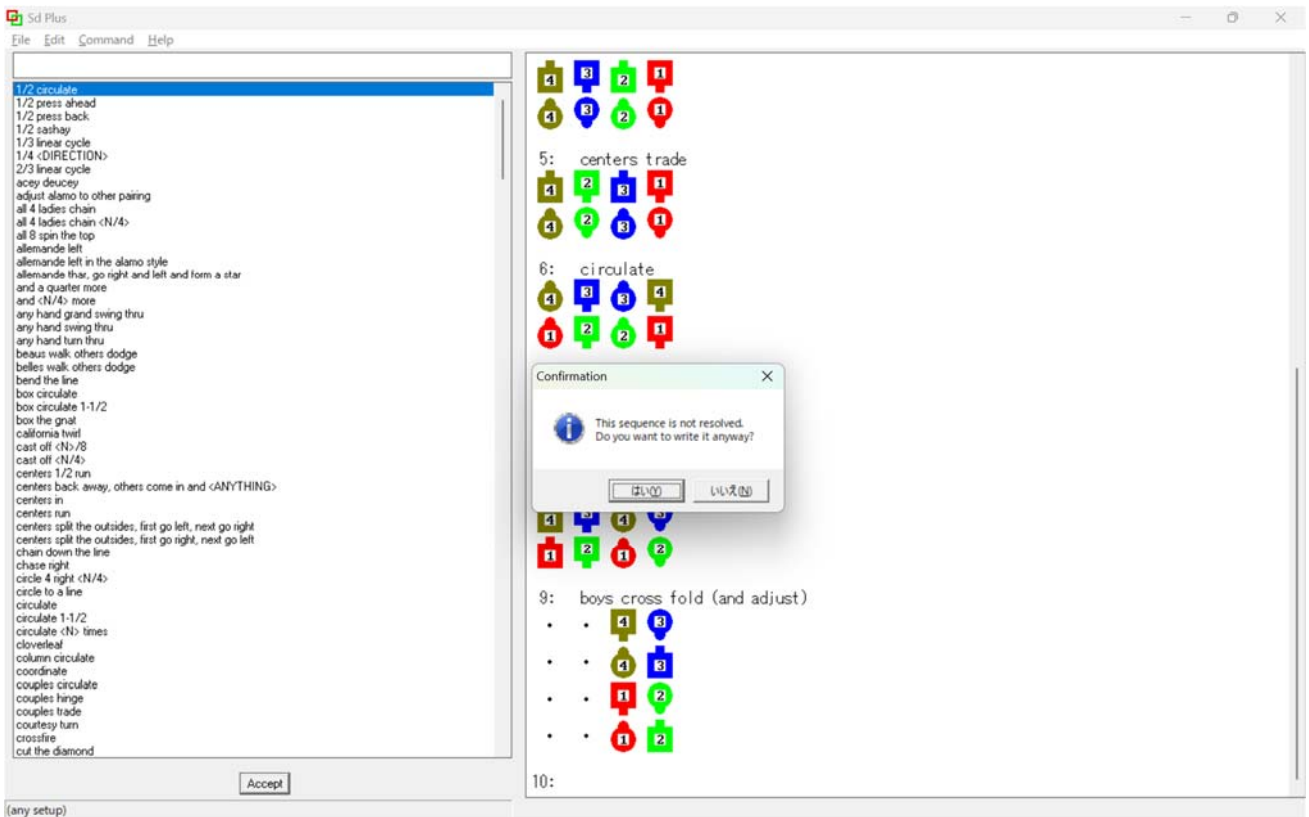


上記の体形からの resolve の例を示します。

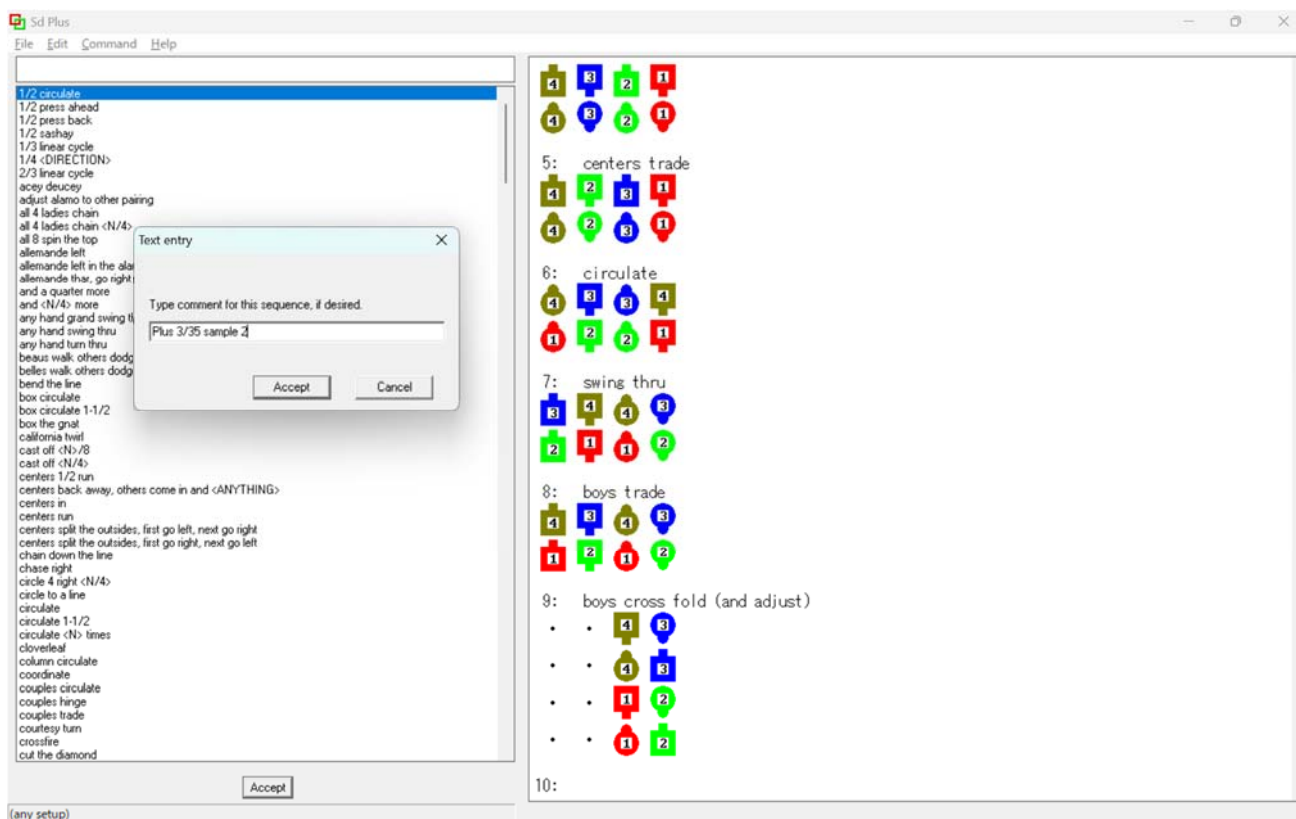




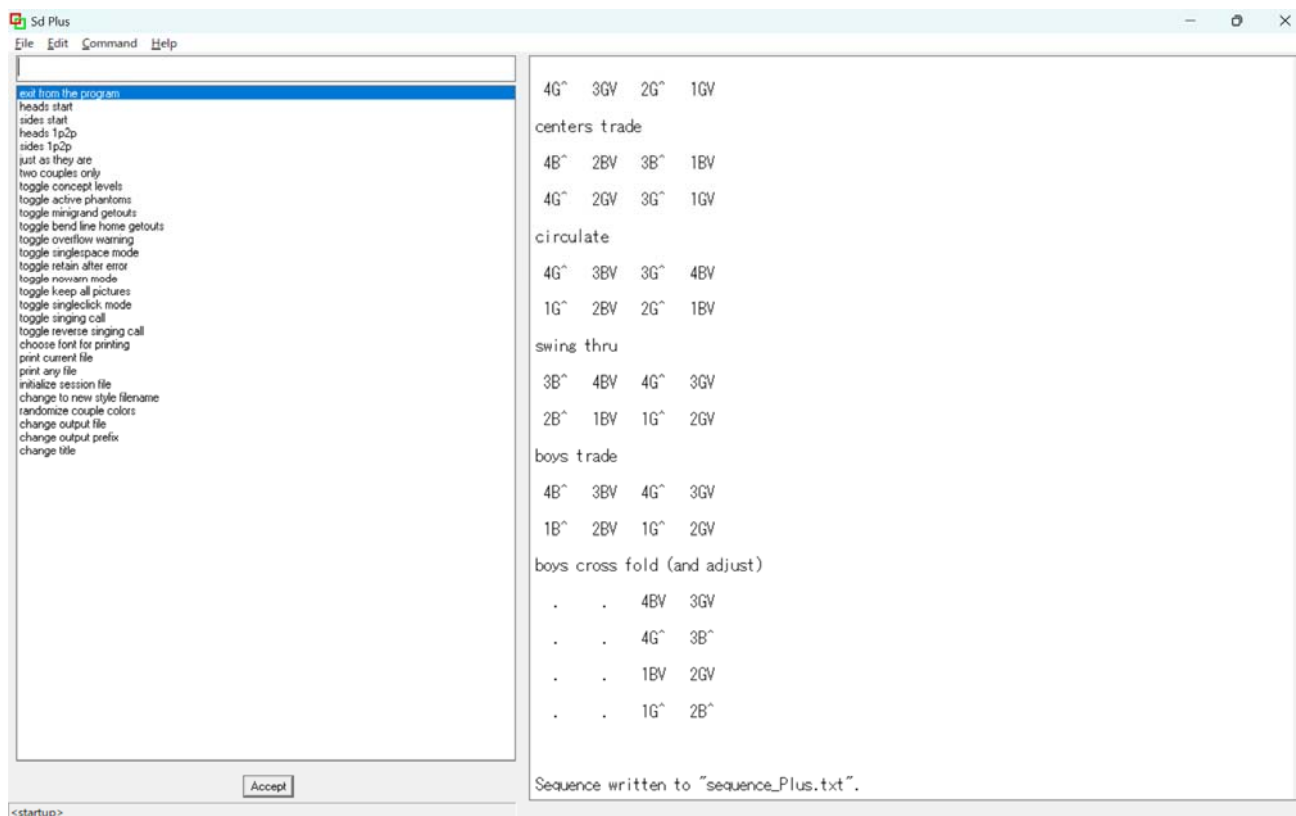
多少変則な体形で resolve (解決) しているように見えますが、SD はこの状態を resolve とは認識していないので、F10 を押すと以下の画面のように「このシーケンスは解決していないが、記録しますか?」と聞いてきますので、「はい(Y)」を選択してコメント入力画面を表示します。



通常の保存と同様にコメントを入力して、シークエンスを保存します。



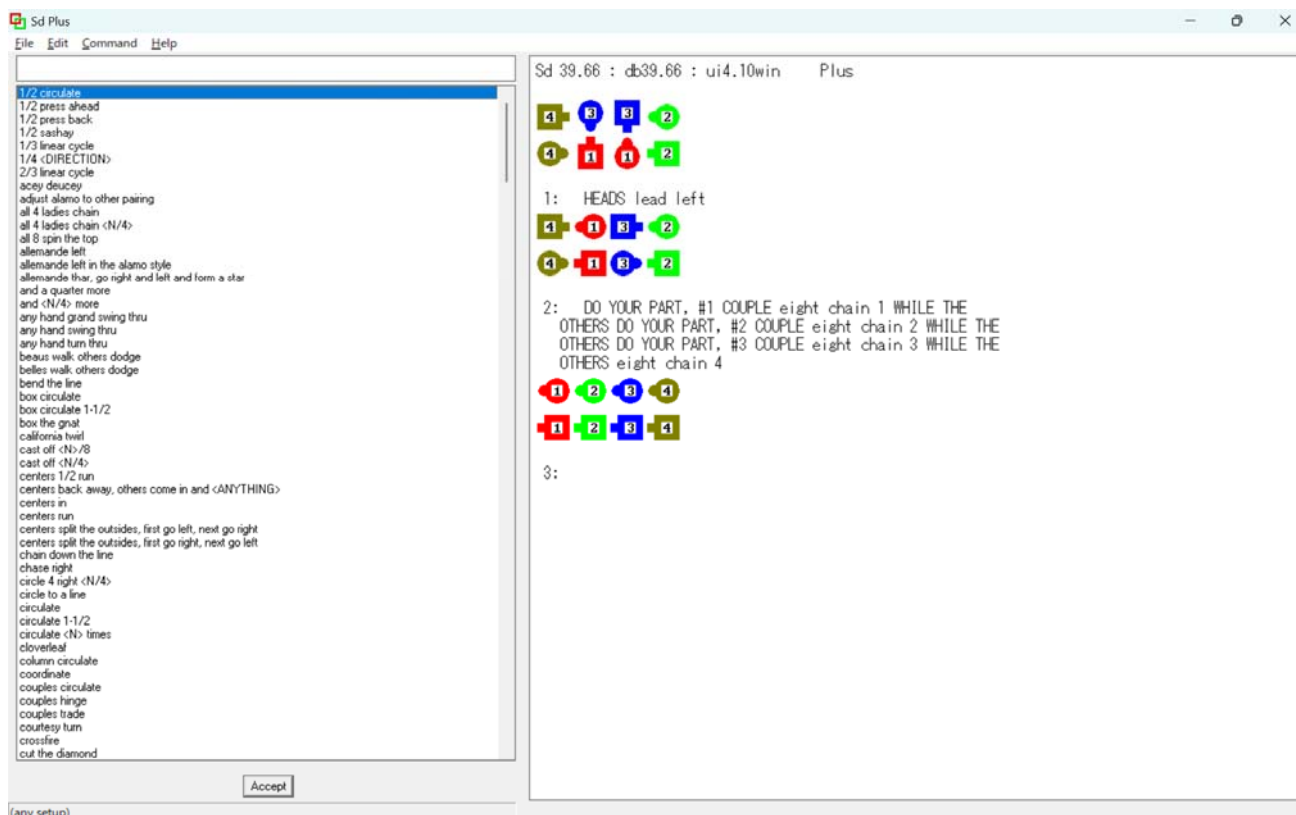
入力後の画面。「シークエンスは”sequence_Plus.txt”に記録されました。」と最終行に表示されています。



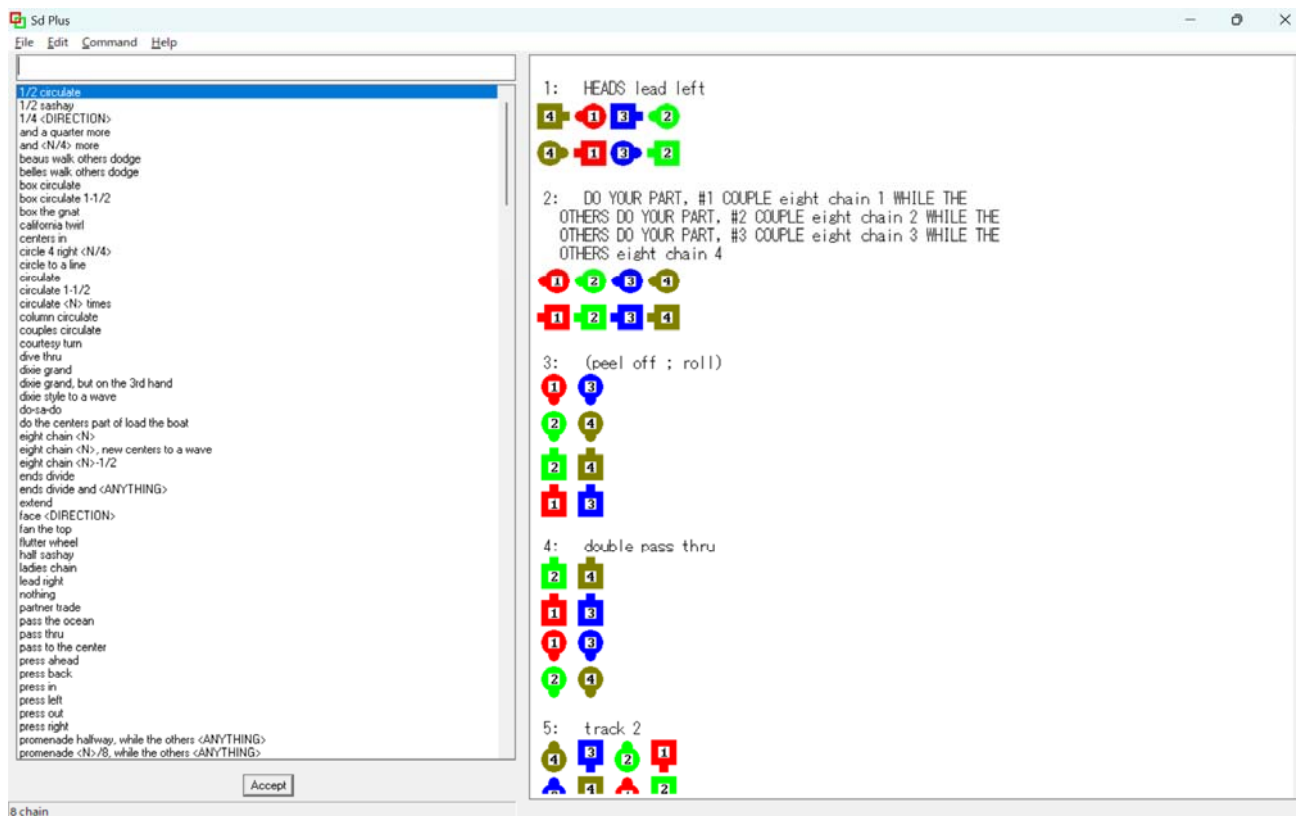
他の、特殊コマンドの入力サンプル。

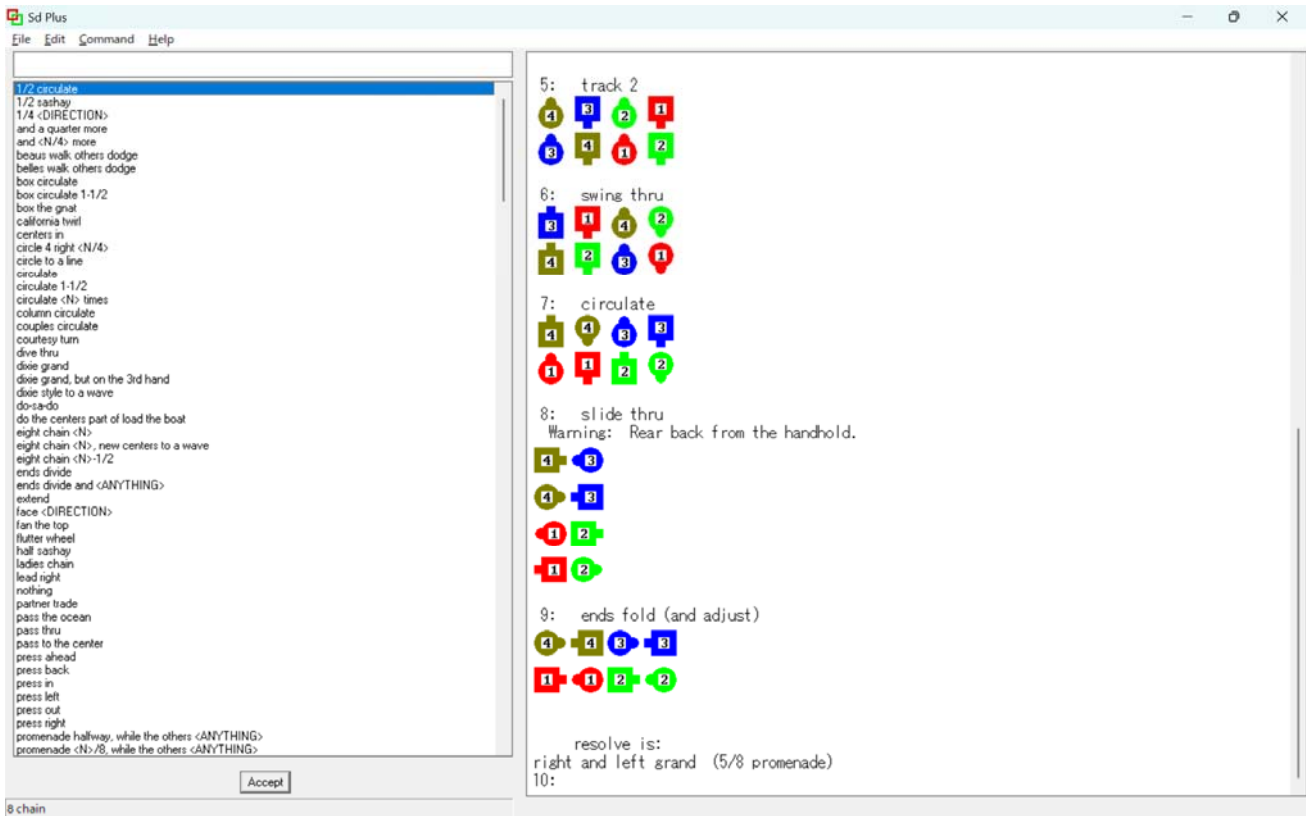
eight chain Your Couple's No. (入力は Square Thru Your Couple's No.と同様)

入力結果は以下の画面となります。

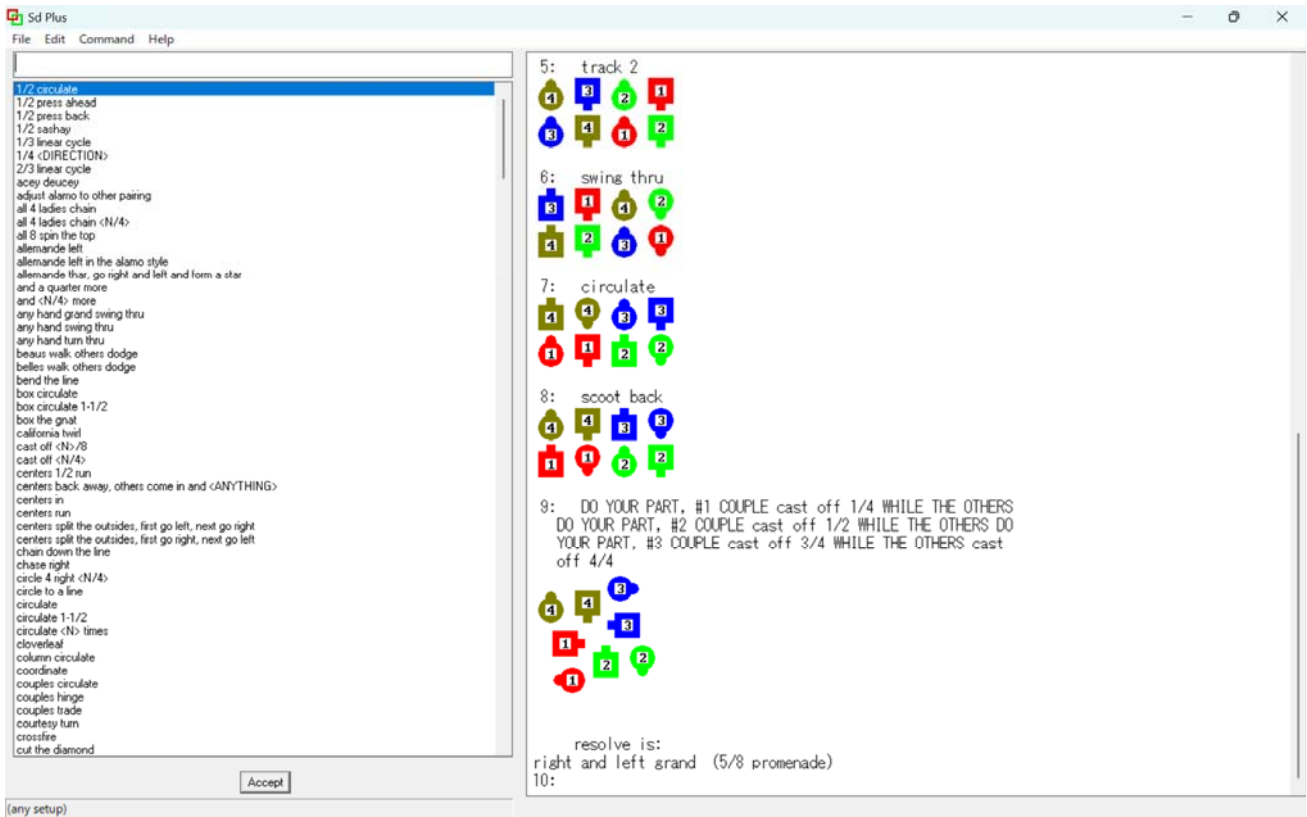


ここ体形からの resolve の例。



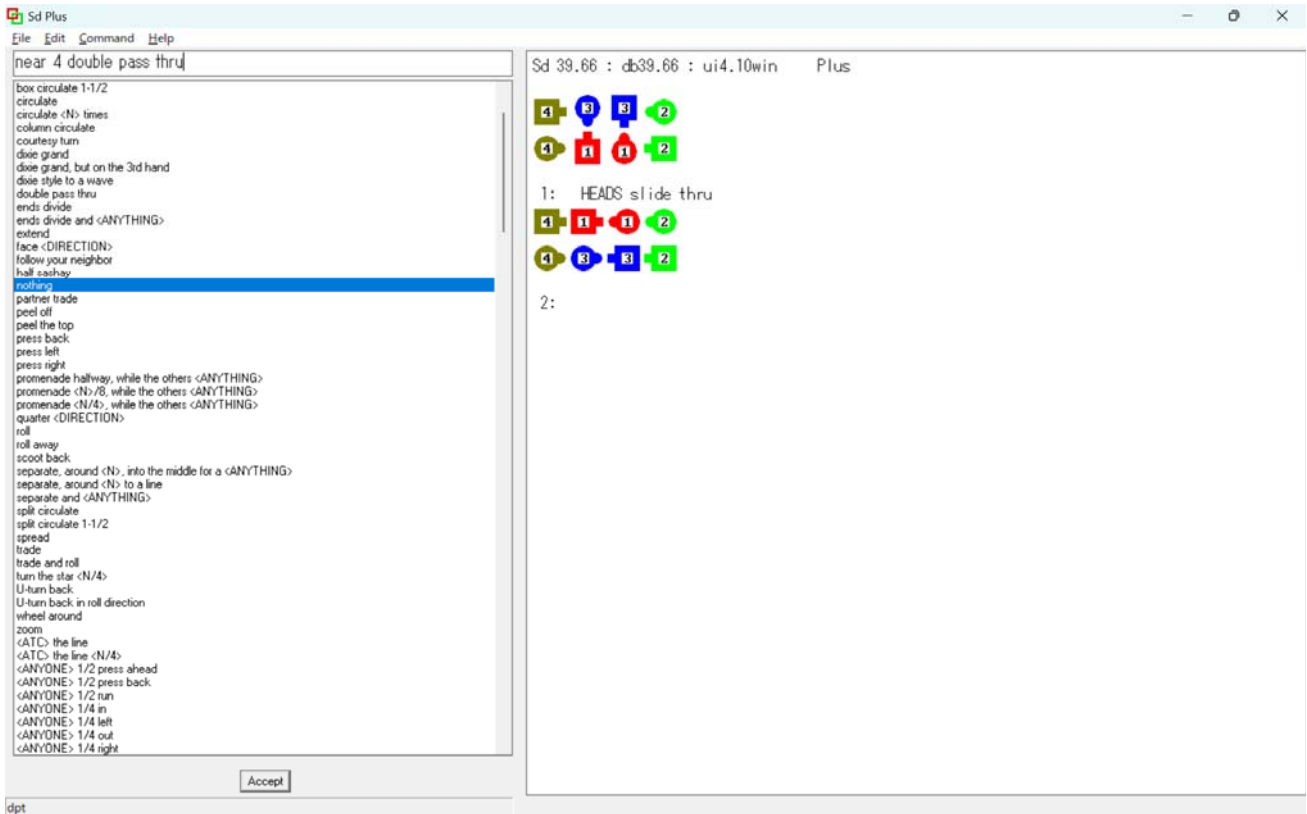


また、8 番目以降のコマンドを以下に変更すると、cast off your couple's No.で resolve できます。

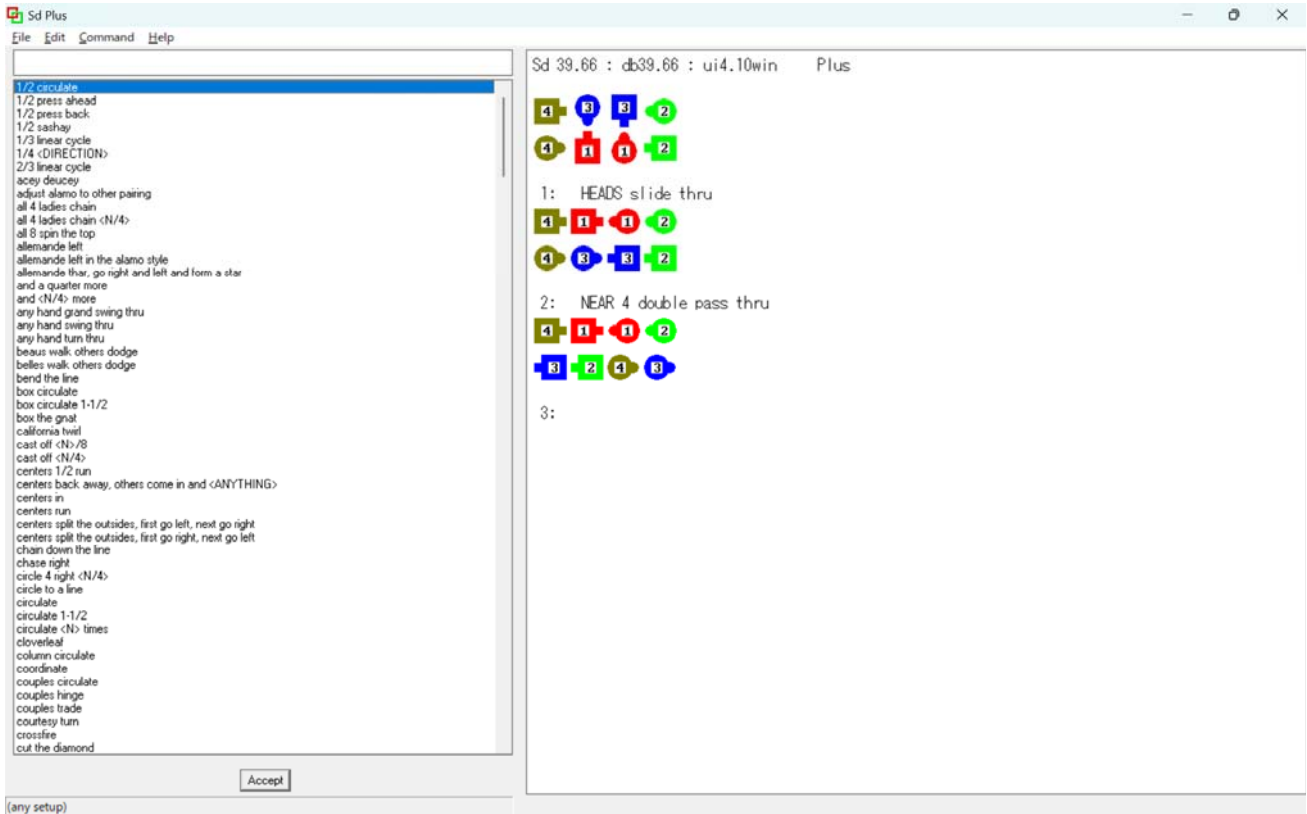


その他のコマンド例

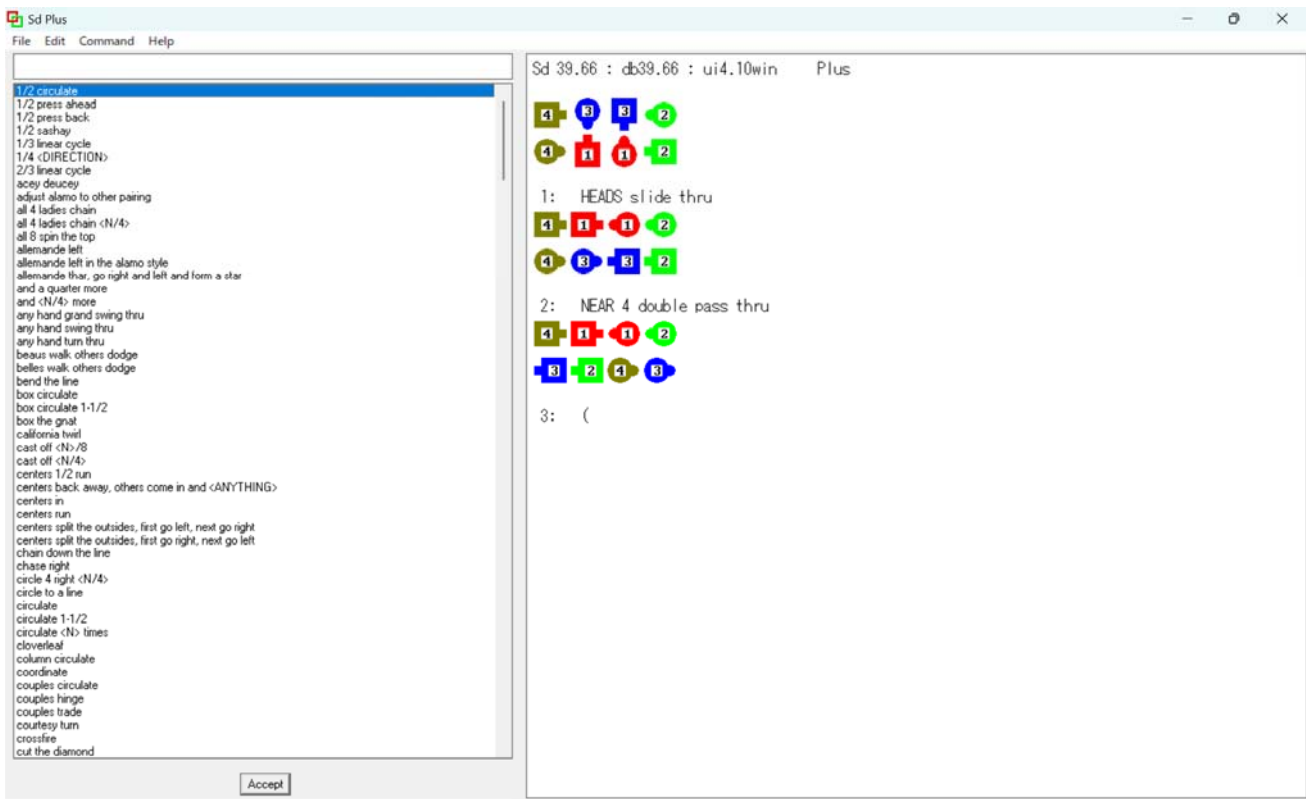
以下の画面から、near 4 double pass thru を実行します。



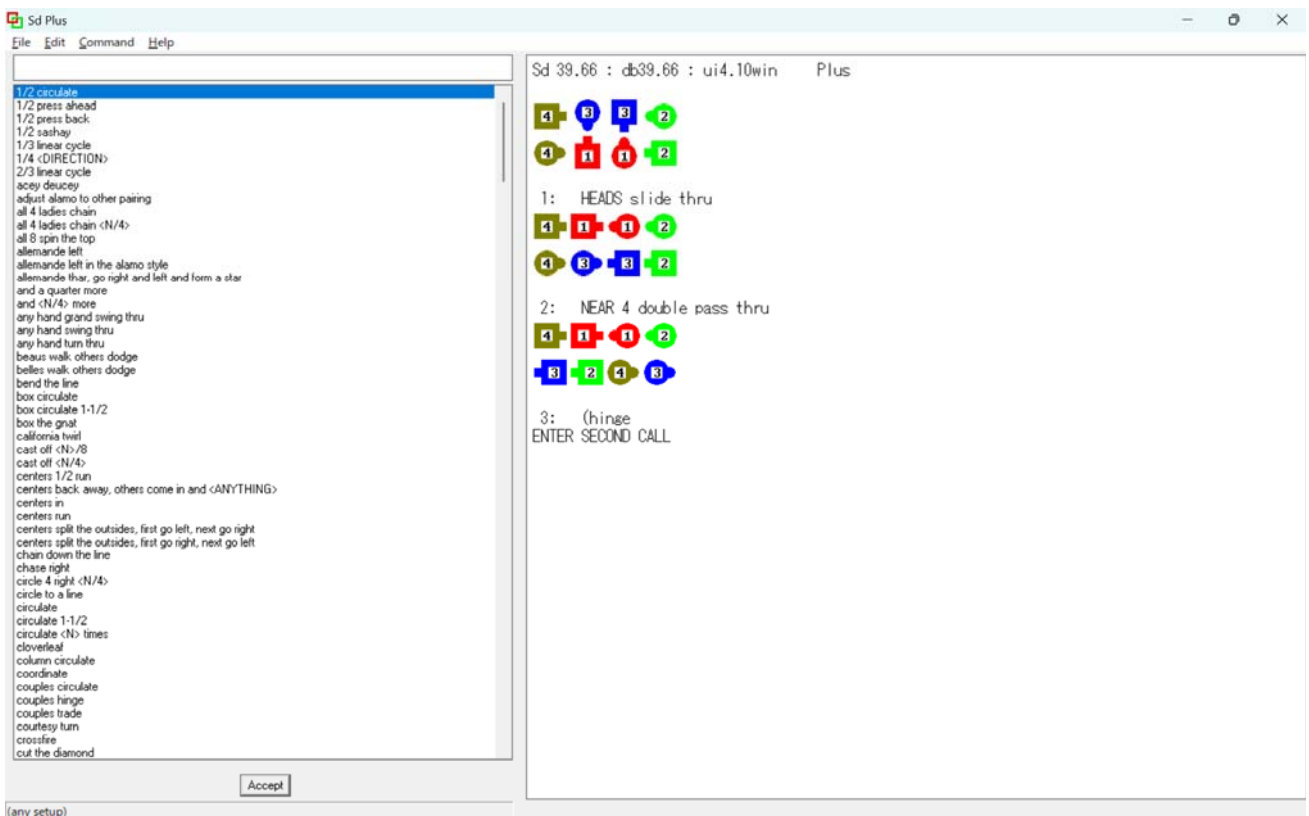
左側に男性 4 人、右側に女性 4 人の体形となります。



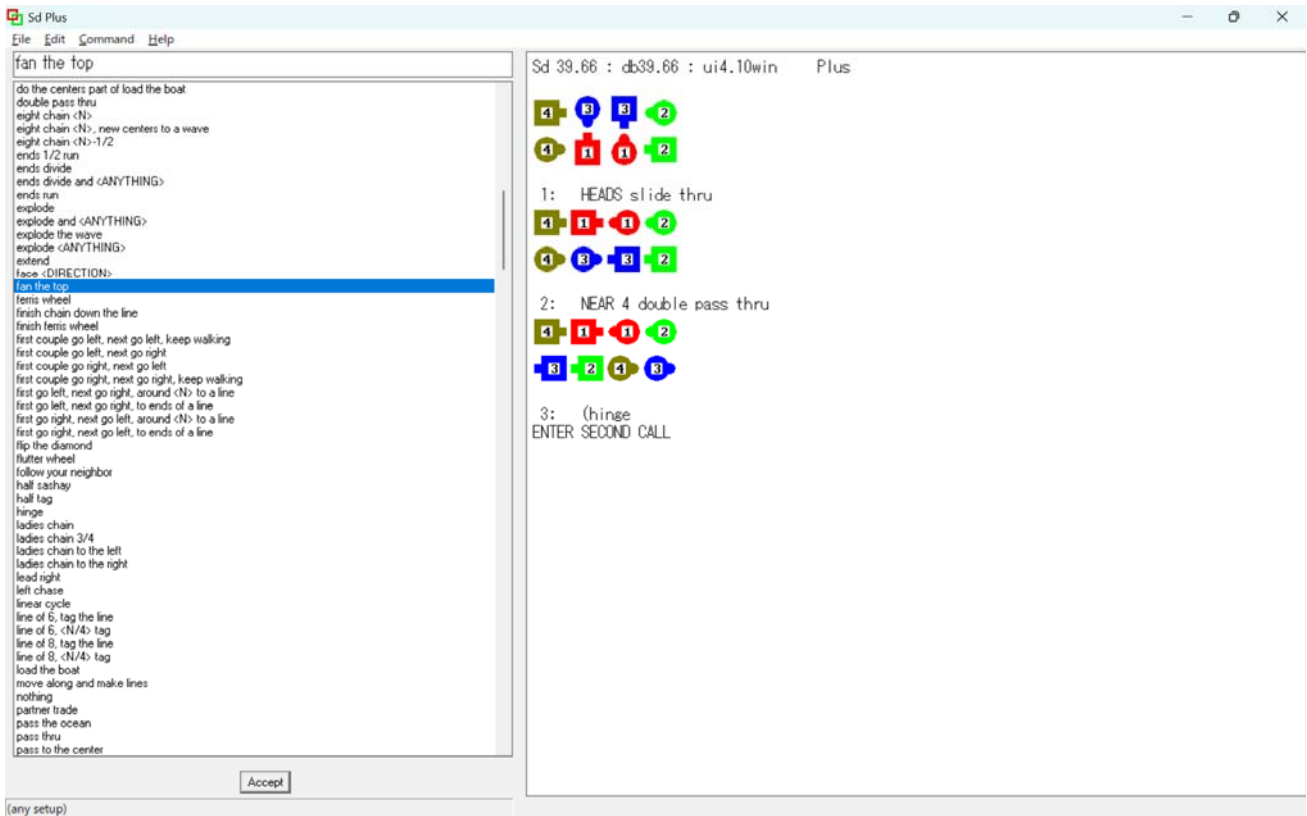
この体系から hinge, fan the top を入力するのに、2 行を使用するのはもったいないので、1 行で入力するように F2 two calls in succession (コールを 2 回続ける) で 2 つのコールを 1 行に入力します。最初に F2 を押すと画面上に「(」が入力されます。



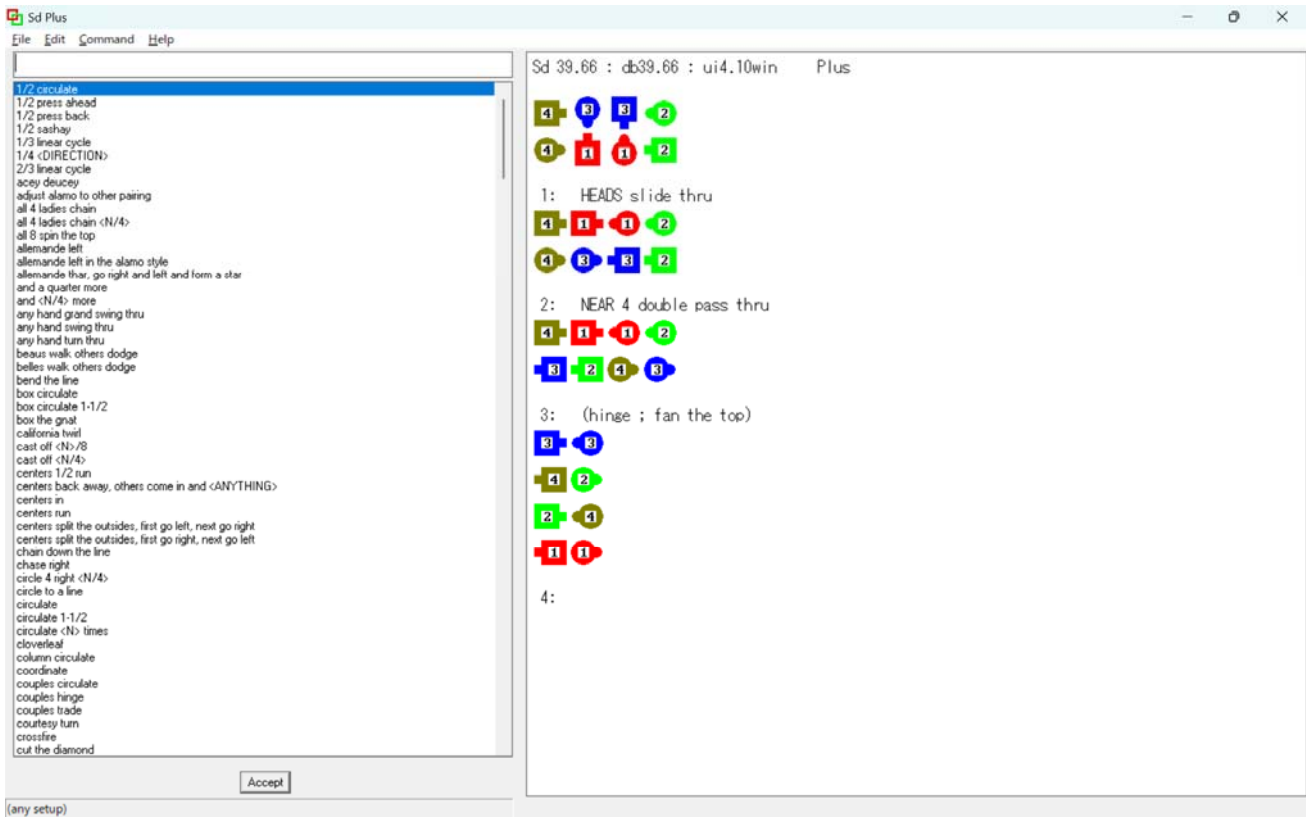
最初のコール「hinge」を入力すると ENTER SECOND CALL と次のコールの入力を求められます。



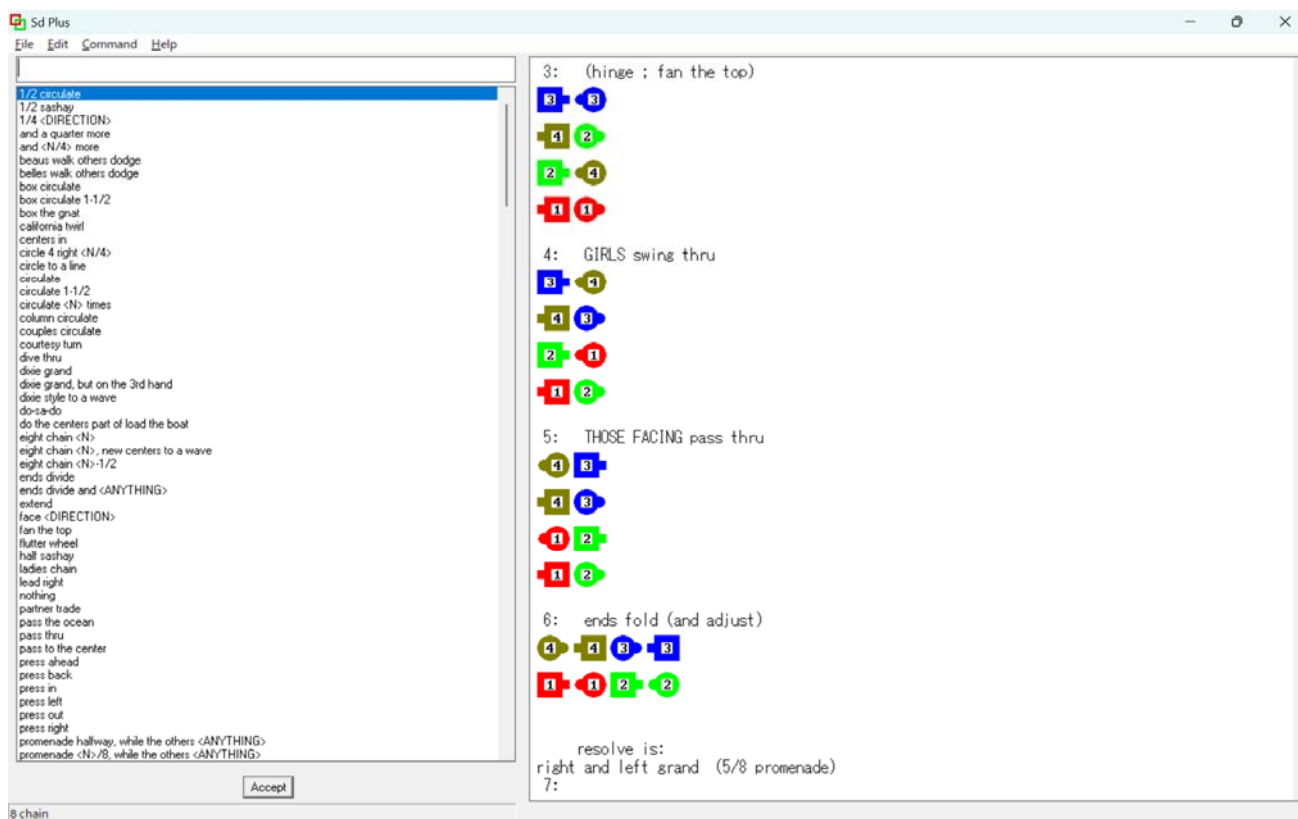
入力枠に fan the top と入力します。



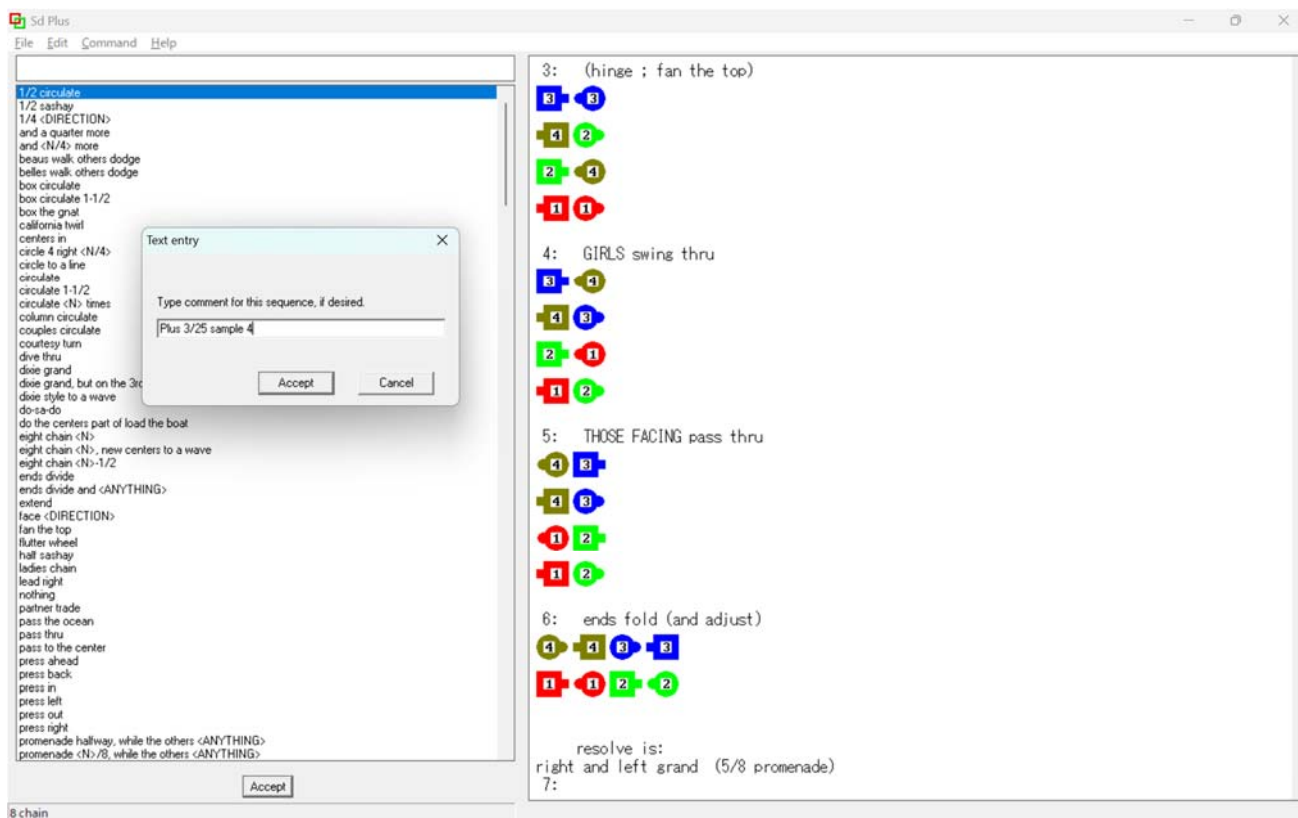
入力結果は以下のように (hinge : fan the top) と 2 つのコールが 1 行で表示されます。



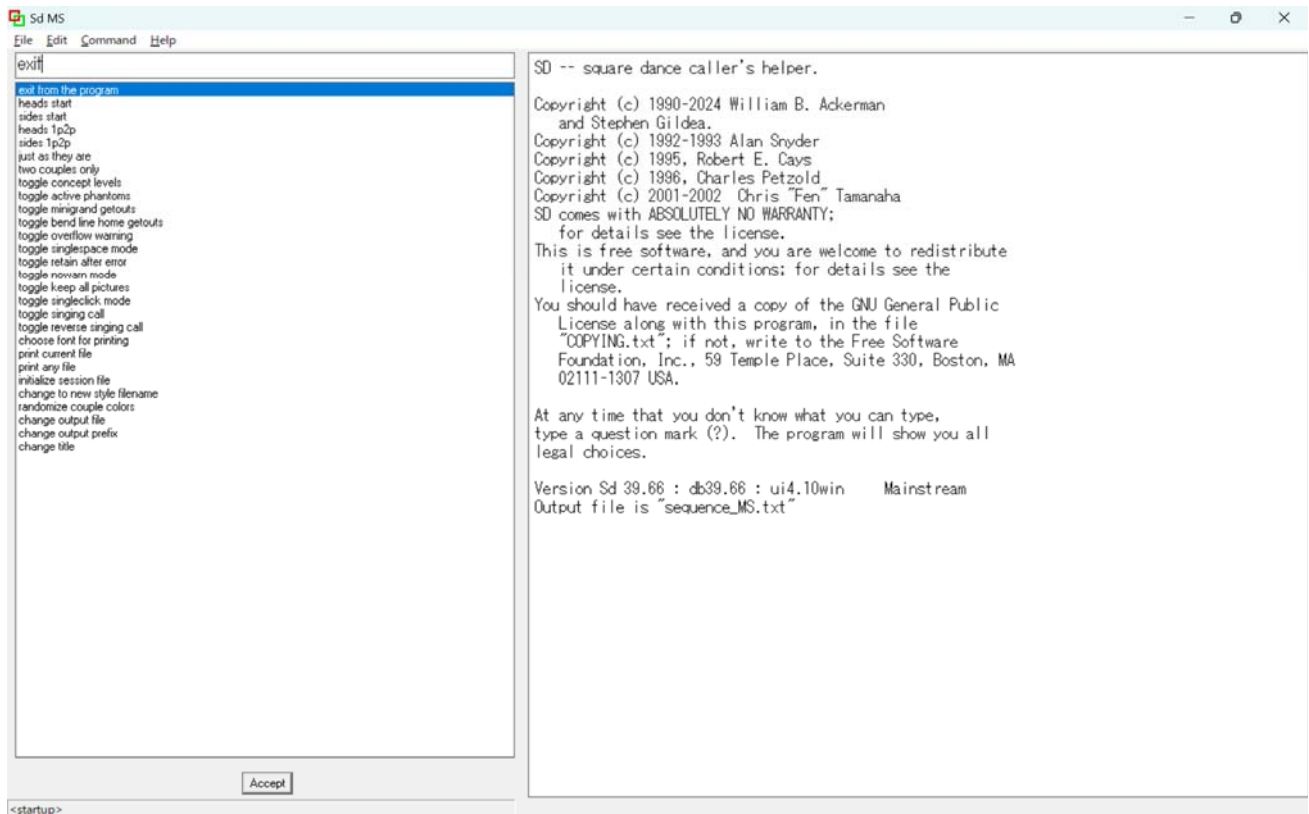
以下にこの体系からの resolve の例を示します。



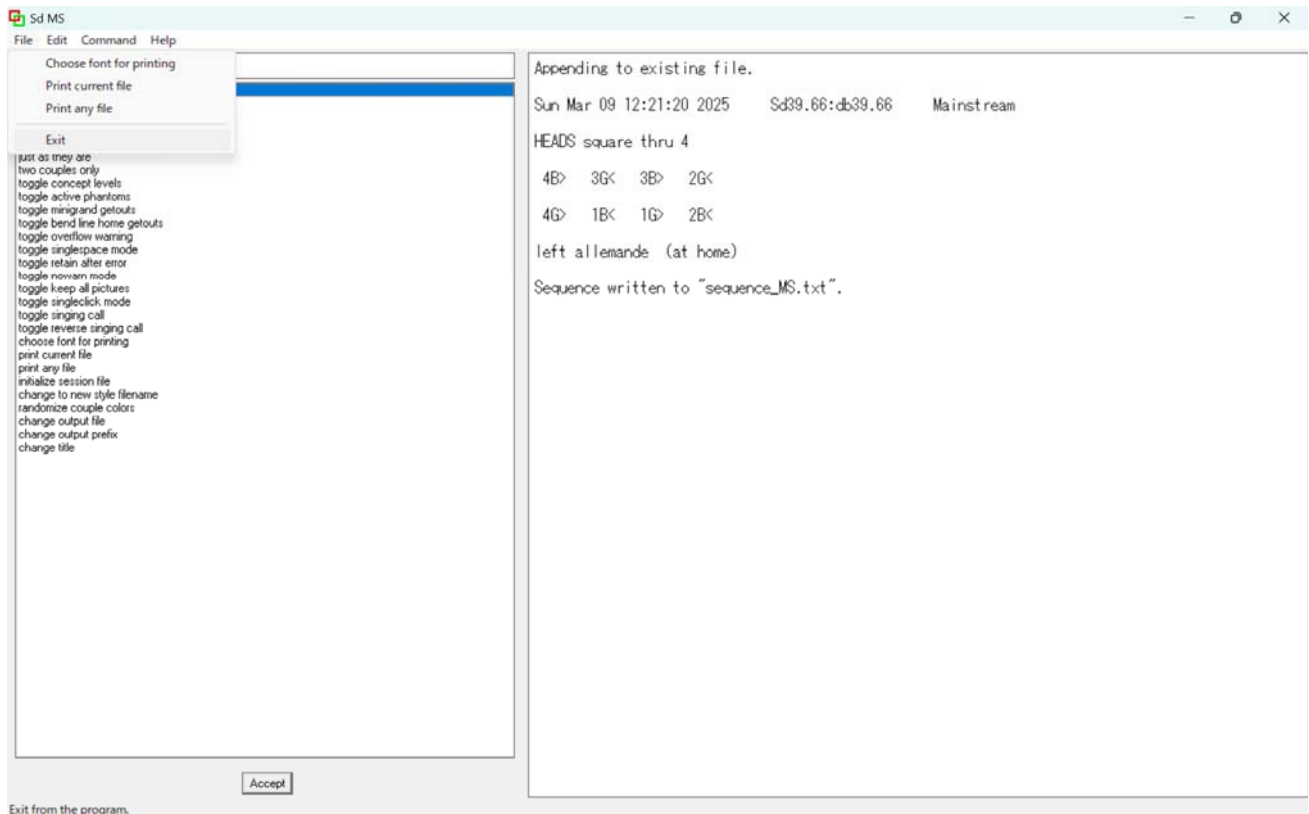
コメントを付けてシーケンスを保存します。



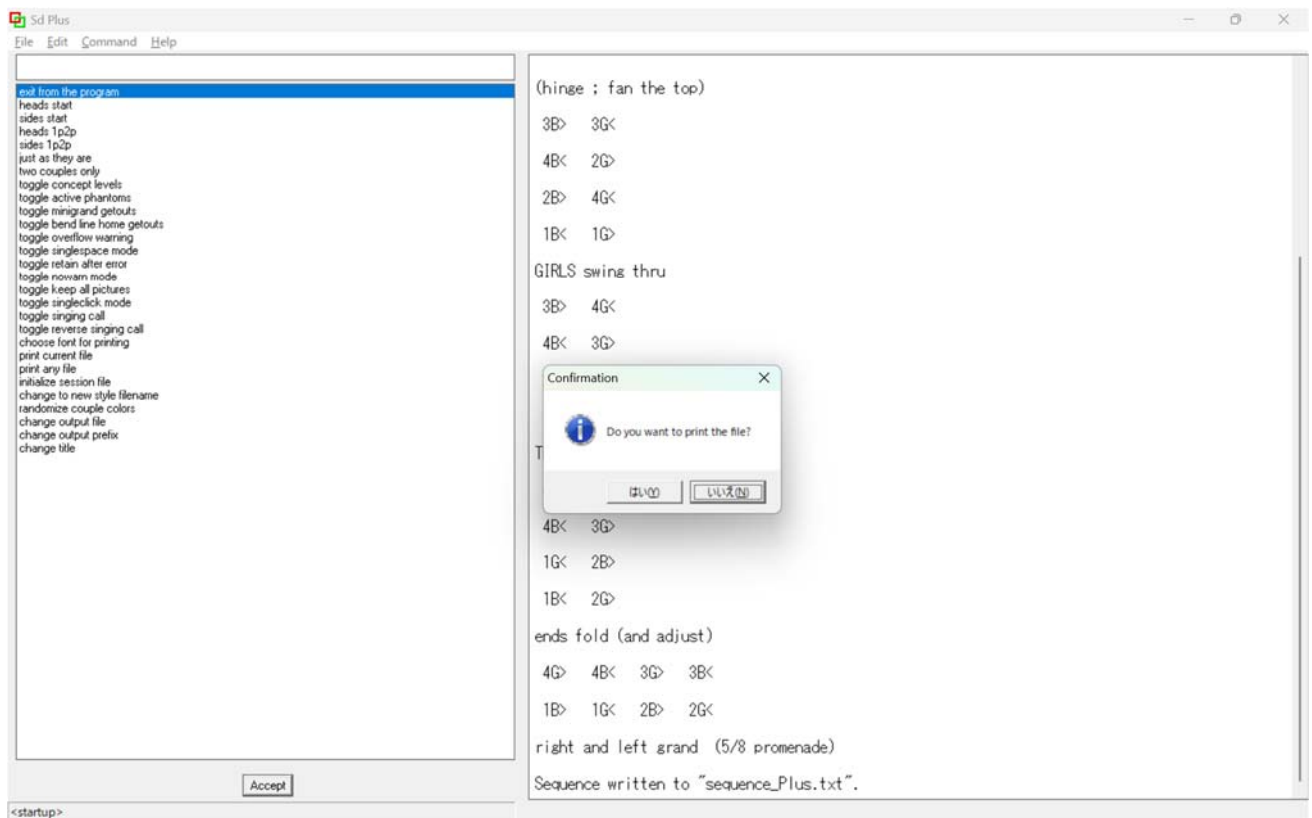
SD (SDCouple) の終わり方は初期画面で exit を入力する、File メニューから Exit を選択、F9 を入力する等、いくつかの方法がありますので、自分にとって使いやすいものを選んでください。



File メニューから一番下の Exit を選択します。



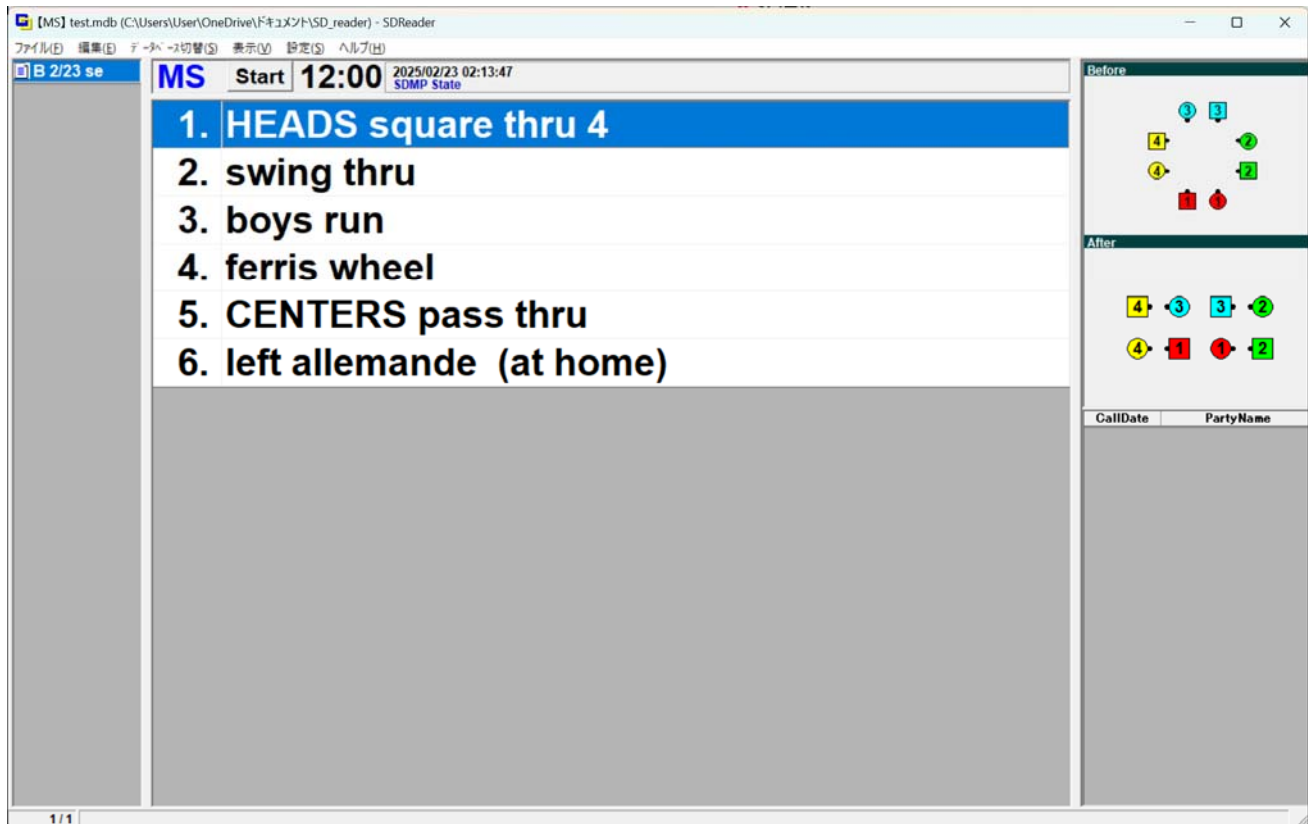
入力されたシーケンスがある場合は以下の印刷確認画面が表示されますので、プリンターに印刷する必要が無ければ「いいえ(N)」を選択してプログラムを終了します。



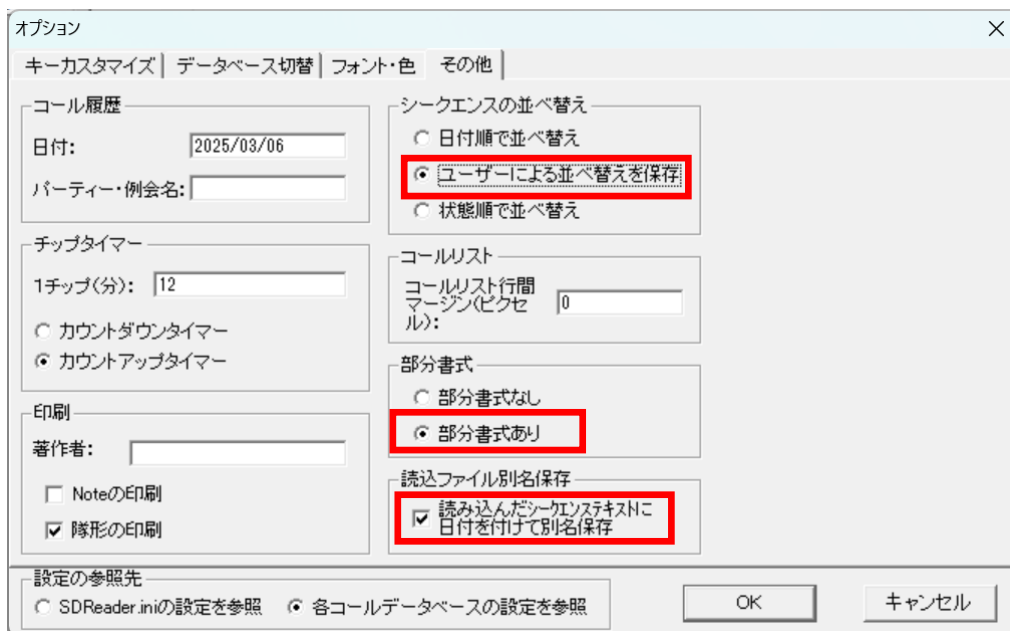
これで、SDの説明は終了します。次頁からはSD (SDCouple) で作成したシーケンスをSDReaderに取り込む方法について説明します。

SDReader の初期画面です。

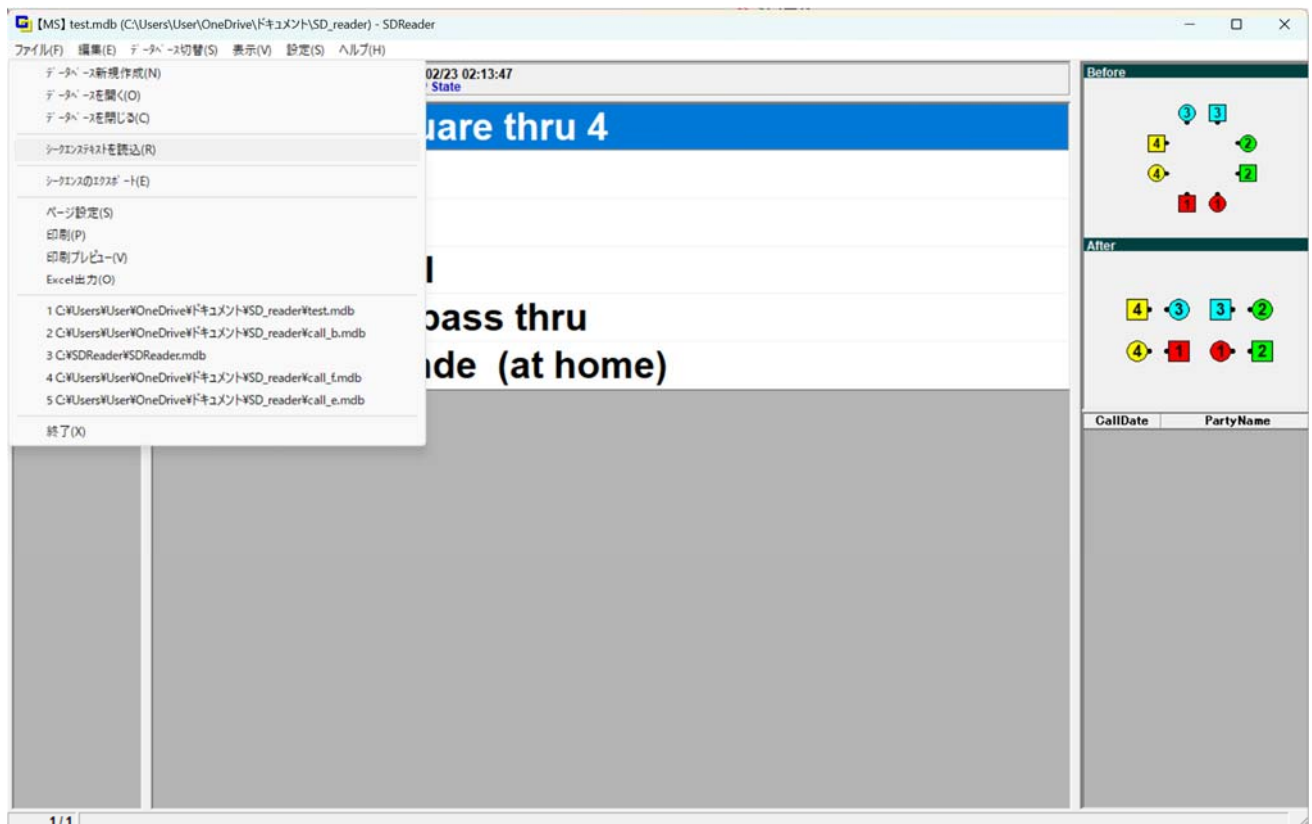
SDReader を立ち上げた直後は、SDReader.mdb のファイルを開いた状態となります。



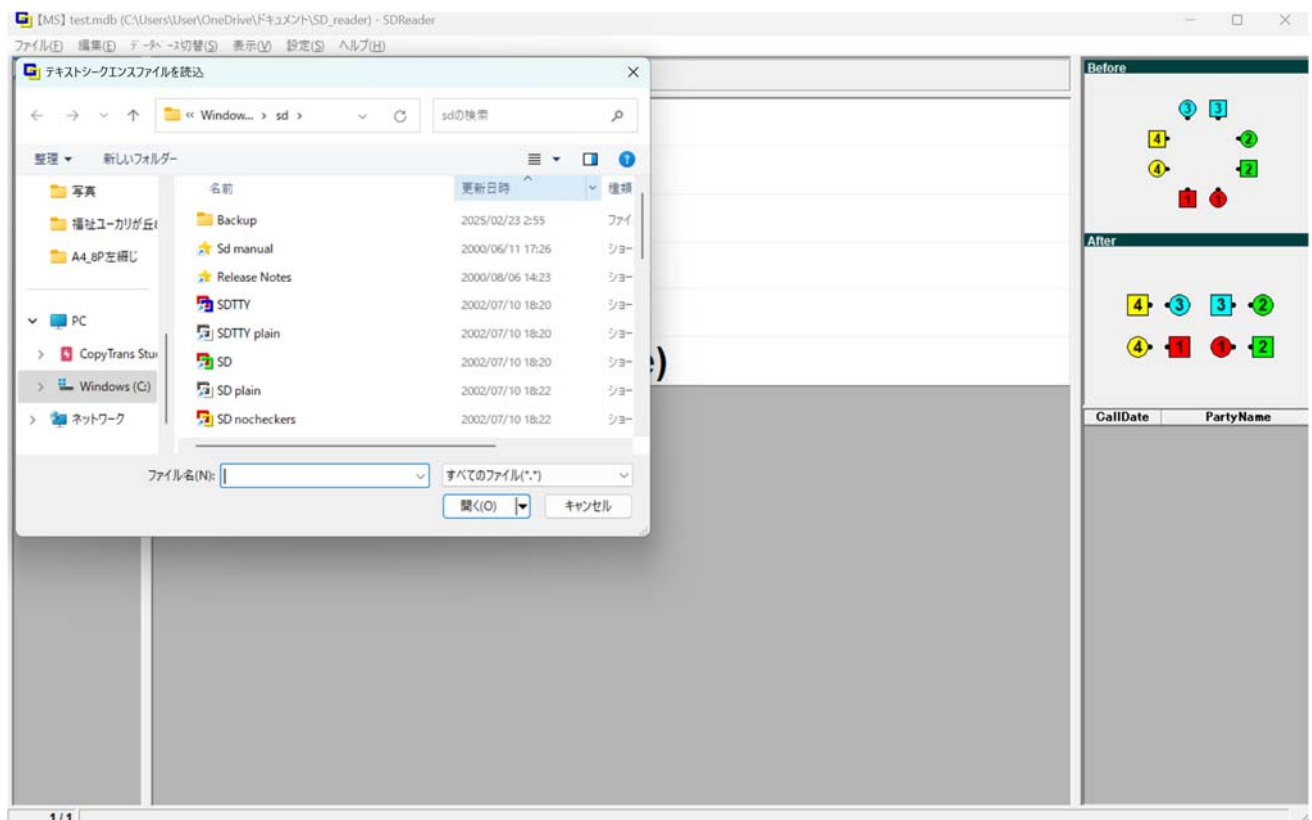
SDReader の設定 - オプション(O)から「その他」のタブを選択して以下の設定に変更しておきます。



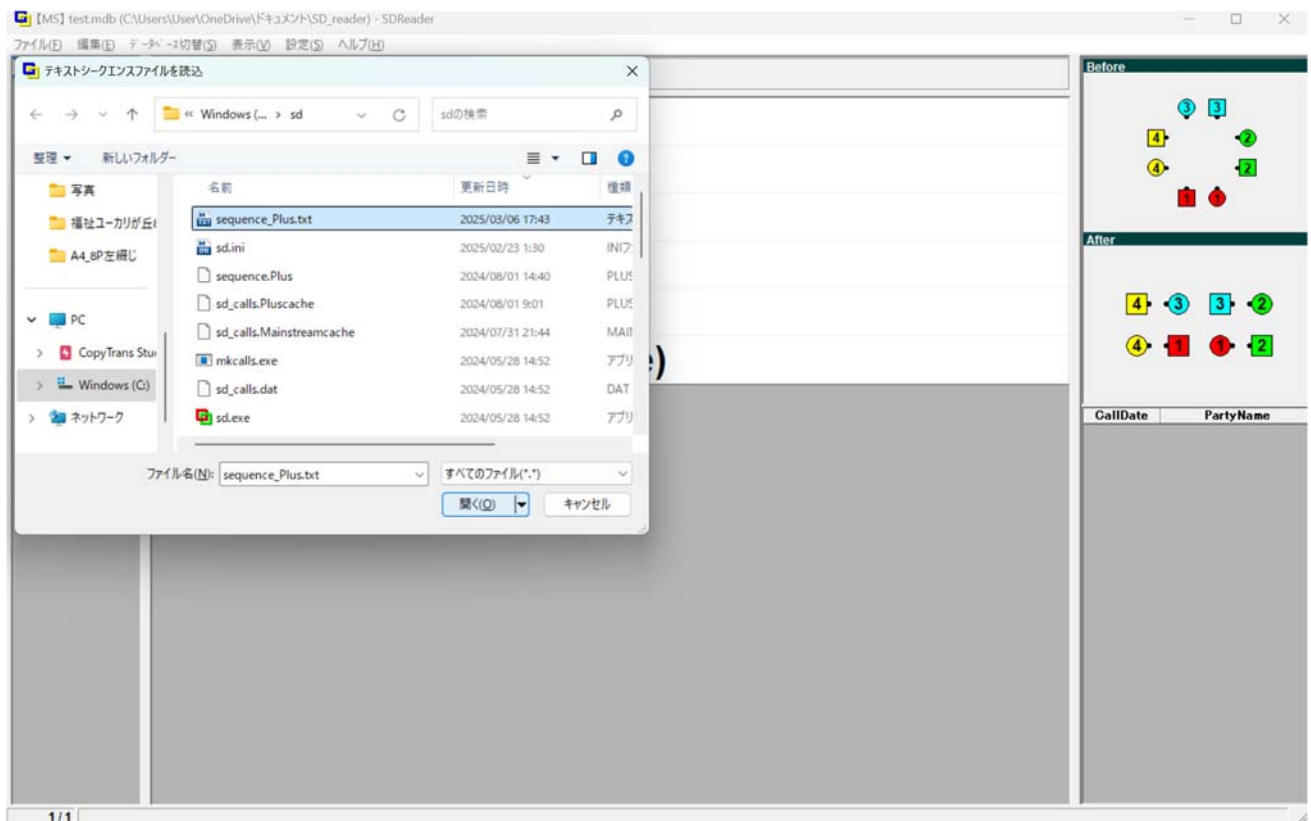
SD (SDCouple) で作成したシーケンスを読み込むには、以下のようにファイル(F)メニューから「シーケンステキストを読み込む(R)」を選択します。



C:\sd の内容が表示されますので、更新日付をクリックして降順に並べるように指定します。



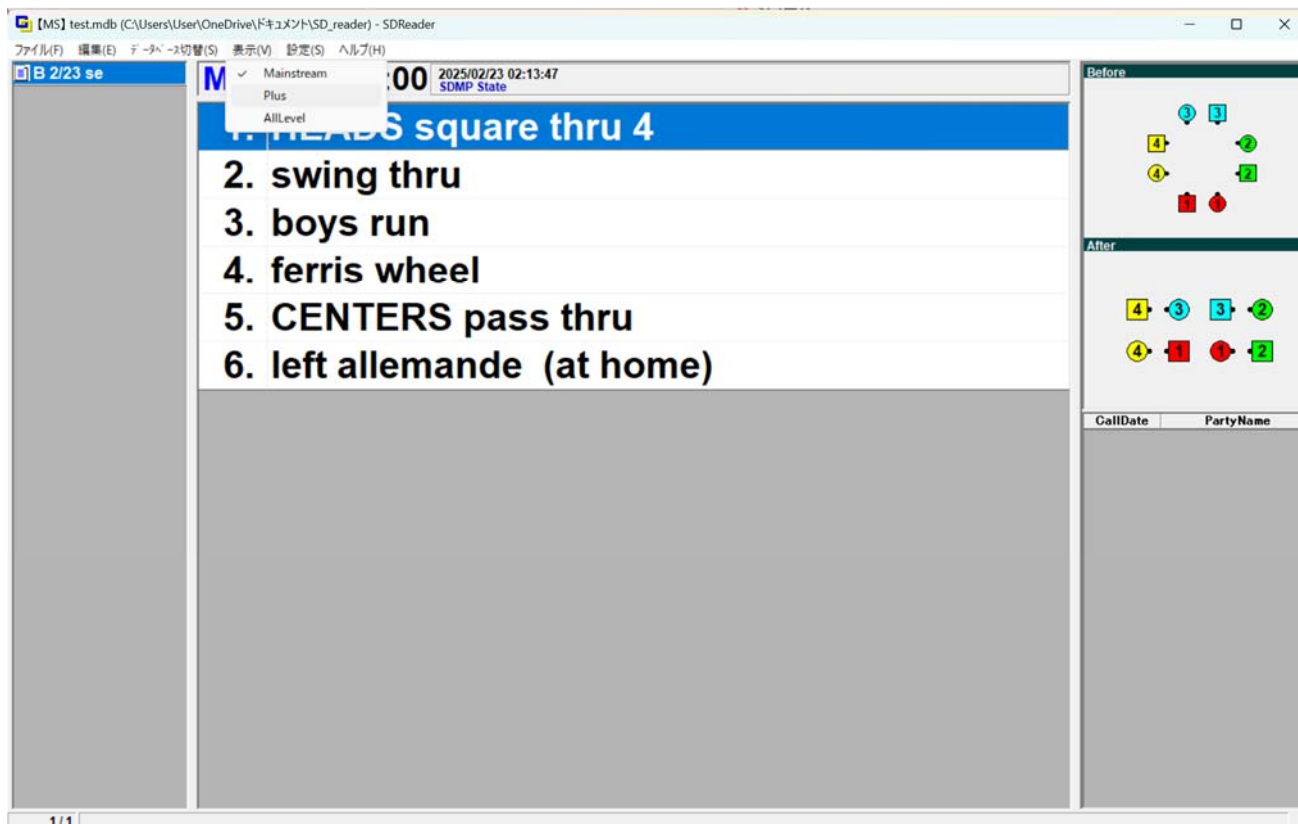
最新のファイルが一番上に表示されるようにすると、作成したシーケンスファイルが先頭に表示されるようになります。(この場合は「sequence_Plus.txt」) 取り込む sequence_Plus.txt を選択して「開く(O)」ボタンを押してデータの取り込みを実行します。



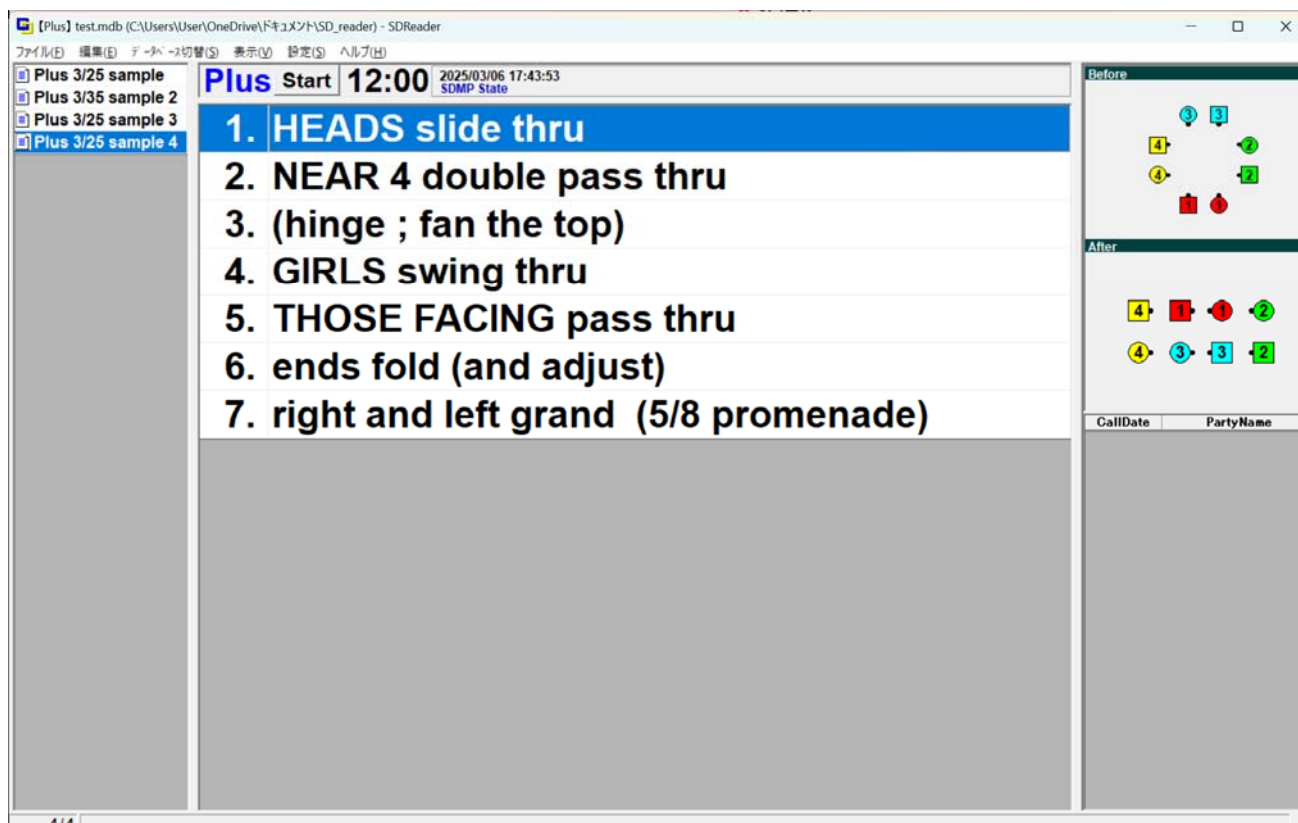
以下の画面が表示され、「C:\sd\sequence_Plus.txt」から4件読み込みました」と表示されます。



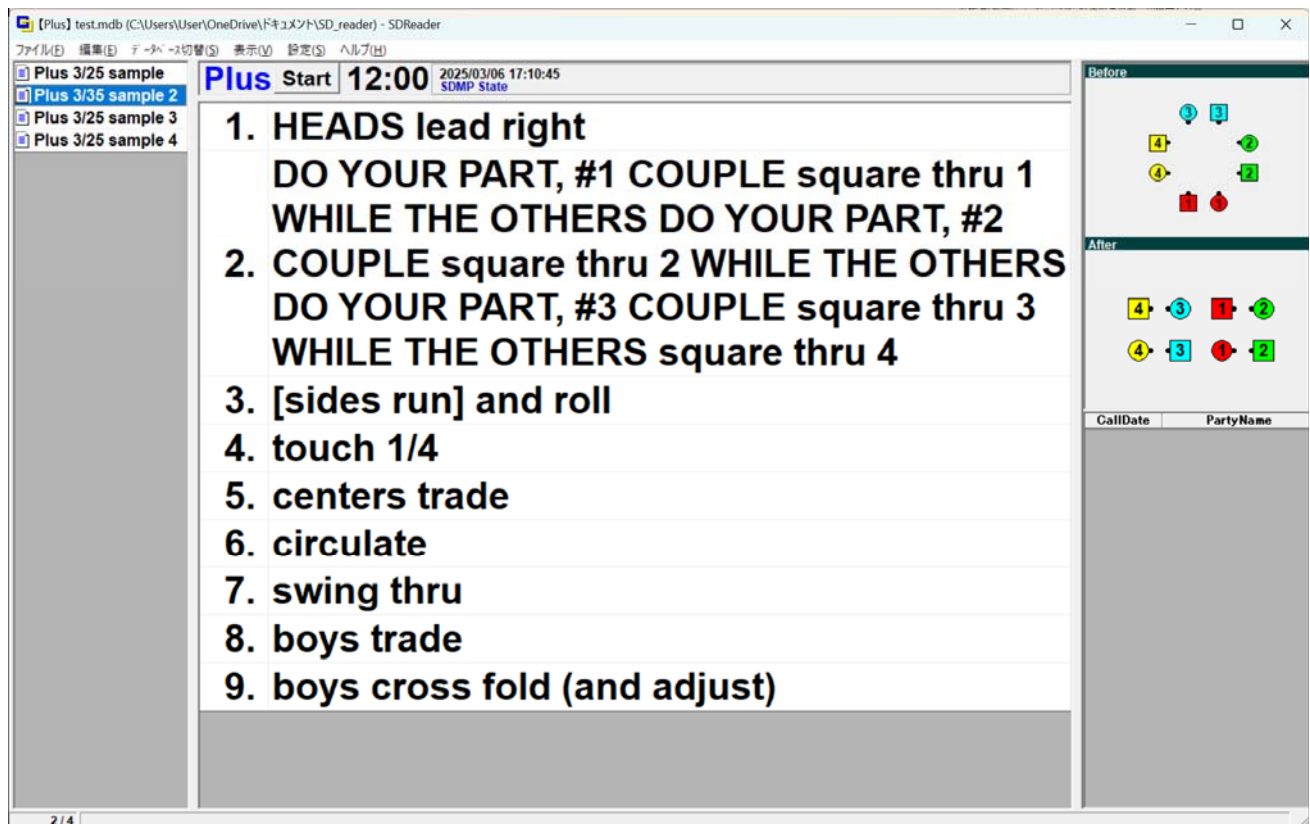
現在の画面は「Mainstream」のリストを表示しているのですが、表示-Plus でプラスレベルのシーケンスリスト表示に切り替えます。



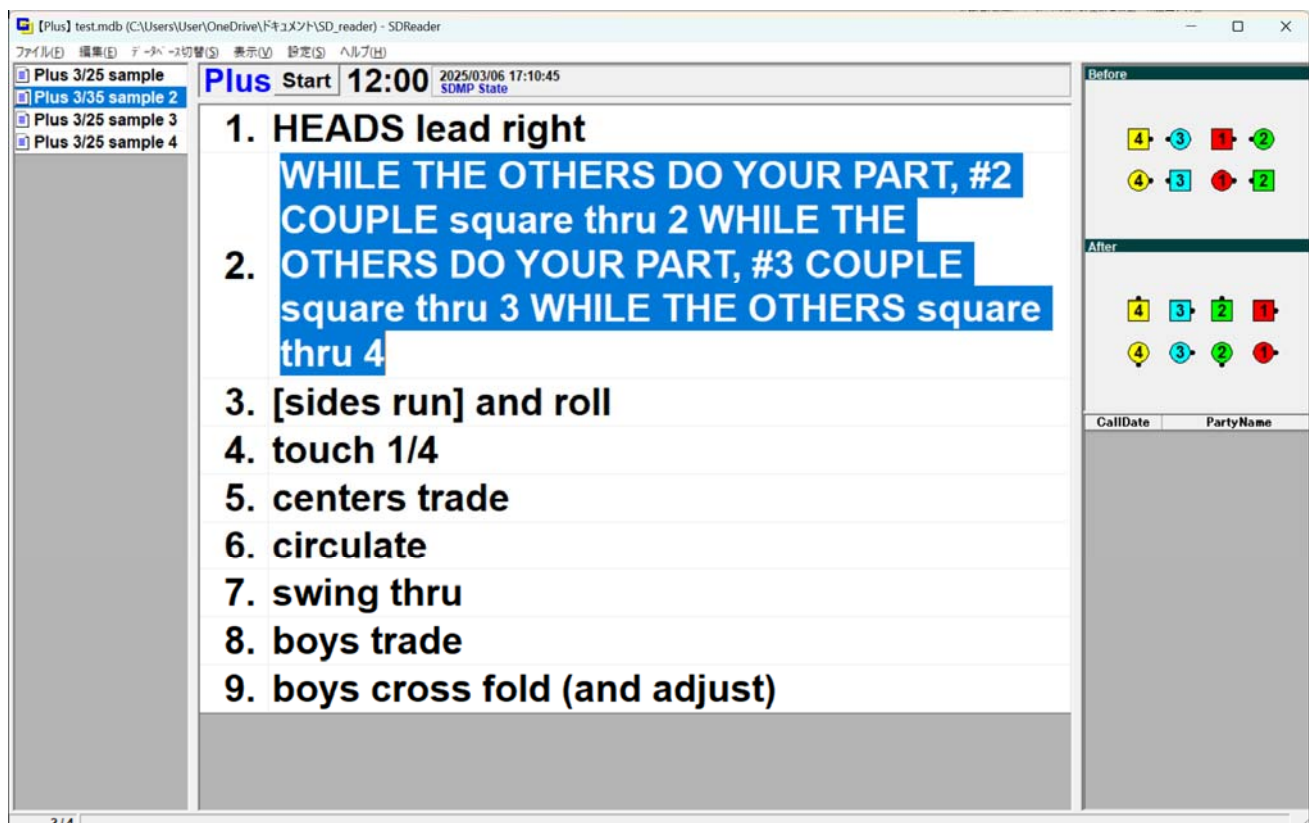
プラスレベルの表示に切り替わると以下の画面となります。



作成した「Square Thru Your Couple's No.」のリストを表示すると、入力コマンドがそのまま表示され、読みにくい表示となっていますので、この部分を編集します。

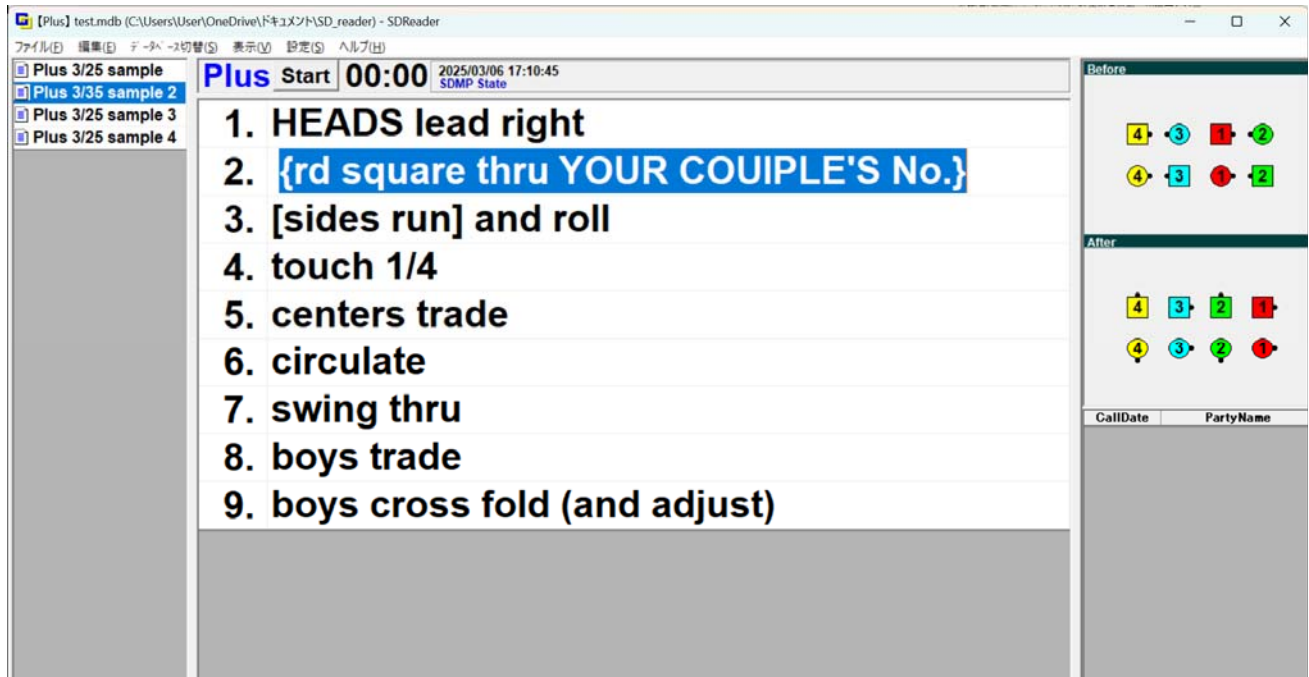


編集したいコマンドの行を選択し、「Enter」キーを押してコマンド部分だけが反転表示の画面にします。

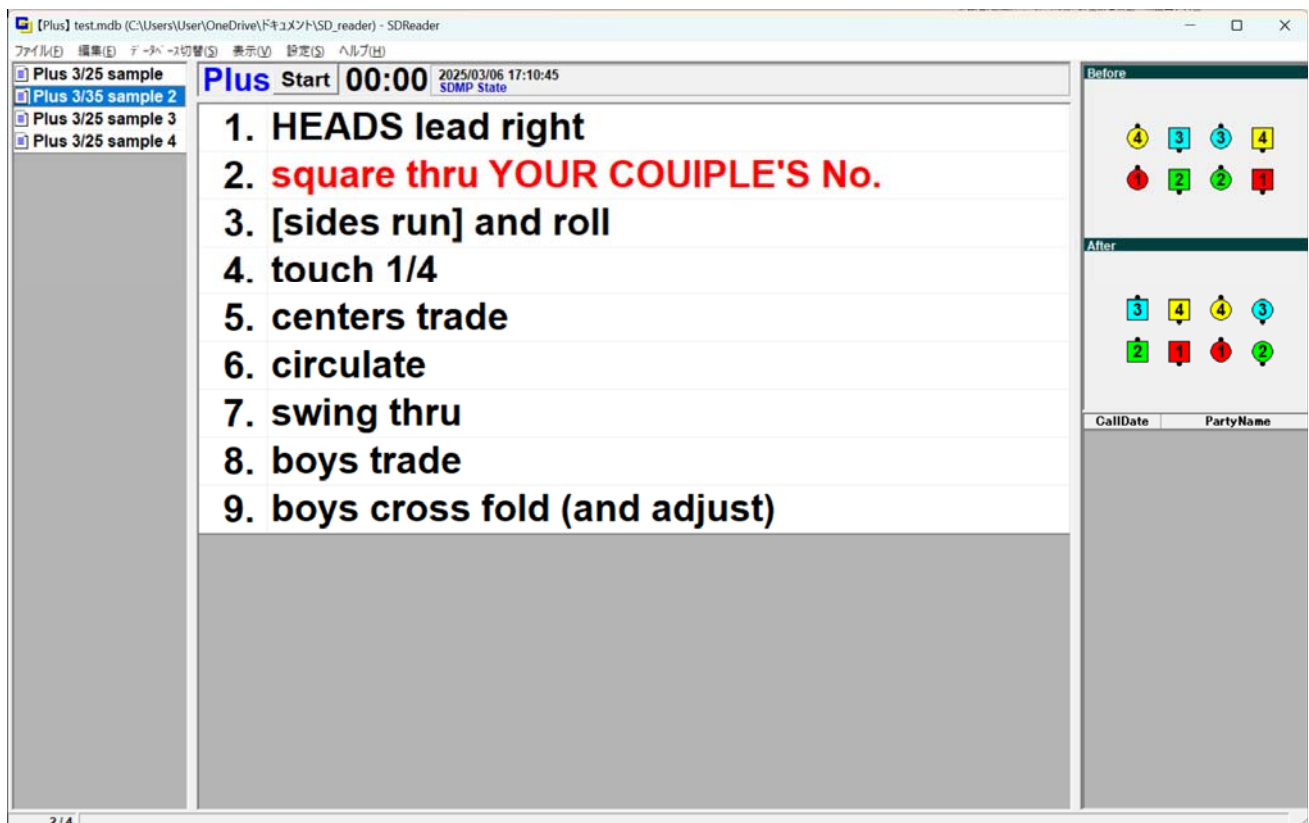


以下のように 2 行目のコマンドを入力します。

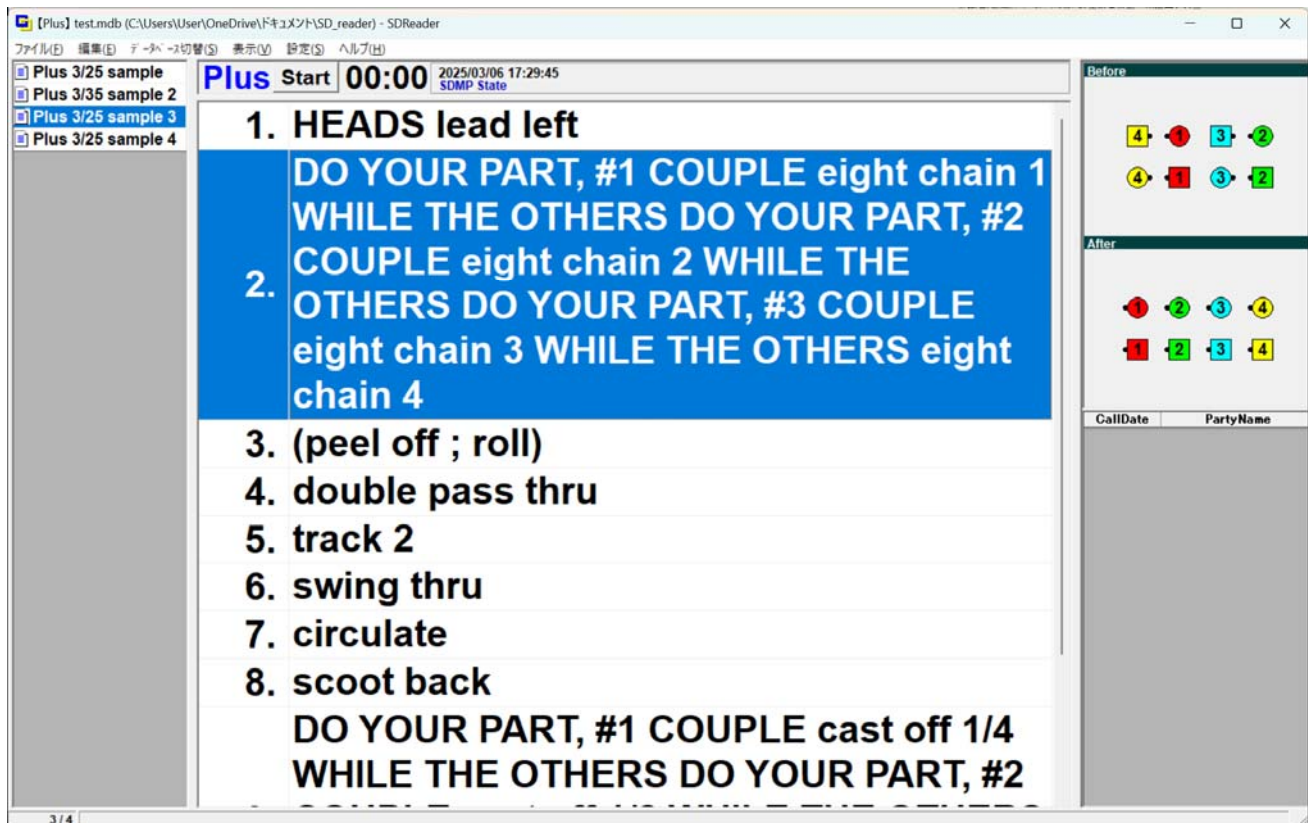
{ } は部分書式の指定フォーマットで {色の指定 表示するテキスト} とすることで { } で囲まれたテキストの色を変更することが可能です。色の指定は黒 = bk, 白 = wh, 赤 = rd, 青 = bl, 緑 = gr, 黄 = yl, 紫 = mg, 水色 = cy で指定できますが見易いのは青、赤、緑、紫、水色です。



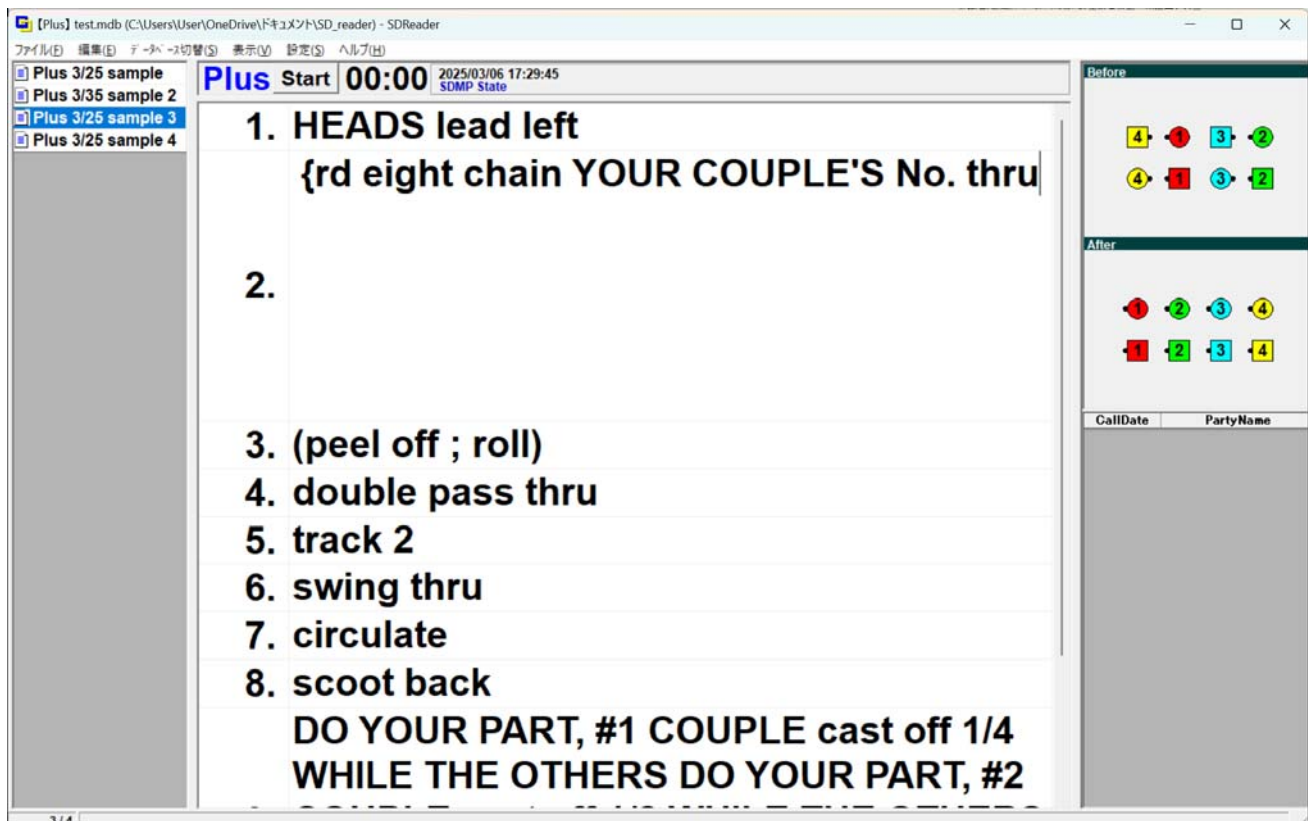
入力後の結果は以下の画面となります。



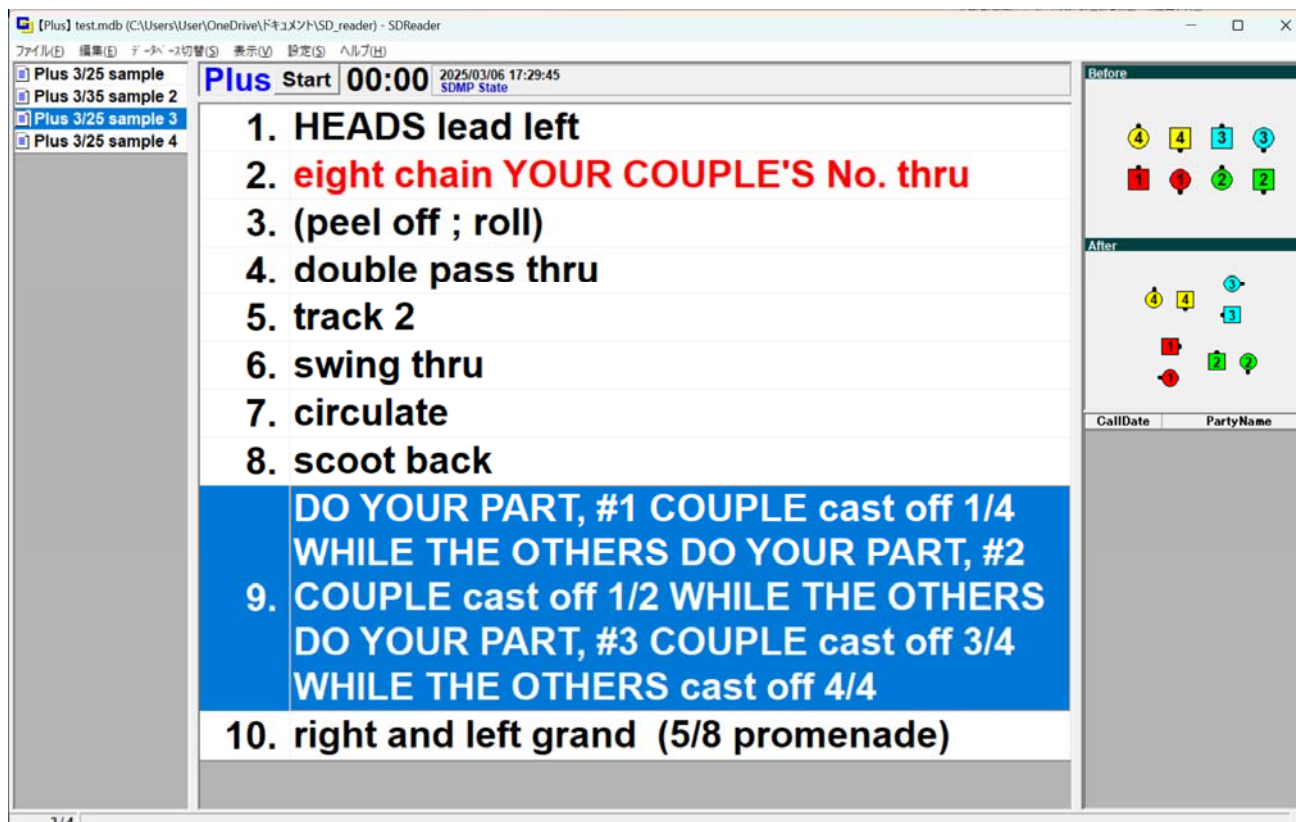
同様に他の読みにくいコマンドを変更していきます。



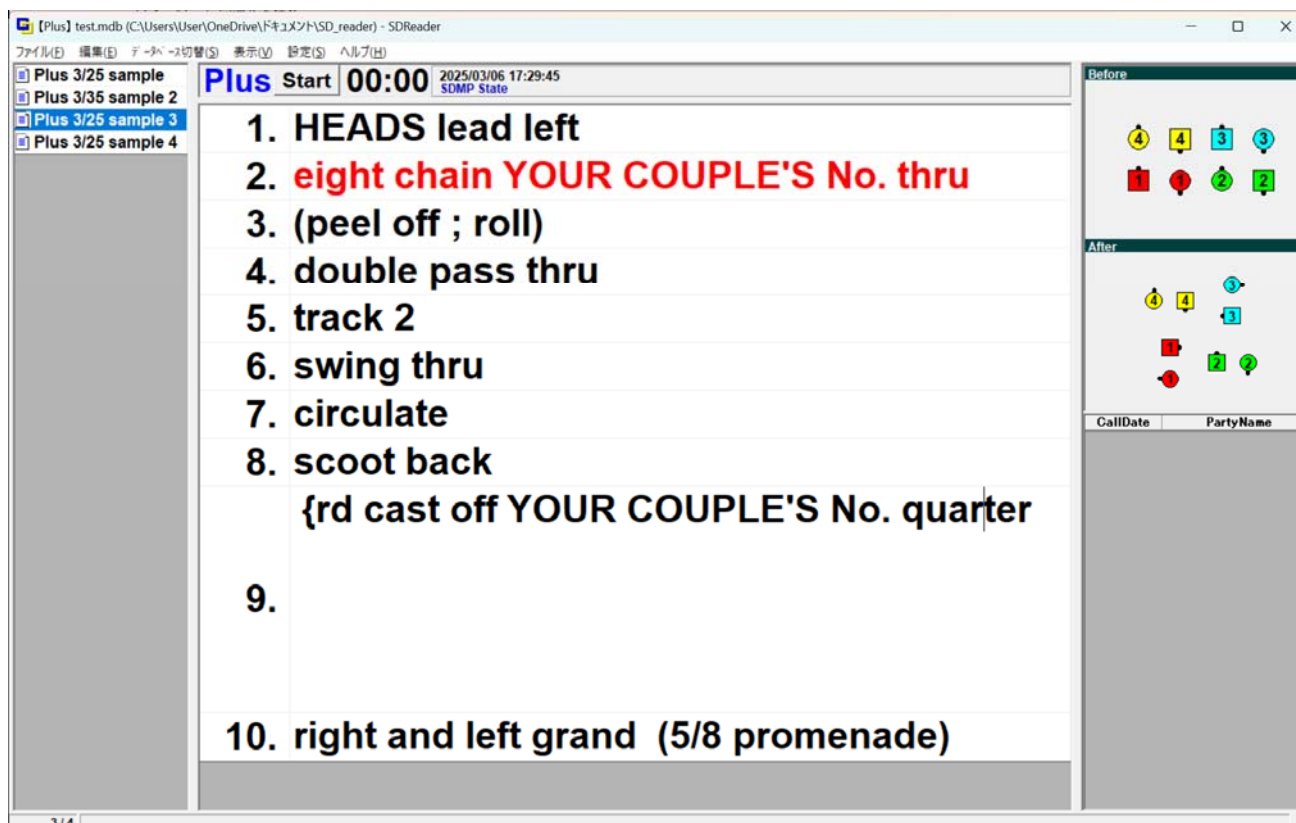
ち eight chain your couple's No. thru は以下のように変更します。



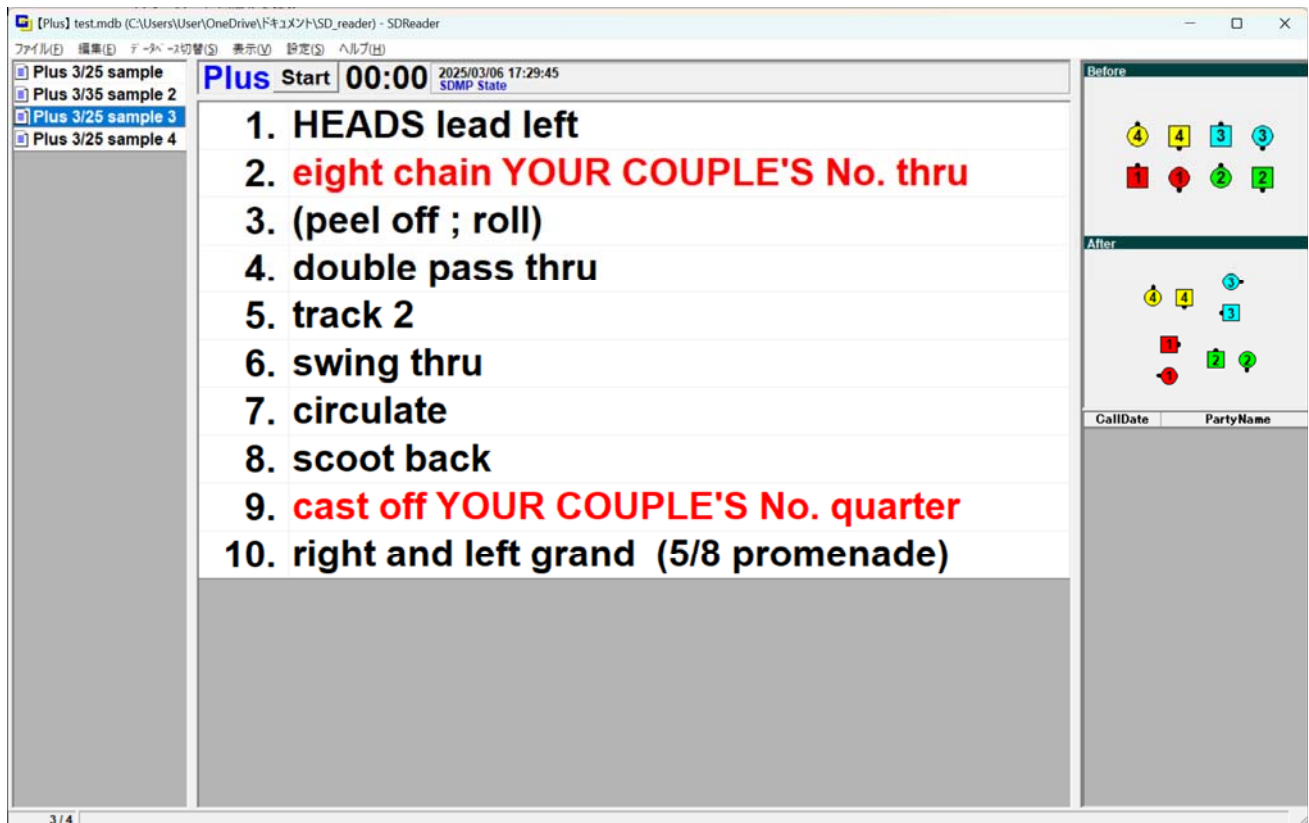
変更結果は以下ようになります。続いて cast off your couple's No./4 を修正します。



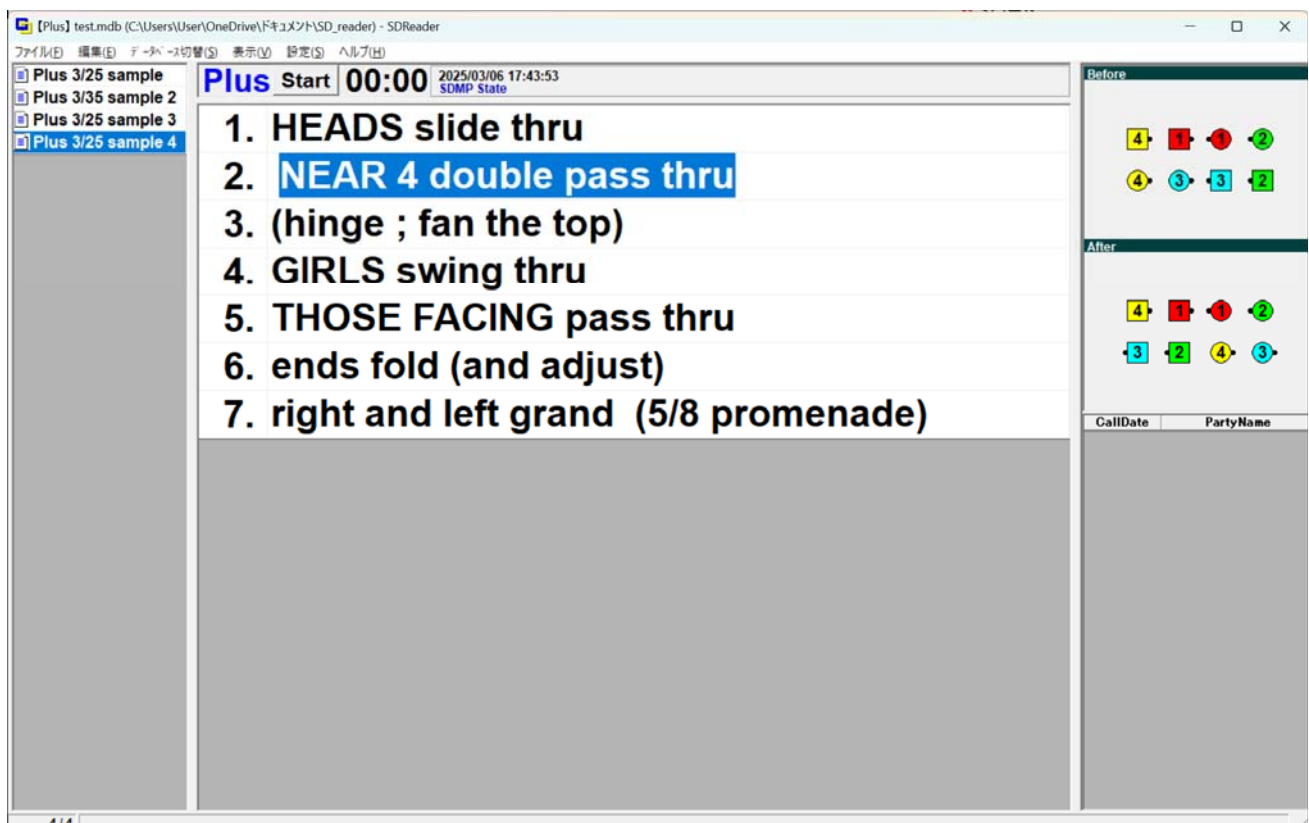
以下のように入力します。



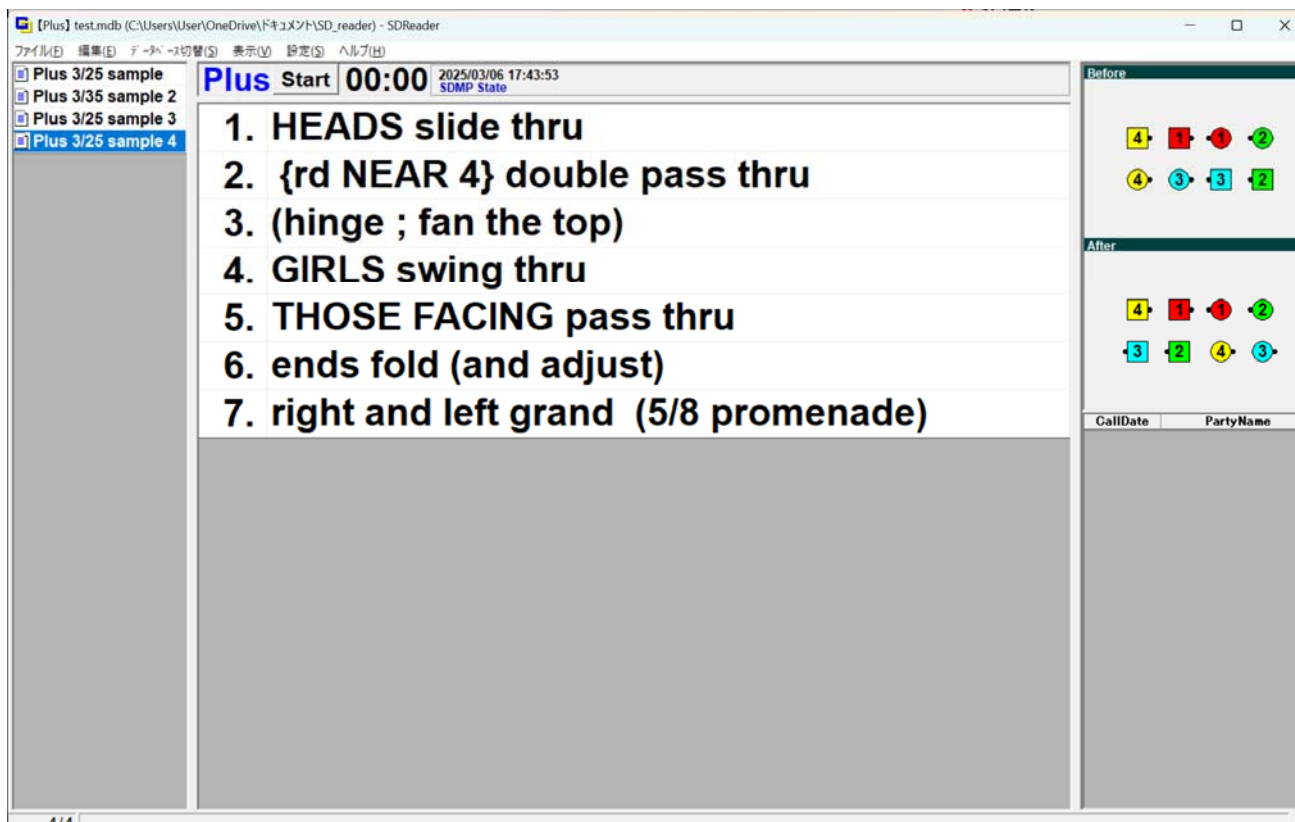
修正結果は以下の画面となり、一画面にすべてのコマンドが表示され、読みやすくなります。



特殊なコールで注意する単語の色を変更することで、読み間違いを防止することができます。



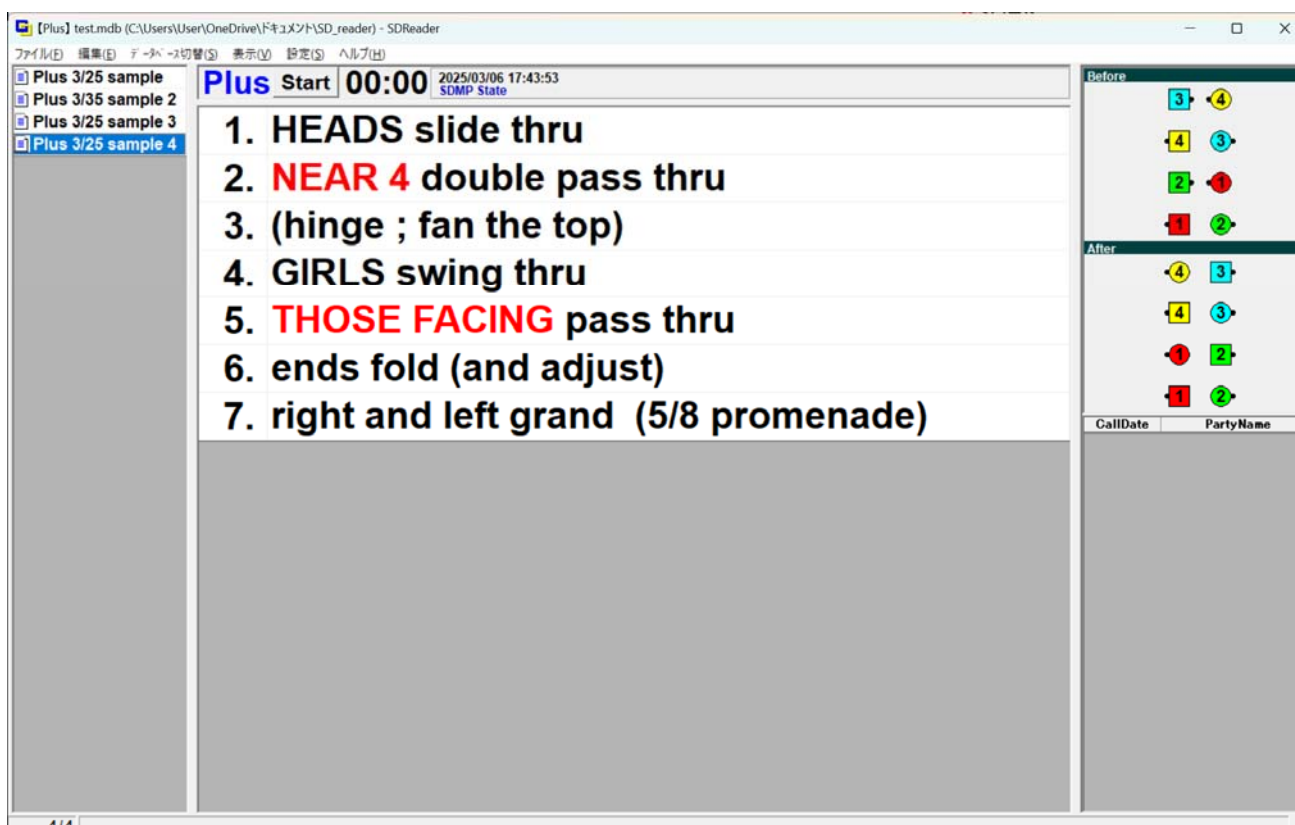
この場合は「NEAR 4」が特別なコマンドとなりますので、赤字に変更して読みやすくします。



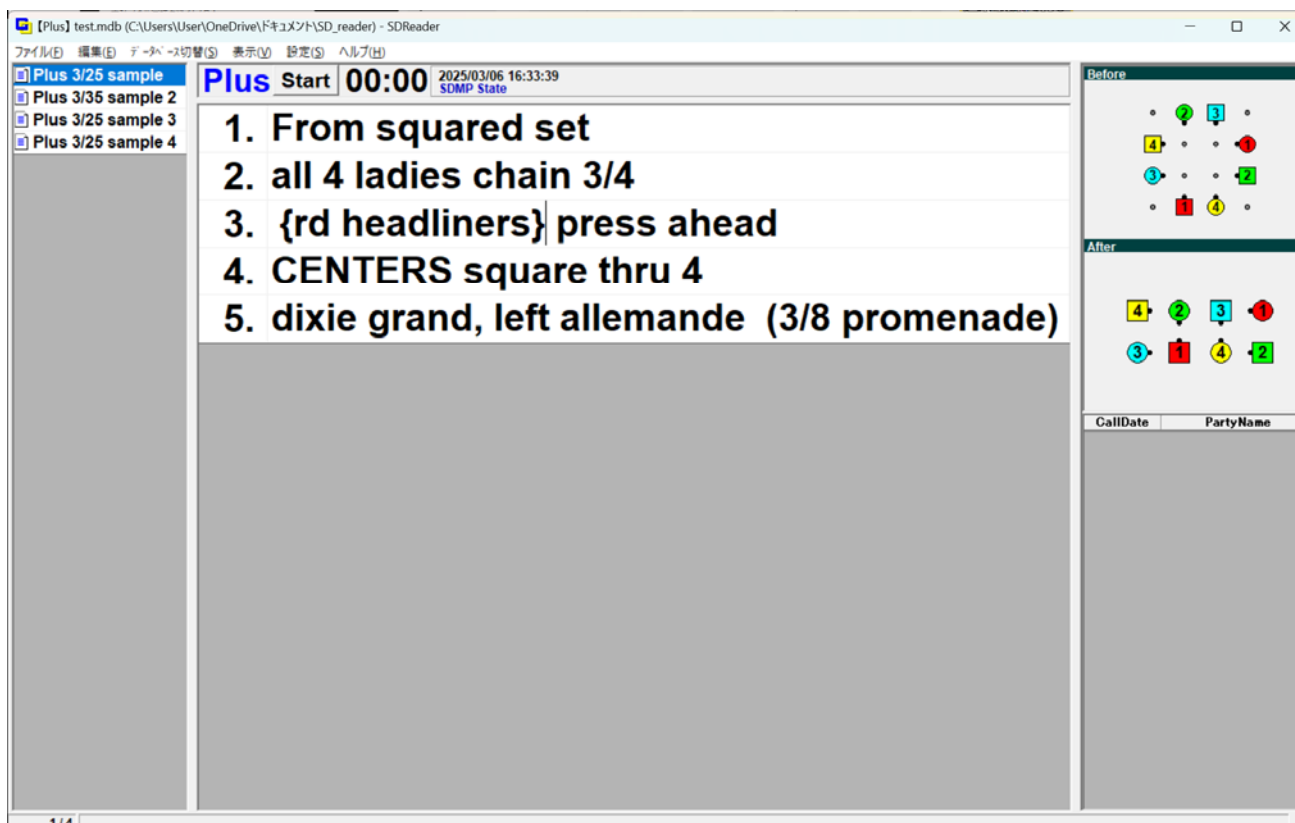
5行目の THOSE FACING も赤字に変更し他方が読みやすいと思いますので、変更します。



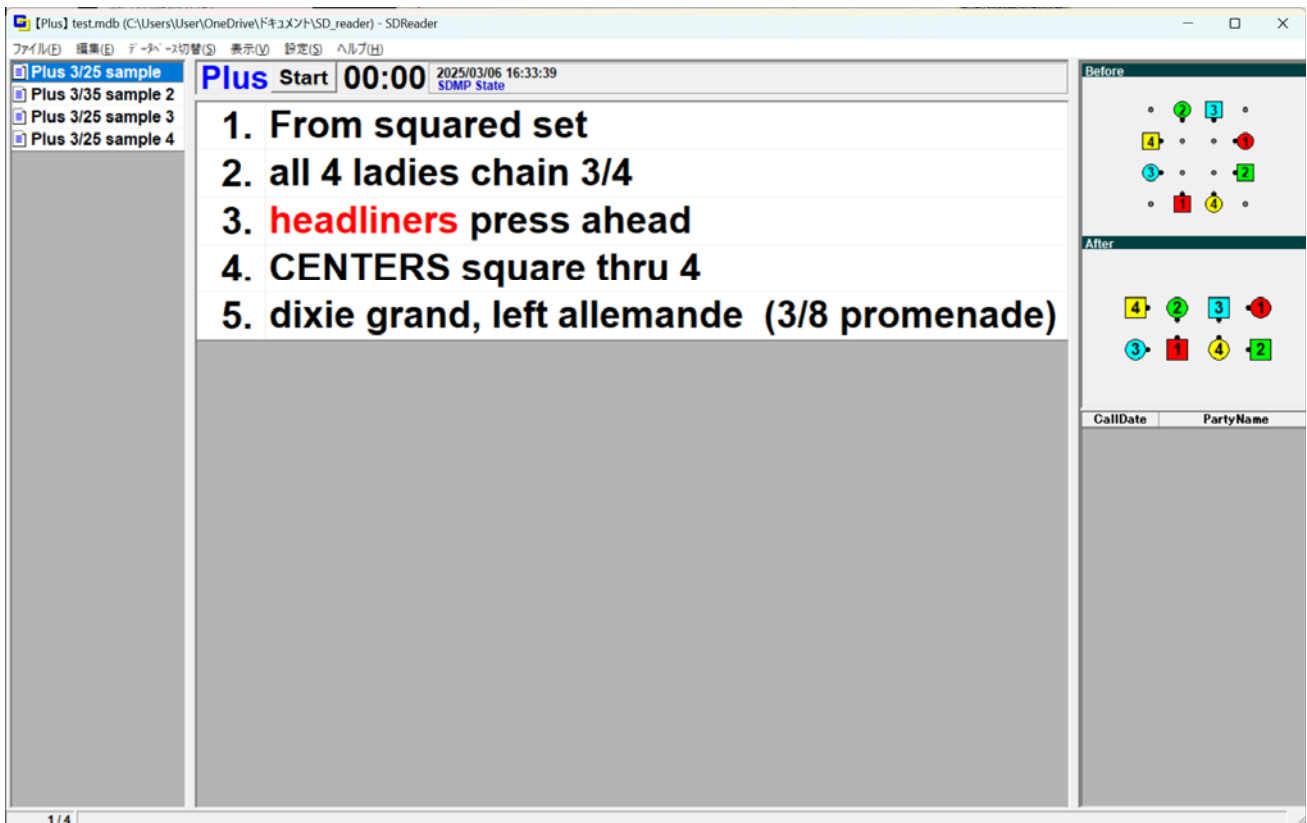
これで注意するコマンドが目立ち、読みやすくなりました。



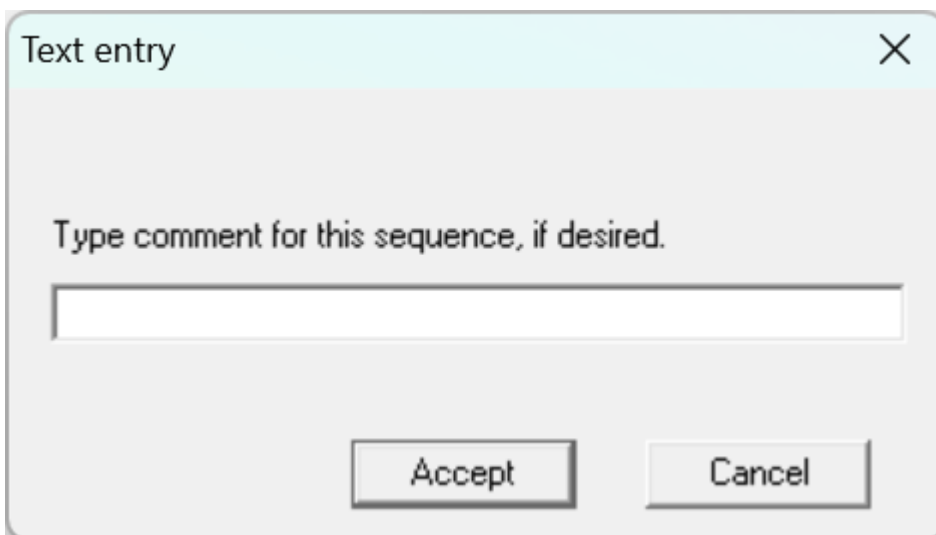
同様に、あまり使用されない単語の色を変えておくことで、読みやすくします。



修正結果は以下画面となります。



最後に SD (SDCouple) のシーケンスの保管時にコメントを入れなかった場合の例を示します。



この2番目と3番目のシーケンスがコメントを入れなかった場合の例となります。
コメントの代わりに、作成年月日と時分秒が表示されます。
作成年月日と時刻は赤枠部分に表示されています。

The screenshot shows the SDReader application window. The title bar reads "【MS】 test.mdb (C:\Users\User\OneDrive\Fォームット\SD_reader) - SDReader". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "データベース切替(S)", "表示(V)", "設定(O)", and "ヘルプ(H)".

The main window is divided into several sections:

- Left Panel:** A list of items including "B 2/23 se", "2025/03/08 23:29:21", "2025/03/08 23:30:02", and "a".
- Top Section:** "MS Start 00:00" followed by a red-bordered box containing "2025/03/08 23:29:21" and "SDMP State".
- Main Content Area:** A list of seven numbered steps:
 1. HEADS pass the ocean
 2. extend
 3. recycle
 4. those facing quarter out
 5. bend the line
 6. circle 4 right 1/4
 7. left allemande (3/4 promenade)
- Right Panel:** Two diagrams labeled "Before" and "After" showing numbered circles (1-4) and arrows indicating movement. Below these are columns for "CallDate" and "PartyName".

The status bar at the bottom left shows "2/4".